

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 美祢市地域公共交通協議会 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



美祢市の概要

- ・平成20年3月に1市2町が合併
- ・人口 23,247人(令和2年度国勢調査)
- ・面積 472.64km²

協議会の構成員

美祢市 学識経験者 山口運輸支局 JR西日本
路線バス事業者 タクシー事業者
山口県警察署 公募委員 等

概 要

美祢市は平成20年に美祢市、美東町及び秋芳町との合併により広域な市となった。市を東西南北に国県道が走り、近隣の市を結ぶように路線バスが横断している。しかしながら、市全域が中山間地域である当市において、路線バスによる生活交通のみでは、自由な移動を確保できない地域が無数に存在しており、効果的、効率的な公共交通サービスの構築が急務となっている。このような状況の中、当市の望ましい公共交通体系の構築に向けた、持続可能な各種事業を実施する。

このうち持続可能な地域内交通を確保・維持する取組として、地域内フィーダー系統確保維持計画を作成している。また、路線バス・JR美祢線の利用促進と市街化区域等をカバーするため、事前予約型・区域運行の乗合タクシー「ジオタク」を地域間幹線系統に接続させるため、平成21年10月から山中・堀越外地域、平成22年10月から美東地域北部、平成23年10月から秋芳地域南部、平成24年10月から豊田前・西厚保地区、平成25年10月から美東地域南部、平成26年10月から秋芳地域北部、平成27年10月から川東・西分地区にて順次運行を開始している。なお、平成30年10月からの再編により、田代・奥分地区の新設や秋芳地域北部、美東地域南部の運行内容の見直しを行うことで、可能な限り地域の実情に応じた運行を行った。さらに、豊田前・西厚保地区、川東・西分地区、秋芳地域南部については、令和2年4月の再編により、運行区域の変更やダイヤ改正を行うなど利便性の向上に繋げている。

協議会の主な取り組み

- 地域公共交通利便増進実施計画案の策定
- 観光路線(別府弁天池コース)の実証運行の支援
- 山口宇部空港・美祢・長門直通便実証運行の支援
- あんもないと号(コミュニティバス)の導入
- 交通不便地域におけるフィーダー交通の導入
- 公共交通時刻表の見直しによる市民への周知等
- バス停留所の整備

協議会における検討

- 協議会の開催状況
- 第1回(6月28日)
R4年度事業報告、R5年度事業計画、地域内フィーダー系統認定申請内容、地域公共交通計画事業の評価・検証、美祢市地域公共交通利便増進実施計画(案)の協議等
- 第2回(1月11日)
事業評価、美祢市地域公共交通計画(別紙)の協議、美祢市地域公共交通利便増進実施計画の変更の協議等

定量的な目標・効果

ジオタク事業目標

路線名	目標値
山中・堀越地区	1日当たり12人
美東地域北部	1日当たり8人
秋芳地域南部	1日当たり5人
豊田前・西分	1日当たり4人
美東地域南部	1日当たり4人
秋芳地域北部	1日当たり11人
西厚保・川東地区	1日当たり7人
田代・奥分地区	1日当たり5人

車両減価償却補助 (車両の取得)

車両の種類	乗車定員	車両総数	(内)補助車両
普通自動車	10	2	2

(講習の受講)

受講予定者数
2

事業効果

- 地域内フィーダー路線を確保することにより、以下のような効果が期待される。
 - ▶通勤・通学、通院・買物等の市民にとって必要な日常生活の移動手段が確保される。
 - ▶ジオタク(デマンド型乗合タクシー)の運行により、高齢者等の外出機会が増え、社会参加促進及び地域活性化に繋がる。

- 車両を取得して自家用有償旅客運送を導入することにより、継続困難となった路線の運行サービスが継続でき、伊佐及び福地域の高齢者等の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

○「ダイヤの設定や運行区域の拡大等について、精査して見直し等の検討を行う。」とした点については、民生委員へのアンケート調査等により様々な意見を募り、交通事業者との調整を経て運行区域を拡大した内容で美祢市地域公共交通計画に位置付けることとした。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

○「運行内容の見直しや住民との連携した利用促進等に地域一体となって取り組んでいただきたい。」とされた事については、民生委員アンケート調査や住民説明会を実施して利用者目線での運行内容の見直しに取り組んだ。

○「要因分析にあたってはデジタルデータを活用することで最適化を図る取り組みを将来的に検討されたい」とされた事に対しては、美祢市地域公共交通計画に「新たな決済手段の導入支援」を位置づけ、デジタルデータを収集できる環境整備について取り組むこととした。

実施した利用促進策

- 利用方法等を記載した公共交通時刻表等を市内全戸に配布した。
- 公民館・コミュニティセンター単位で住民説明会を開催し、ジオタク利用の妨げになっている要因のヒアリングやジオタクの利便性について説明した。その際利用者を増やすため、利用登録会も開催した。
- 再編後の運行内容に合わせて周知のチラシを一新し、住民説明会や公共施設で市民に配布した。

地域住民の意見の反映

○5月に住民説明会を実施したところ、ジオタク(デマンド型乗合タクシー)について、運行していることは知っているが、利用方法がわからないため利用したことがないという意見が多かった。ジオタクを身近な乗り物と感じてもらうため、乗り方動画やパンフレットを活用し、周知を図っていく必要がある。

事業実施の適切性

- 山中・堀越地区：利用者は横ばいであり、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
- 美東地域北部：利用者は増加傾向であり、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
- 秋芳地域南部：利用者は減少傾向にあるが、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
- 豊田前・西分地区：利用者は横ばいであり、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
- 美東地域南部：利用者は増加傾向であり、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
- 秋芳地域北部：利用者は減少傾向にあるが、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
- 西厚保・川東地区：利用者は減少傾向にあるが、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。
- 田代・奥分地区：利用者は増加傾向であり、交通不便地域への運行によって、住民の生活交通は確保できている。

目標・効果達成状況

ジオタク事業

○8区域のうち6区域については、目標達成には至らなかったが、普段の買物や通院など日常生活に必要な移動手段が、ジオタクによって確保されており、一定の効果は生じている。

路線名	目標値	令和4年10月～令和5年9月 利用実績
山中・堀越外地区	1日当たり12人	1日当たり8人
美東地域北部	1日当たり8人	1日当たり6人
秋芳地域南部	1日当たり5人	1日当たり4人
豊田前・西分地区	1日当たり4人	1日当たり6人
美東地域南部	1日当たり4人	1日当たり4人
秋芳地域北部	1日当たり11人	1日当たり10人
西厚保・川東地区	1日当たり7人	1日当たり7人
田代・奥分地区	1日当たり5人	1日当たり9人

車両減価償却補助

- 車両を2台購入することで、計画通り適切に自家用有償旅客運送のサービスを開始することができた。
- 自家用有償旅客運送の運転士が2路線とも2種免許を有する運転士だったため、講習費補助については該当がなかった。

事業の今後の改善点

- 高齢者を対象としたモビリティマネジメントを実施する。
- 利用が減少している地域については、その原因を分析・検証し、新たな利用者を獲得する方法を検討する。
- ジオタク(デマンド型乗合タクシー)の利用方法等を広く市民に周知するため、ジオタクの乗り方動画(事前登録及び予約等を含む)の活用や地区の集会やサロン等に参加してジオタクの乗り方説明会を開催する。
- 商店等と連携し、高齢者の外出機会の創出に繋がる取組を検討する。

A map showing the location of Mei Tung Hospital (美東病院) and Red Maple Bridge (紅葉橋). The hospital is marked with a red dot and labeled. The bridge is marked with a red dot and labeled, with a line pointing to it from the text '紅葉橋'.

ジオタク
時代・奥分地区

4ページ

4ページ

ジオタク
西厚保・川東
地区
3ページ

下関駅～美祢駅線…15ページ

至 長門市駅

 市内主要幹線区間
 フリー乗降区間
 バス停
 ジオタク
 JR美祿線
 駅

⑨ 美祿駅～上宗済線…12ページ

 於福

道の駅於福

安駅前 ○

 美北

○

横

山丘

厚狭駅 サンパーク 宇部新川方面へ

ジオタク
山中・堀越
地区
3ページ

ジオタク
秋芳地域北部

6ページ

あ 通学・通勤おすすめ線…11ページ

● 市内主要幹線…7～10ページ

⑨ 杉谷線…14ページ

あ 堀越・根越線…13ページ

長門方面

④ 秋芳洞～青海大橋線…21ページ

秋芳洞循環線…20ページ

④ 十文字～宇部新川駅線…25ページ

⑨ 秋芳洞～新山口駅線…22ページ

⑨ 東萩駅～新山口駅線…23ページ

④ 秋芳洞～東萩駅線…24ページ

5ページ

● 秋吉～山口駅線…19ページ

5ページ

※1 上八重・平ヶ谷は、中国ジェイアールバスのみ停車します。

※2 紅葉橋は、防長交通と中国ジェイアールバスのみ停車します。

※3 工業団地入口は、豊田町西市～美祢駅線の美祢駅行きの便で下車のみ可能です。

※4 美祿市役所前は、駅前通りにあり、サンデン交通とブルーライン交通の美祿駅行きの便のみ停車します。

別紙 運行体系図

①山中・堀越地区



山中・堀越地区

横坂上、横坂下、中村、西の谷、天子、上中村、長谷、引塚、根越、山ヶ峠、堂下、広信、下堀越、岩奥、上堀越、東中峠、南原、上万倉地、下万倉地、万倉地団地、中万倉地、第二万倉地、第一万倉地

美祿駅周辺の乗降場所

- 交通機関**
 - ・JR美祿駅
- 公共施設**
 - ・美祿市役所
 - ・伊佐公民館
- 医療機関**
 - ・美祿市立病院
 - ・野間クリニック
 - ・原田外科医院
- 商業施設**
 - ・ザ・ビッグ美祿店
 - ・ウェスタまるき美祿店
 - ・ホームプラザナフコ美祿店
- 金融機関**
 - ・JA 山口美祿 伊佐支所



至 厚狭駅・宇都中央

運行日 月・水・金 祝日は運休
運賃 一乗車につき **300円**

系統	発	着	月水金	火木	土日祝
あんもないと号 根越→美祿市立病院★	7:32	7:56	●	●	
あんもないと号 ニツ道祖→美祿市立病院※	9:47	10:11		●	
ジョタク(要予約) 市立病院→山中→万倉地→市立病院	8:00	(9:00)	●		
ジョタク(要予約) 市立病院→山中→万倉地→市立病院	11:00	(12:00)	●		
ジョタク(要予約) 市立病院→山中→万倉地→市立病院	14:00	(15:00)	●		
船木鉄道 厚狭駅→美祿駅	13:40	14:05	●	●	
あんもないと号 ニツ道祖→美祿市立病院※	7:32	7:56			●
船木鉄道 厚狭駅→美祿駅	9:10	9:35			●
あんもないと号 ニツ道祖→美祿市立病院※	9:52	10:16			●
あんもないと号 ニツ道祖→美祿市立病院※	13:22	13:46			●
あんもないと号 ニツ道祖→美祿市立病院※	15:47	16:11			●

系統	発	着	月水金	火木	土日祝
ジョタク(要予約) 市立病院→万倉地→山中→市立病院	9:30	(10:30)	●		
ジョタク(要予約) 市立病院→万倉地→山中→市立病院	12:30	(13:30)	●		
あんもないと号 美祿市立病院→ニツ道祖※	15:19	15:43	●	●	●
あんもないと号 美祿駅→根越★	16:23	16:43	●	●	
ジョタク(要予約) 市立病院→万倉地→山中→市立病院	17:00	(18:00)	●		
あんもないと号 美祿駅→堀越★※	17:50	18:07	●	●	
船木鉄道 美祿駅→厚狭駅	14:20	14:45	●	●	
あんもないと号 美祿市立病院→ニツ道祖※	9:20	9:44			●
船木鉄道 美祿駅→厚狭駅	9:50	10:15			●
あんもないと号 美祿市立病院→ニツ道祖※	12:20	12:44			●

※根越は通りません。 ★ニツ道祖は通りません。

ジョタクは
乗りたい便の
30分前までに
8:00発の便は
前日までに



52-0776

予約センター：美祿構内タクシー(株)
 担当課／美祿市総合政策部地域振興課

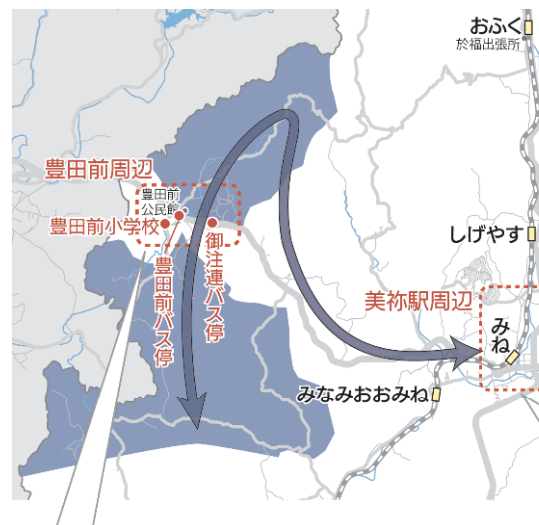
②豊田前・西分地区



豊田前・西分地区

令和2年4月1日 改正

豊田前	西分
1区、2区、3区、6区、7区、8区、9区、10区、12区、13区	草井川、中村、杉原、嘉木



豊田前周辺の主な乗降場所

- 交通機関**
 - ・御注連バス停
 - ・豊田前バス停
- 公共施設・学校**
 - ・豊田前公民館
 - ・豊田前保育園 (美祿社会復帰促進センター)
 - ・豊田前小学校

美祿駅周辺の主な乗降場所

- 交通機関**
 - ・JR美祿駅
- 公共施設**
 - ・美祿市役所
 - ・美祿市民会館
 - ・美祿市武道館
 - ・美祿市立図書館
 - ・サンワーク美祿
 - ・勤労青少年ホーム
- 医療機関**
 - ・美祿市立病院
 - ・植田救急クリニック
 - ・野間クリニック
 - ・山本医院
 - ・原田外科医院
 - ・札幌クリニック
 - ・藤村内科クリニック
- 商業施設**
 - ・サンマート美祿店
 - ・ウェスタまるき美祿店
 - ・ザ・ビッグ美祿店
 - ・ダイレックス美祿店
 - ・ディスカウントドラッグコスモス美祿店
 - ・クスリ岩崎チェーン美祿店
 - ・藤井薬局美祿店
 - ・ドラッグストアモリ美祿店
 - ・ホームプラザナフコ美祿店
- 金融機関**
 - ・山口銀行美祿支店
 - ・西京銀行美祿支店
 - ・美祿郵便局
 - ・JA 山口県 美祿支所

運行日 月・水・金 祝日は運休
運賃 一乗車につき **300円**

各地区(発)→ JR美祿駅方面	JR美祿駅方面(発)→ 各地区
7:30	11:30
9:00	14:00
12:30	16:00

乗りたい便の
30分前までに
7:30発の便は
前日までに



52-0776

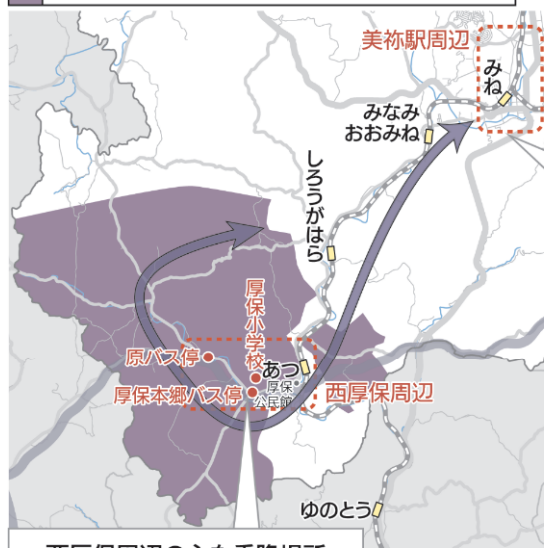
予約センター：美祿構内タクシー(株)
 担当課／美祿市総合政策部地域振興課

③西厚保・川東地区



西厚保・川東地区

- 西厚保** 長尾、平沼田、駒ヶ坪、大日、梅香、本久、沓野1区、沓野2区、坂本1区、坂本2区、千歳、大村、本郷東、本郷西、中原、原、深土
- 川東** 小杉、植松1区、植松2区、柳井川、熊の倉1区、熊の倉2区、僧都、金山、奥畑、岩ヶ河内、江の河原、熊の倉、杵ヶ瀬



令和2年4月1日 改正

美祿駅周辺の主な乗降場所

- 交通機関**
- ・JR 美祿駅
- 公共施設**
- ・美祿市役所
 - ・美祿市民会館
 - ・美祿市武道館
 - ・美祿市立図書館
 - ・サンワーク美祿
 - ・勤労青少年ホーム
- 医療機関**
- ・美祿市立病院
 - ・植田救急クリニック
 - ・野間クリニック
 - ・山本医院
 - ・原田外科医院
 - ・札幌クリニック
 - ・藤村内科クリニック
- 商業施設**
- ・サンマート美祿店
 - ・ウェスタまき美祿店
 - ・ザ・ビッグ美祿店
 - ・ダイレックス美祿店
 - ・ディスカウントドラッグコスモス美祿店
 - ・クスリ岩崎チェーン美祿店
 - ・藤井薬局美祿店
 - ・ドラッグストアモリ美祿店
 - ・ホームプラザナフコ美祿店
- 金融機関**
- ・山口銀行美祿支店
 - ・西京銀行美祿支店
 - ・美祿郵便局
 - ・JA 山口県 美祿支所

西厚保周辺の主な乗降場所

- 交通機関**
- ・JR 厚保駅
 - ・原バス停
 - ・厚保本郷バス停
- 公共施設・学校**
- ・厚保公民館
 - ・厚保小学校
- 医療機関**
- ・三澤医院
- 金融機関**
- ・JA 山口県 西厚保支所

運行日 月・水・金 祝日は運休

運賃 一乗車につき 300円

乗りたい便の
30分前までに
7:50発の便は
前日までに



52-0776

予約センター：美祿構内タクシー(株)
担当課／美祿市総合政策部地域振興課

④田代・奥分地区



田代・奥分地区

<田代> 平野・栗ヶ原・岡田・西寺・上田代・下田代・横道・大明・神田
<奥分> 藤ヶ河内・荒川1区・荒川2区・白岩・麦川上・麦川下・上麦川
・桑原・相行



道の駅おふく周辺の乗降場所

- 交通機関**
- ・JR 於福駅
- 公共施設**
- ・道の駅おふく
 - ・於福公民館
- 医療機関**
- ・白井クリニック
- 商業施設**
- ・あぐりプラザおふく
- 金融機関**
- ・於福郵便局
 - ・JA 山口美祿 於福支所

美祿駅周辺の乗降場所

- 交通機関**
- ・JR 美祿駅
- 公共施設**
- ・美祿市役所
 - ・美祿市武道館
 - ・サンワーク美祿
- 医療機関**
- ・美祿市立病院
 - ・野間クリニック
 - ・原田外科医院
 - ・藤村内科クリニック
- 商業施設**
- ・サンマート美祿店
 - ・ザ・ビッグ美祿店
 - ・ディスカウントドラッグコスモス美祿店
 - ・クスリ岩崎チェーン美祿店
 - ・藤井薬局美祿店
 - ・ドラッグストアモリ美祿店
 - ・ホームプラザナフコ美祿店
- 金融機関**
- ・山口銀行美祿支店
 - ・西京銀行美祿支店
 - ・美祿郵便局
 - ・JA 山口美祿 美祿支所

運行日 月・水・金 祝日は運休

運賃 一乗車につき 300円

田代・奥分(発)→ 美祿駅周辺	美祿駅周辺(発)→ 田代・奥分
8:00(発)	10:30(発)
11:30(発)	12:50(発)
14:00(発)	15:45(発)

田代(発)→ 道の駅おふく周辺	道の駅おふく周辺(発)→ 田代
8:30(発)	13:00(発)

奥分地区は運行しません。

乗りたい便の
30分前までに
8:00発(美祿駅方面)
8:30発(道の駅おふく
方面)は前日までに



52-0776

予約センター：美祿構内タクシー(株)
担当課／美祿市総合政策部地域振興課

⑤美東地域北部



美東地域北部

台山・長登・岩波・桂坂



大田中央周辺の主な乗降場所

交通機関 ・大田中央バス停	医療機関 ・美祢市立美東病院 ・吉崎内科医院	商業施設 ・サイサイみとう大田店 ・ホームプラザナフコ美東店	金融機関 ・JA山口県 美東支所
公共施設 ・美東総合支所			

長登(発)→絵堂バス停→美東病院

7:30(発)
9:00(発)
11:00(発)
14:00(発)

美東病院(発)→絵堂バス停→長登

10:00(発)
12:30(発)
15:30(発)

乗りたい便の
30分前までに
7:30発の便は
前日までに

運行日 月・火・木 祝日は運休

運賃 一乗車につき 300円

※他の地区を回るため掲載時刻よりも遅くなることがあります。



08396-2-0072

予約センター：美祢第一交通(有)
担当課／美祢市総合政策部地域振興課

⑥美東地域南部



美東地域南部

薬王寺、大石、町絵、沖田、武士ヶ河内、宮の河内、宗国、森清、徳坂、山田、瀬々川、九瀬原、御山、目畑、間波、郷、立石、法名、神崎、東二区、東一区、真名市、岩崎、西区

まずはご相談ください！
居住地の立地条件や環境により
のりあいジオタクシーをご利用
いただけるかどうかを市が判断
します。

大田中央周辺の乗降場所

交通機関 ・大田中央バス停	公共施設 ・美東総合支所	医療機関 ・美祢市立美東病院 ・吉崎内科医院	商業施設 ・サイサイみとう大田店 ・ホームプラザナフコ美東店	金融機関 ・JA山口美祢 美東大田店
-------------------------	------------------------	-------------------------------------	---	------------------------------

運行日 月・水・金 祝日は運休

運賃 一乗車につき 300円



薬王寺・大石(発) →美東総合支所

7:30(発)
9:00(発)
13:00(発)

美東総合支所(発) →薬王寺・大石

12:00(発)
14:00(発)
15:30(発)

乗りたい便の
30分前までに
7:30発の便は
前日までに

●場合によっては、運行時間等が多少前後する可能性があります。



08396-2-0072

予約センター：美祢第一交通(有)
担当課／美祢市総合政策部地域振興課

⑦秋芳地域北部



秋芳地域北部

美祢駅周辺の乗降場所

- 交通機関**
 - J R 美祢駅
- 公共施設**
 - 美祢市役所
 - 美祢市武道館
 - サンワーク美祢
- 医療機関**
 - 美祢市立病院
 - 野間クリニック
 - 原田外科医院
 - 藤村内科クリニック
 - 植田救急クリニック
 - 山本医院
 - 札幌クリニック
- 商業施設**
 - サンマート美祢店
 - ザ・ビッグ美祢店
 - ディスカウントドラッグコスモス美祢店
 - クスリ岩崎チェーン美祢店
 - 藤井薬局美祢店
 - ホームプラザナフコ美祢店
 - ウェスタまき美祢店
 - ダイレックス美祢店
 - ドラッグストアモリ美祢店
- 金融機関**
 - 山口銀行美祢支店
 - 美祢郵便局
 - 西京銀行美祢支店
 - JA 山口美祢 美祢支所



秋吉周辺の乗降場所

- 交通機関**
 - 秋吉バス停
- 公共施設**
 - 秋芳総合支所
 - コメリ ハード&グリーン秋芳店
- 医療機関**
 - さかい内科クリニック
 - あきよし竹尾クリニック
- 金融機関**
 - JA 山口美祢秋芳支所

運行日 月・水・金 祝日は運休

運賃 一乗車につき 300円

●悪天候等の場合は、運行ができないことがあります。

国秀・外勢・麓・坂水・焼の河内・半田・中辺・栢木・江原上・江原下・芹田・前水上・入見久保・入見北・河内

栢木方面→美祢駅周辺	美祢駅周辺→栢木方面
9:10(発)	10:40(発)
12:10(発)	12:40(発)
13:40(発)	15:20(発)
栢木方面→秋吉方面	秋吉方面→栢木方面
7:40(発)	11:40(発)

山嶺・芝尾・早二・寺家・殿河内・水の上・迫・鍛冶屋・小野・宮地・日幸・戸青・信大・秀十・小藪・嘉万・松皮・二末・下市・中市・上市・井手口・門村・中村・平野・共栄・江良・真木・湯の上・水上・流田・別府・松皮・郷の原・萩原

別府・山嶺→美祢駅周辺	美祢駅周辺→別府・山嶺
9:10(発)	10:40(発)
12:10(発)	12:40(発)
13:40(発)	15:20(発)
別府・山嶺→秋吉方面	秋吉方面→別府・山嶺
7:50(発)	11:40(発)

⑧秋芳地域南部



秋芳地域南部

秋吉周辺の主な乗降場所

- 交通機関**
 - 秋吉バス停
- 公共施設**
 - 秋芳総合支所
- 医療機関**
 - さかい内科クリニック
 - あきよし竹尾クリニック
 - 田代台病院
- 商業施設**
 - コメリ ハード&グリーン秋芳店
- 金融機関**
 - JA 山口県 秋芳支所



運行日 月・水・金 祝日は運休

運賃 一乗車につき 300円

片山、内ヶ島、新管、平佐、中下郷、下郷、追拳、岩永市、大朝、松橋、秋南、杣田、上水田、中水田、下水田、本郷川西、山露、堀の内、谷津、照岡、土井敷、宮の前、旦、旦の岡住宅、りんどうの丘

大朝、松橋、秋南、杣田

各地区(発)→秋吉方面	各地区(発)→岩永バス停・御坊バス停→美東病院方面	各地区(発)→岩永バス停・御坊バス停→秋吉方面	各地区(発)→美東病院方面
※8:00(発)	※8:40(発)	※8:00(発)	※8:40(発)
※11:45(発)	※10:30(発)	※11:45(発)	※10:30(発)
秋吉方面(発)→各地区	美東病院方面(発)→御坊バス停・岩永バス停→各地区	秋吉方面(発)→御坊バス停・岩永バス停→各地区	美東病院方面(発)→各地区
8:40(発)	11:45(発)	8:40(発)	11:45(発)
10:30(発)		10:30(発)	
13:00(発)		13:00(発)	
14:35(発)		14:35(発)	

※他の地区を回るため掲載時刻よりも遅くなることがあります。

乗りたい便の
30分前までに
8:00発の便は
前日までに



62-0033

予約センター：(有)秋芳タクシー
担当課／美祢市総合政策部地域振興課

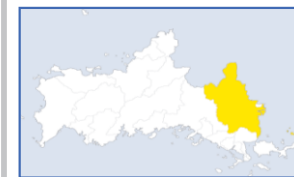
乗りたい便の
30分前までに
7:40・7:50発の便は
前日までに



62-0033

予約センター：(有)秋芳タクシー
担当課／美祢市総合政策部地域振興課

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 岩国市地域公共交通活性化再生法協議会 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



岩国市の概要

- ・平成18年3月に1市6町1村が合併
- ・人口 129,125人(令和2年国勢調査)
- ・面積 873.72km²

協議会の構成員

岩国市、いわくにバス(株)、防長交通(株)、錦川鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、山口県タクシー協会、岩国柱島海運(株)、中国地方整備局、山口県、住民代表、山口運輸支局、岩国警察署、中国運輸局、学識経験者

概 要

岩国市では、広域移動となる拠点間の移動は鉄道及び広域路線バスが、各拠点内の移動は地域内路線バスが担っているが、公共交通の利用者数の減少や慢性的な運転手不足等から、公共交通を取り巻く状況は大変厳しい状況にある。また、高度経済成長期に開発された住宅団地における住民の高齢化や、公共施設の移転や再編等に伴う移動ニーズの変化等、対応が必要な課題が多く発生している状況にある。

このような状況の中、持続可能な公共交通を確保・維持する取組として、地域住民の通院・買物等、日常生活に必要な地域内交通移動を維持することにより地域を活性化させ、また、広域移動となる鉄道等と地域内移動となる地域内路線バスとの接続を図ることにより、利便性を維持しながら、持続可能で効果的、効率的な公共交通体系とするための確保維持改善事業計画を構築している。

その他の施策として、利用者が少なく集落が散在する山間地域をカバーするため、事前予約型・区域運行の乗合バス(デマンドバス)を地域内幹線系統へ接続、スクールバスへの一般利用者の混乗化、乗合タクシー「よべるん」の運行等、地域の状況や要望等を勘案しながら、順次利便性の向上に向けた取組を実施している。

協議会の主な取り組み

- ・利用者ニーズに合わせた生活交通バス等の再編
- ・乗合タクシー「よべるん」の運行
- ・目的限定輸送サービスの統合
- ・錦川清流線の維持・活性化のための事業
- ・中山間空白地域におけるデマンドバスの導入
- ・岩国市公共交通マップ&時刻表の作成と配布
- ・HP等による時刻表等の情報提供
- ・公共交通教室の実施による利用促進事業
- ・高校生へのモビリティ・マネジメント事業
- ・公共交通利用促進に関する展示ブースの開設
- ・その他網形成計画に位置づけられた事業の実施

協議会における検討

協議会の開催状況

- ・第1回(5月26日)(Web)R5確保維持改善計画認定申請について
- ・第2回(12月5日)(書面)R5確保維持改善計画に係る事業評価について

定量的な目標・効果

(目標)

＜叶木・二鹿・持ヶ峠線＞

- ・1運行当たり利用者数を5.12人(令和3年度実績5.12人)以上とする。

(効果)

当該路線を維持することで、隣接市や市中心部への移動手段の確保、高齢者の外出促進、地域住民の活動機会の増加などで地域活性化に繋がる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

「JR岩徳線・広域路線バスへの乗り継ぎに適したダイヤ設定及び啓蒙活動等の利用促進を行う」とした点については、時刻表の全戸配布や主要施設等への設置、また、ホームページ、岩国市公共交通マップ&時刻表への情報掲載等を行った。また、引き続き、JR岩徳線のダイヤ改正があればそれに合わせダイヤの調整を行う。「利用状況に即した運行体系となるよう、引き続き利用者ニーズの把握に努め、利用促進を図る施策を講じていく」とした点については、昨年度開始した、乗合タクシーが新たな運行体系となれるのか、利用者や運行事業者に対し引き続き調整を行う。

実施した利用促進策

JR岩徳線のダイヤ改正があればそれに合わせダイヤの調整を行うことで利用促進を図るとともに、協議会で作成配布している岩国市公共交通マップ&時刻表を10月と4月に発行し、利用者の利便性の向上を図った。

本マップについては、70歳を迎える高齢者に敬老優待乗車証を送付する際に同時配布を行ったり、高校生を対象としたモビリティ・マネジメント事業の一環としても配布を行い、利用促進を図っている。

また玖西地域においては、ダイヤ改正時において地域に特化した時刻表と路線図を全戸配布している。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

地域のニーズに対応した運行内容の見直しや、乗り継ぎの利便性を考慮したダイヤ改正を行うとともに、岩国市公共交通マップ&時刻表においては、より利用しやすい時刻表やマップとなるよう見直す等効果の実現に向けた取組を継続的に実施した。

地域住民の意見の反映

事業実施の適切性

＜叶木・二鹿・持ヶ峠線＞

事業が計画に位置づけられたとおり適切に実施された。

目標・効果達成状況

＜叶木・二鹿・持ヶ峠線＞

（目標）全系統における1運行当たりの利用者数は5.23人（対前年比+0.02人）となり、目標の5.12人を達成できた。各系統の1運行当たりの利用者数としては、叶木線が6.70人（対前年比0.20人）、二鹿線7.19人（対前年比-0.28人）、持ヶ峠線1.85人（対前年比+0.22人）となり、持ヶ峠線の1路線が目標を達成できなかった。新型コロナウイルス感染症の流行も利用者の減少の一因と考えられる。

（効果）また、各路線については、地域の公共交通空白地の解消と、高齢者等の移動手段の確保につながった。

事業の今後の改善点

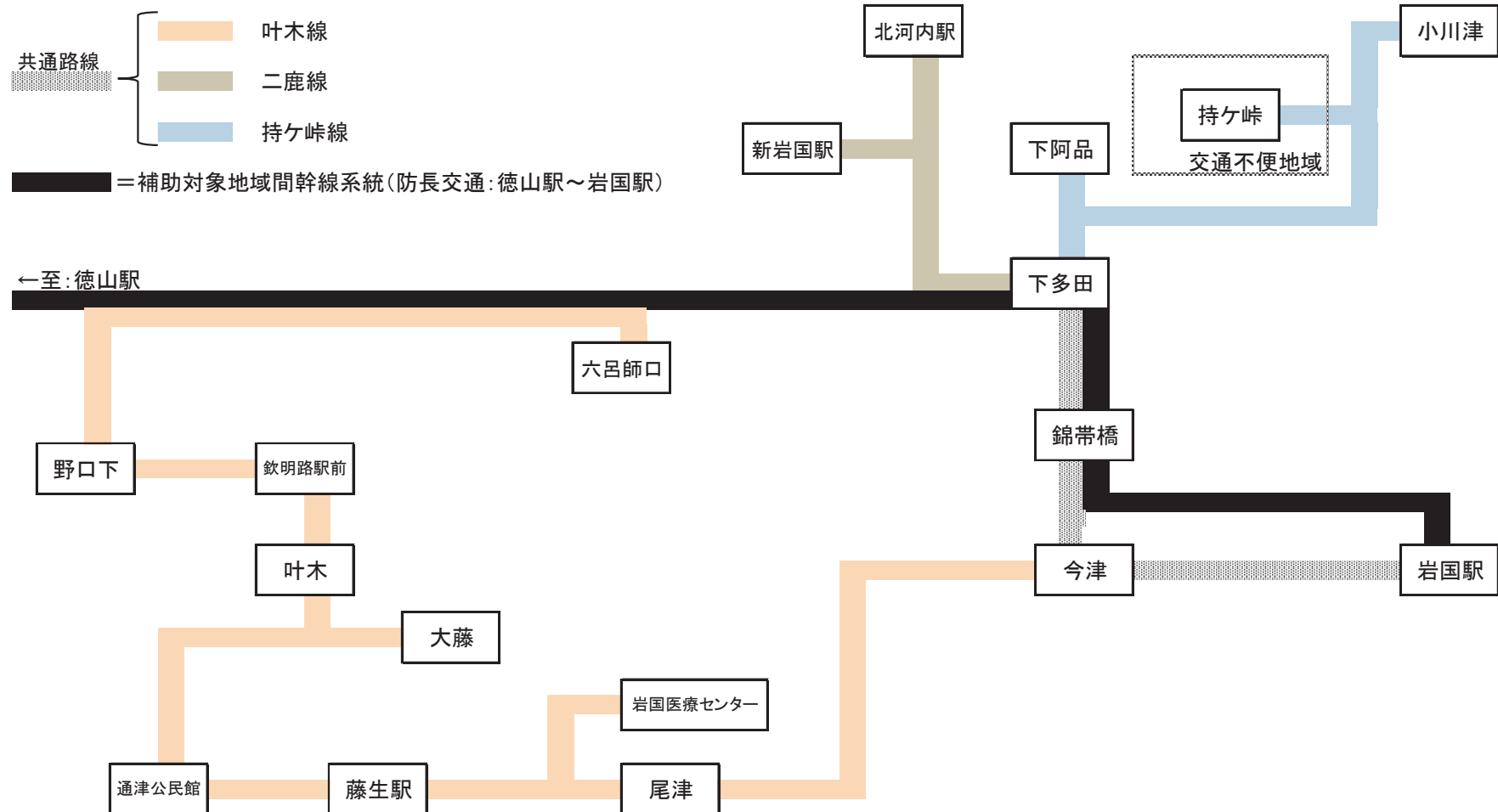
＜叶木・二鹿・持ヶ峠線＞

今後も引き続きJR岩国駅への接続を行い、利用者への啓蒙活動等の利用促進を行う。また、利用者へのアンケート調査などを行い、ニーズを把握するとともに、運行事業者等と調整を行いながら、利便性の向上に努めることで、持続可能な運行を目指す。

運行系統図

系統名	叶木・二鹿・持ヶ峠線		
運行形態	4条路線 — 乗合バス型(定期)		
運行日・便数	叶木線	2便 — 月木(祝日運休)、二鹿線	2便 — 火金(祝日運休)、持ヶ峠線
	2便 — 水金(祝日運休)		
運賃	対キロ制		
	なお、12/31～1/2(年末年始)は叶木線・二鹿線・持ヶ峠線運休。		

【叶木・二鹿・持ヶ峠線】



令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 下関市地域公共交通協議会 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



下関市の概要

- ・平成17年2月に1市4町が合併
- ・人口 25万5千人
- ・面積 716.1平方キロメートル
- ※令和2年国勢調査より

下関市地域公共交通協議会の構成員

下関市連合自治会 サンデン交通(株) ブルーライン交通(株) 山口県タクシー協会 西日本旅客鉄道(株) 下関警察署 交通労連山口県支部 中国運輸局山口運輸支局 下関商工会議所 下関市立大学 山口県(観光スポーツ文化政策課) 山口県下関土木建築事務所 下関市社会福祉協議会 山口河川国道事務所 下関市(都市整備部・建設部・港湾局)

概 要

下関市は、平成17年に旧下関市と旧菊川町、旧豊田町、旧豊浦町、旧豊北町の1市4町が合併し、広い市域を持つ事となった。
合併前の4町地域では、住民の移動手段としてそれぞれの態様で生活バスが運行されていたが、合併後においてサービス水準の統一と地域間における公平性確保のため、制度の見直しを行い、日常生活に必要な地域内移動及び広域移動を担う鉄道や幹線バスへの接続手段確保等、運行方法の検討と構築を行って来た。
こうした地域内の移動や、広域の交通機関への接続などについて、持続可能な地域交通を確保・維持する取組みとして地域内フィーダー系統確保維持計画を策定し運行を行っている。

協議会の主な取り組み

- ・ 交通空白地域におけるフィーダー交通の導入
- ・ 「下関市総合交通戦略」進捗管理
- ・ 公共交通利用促進

協議会における検討

- ・ 第31回(令和4年6月30日)
下関市生活バス 菊川町における経路及び便数の一部変更について
下関市生活バス 地域内フィーダー系統確保維持計画について
- ・ 第32回(令和4年9月1日)
下関市生活バスにおける少量貨物有償運送更新許可申請について
- ・ 第33回(令和5年1月13日)
令和4年度地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金)に関する事業評価について
- ・ 第34回(令和5年3月23日)
地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会への移行について
- ・ 第1回(令和5年5月11日)
下関市地域公共交通協議会規約(案)について
下関市地域公共交通協議会の役員について ほか

定量的な目標・効果

(目標) 令和5年(2023年)度 豊田地域 2,424人/年・菊川地域 2,629人/年

(効果) 生活バスを維持することで、買物や通院など各地域内における生活のための移動手段が確保され、高齢者等の外出促進が図られると共に、幹線系統に接続することで広域移動の機会についても確保される。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

予定していた利用促進策（地域イベントでの啓発や、チラシ、時刻表の配布等）については、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、可能な範囲で実施し、バス車両内部を定期的に消毒する等、利用者が安心できる環境作りに努めた。また、地域のニーズを踏まえた運行ダイヤや経路、運行形態等の見直しを実施した。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

令和2年8月に策定したR2年10月からR7年9月までの再編実施計画に基づき、地域のニーズを踏まえた運行ダイヤや経路、運行形態等の見直しを実施した。

実施した利用促進策

- ◎全域：使用料金ワンコイン化を継続。
コロナ対策として、定期的な車両内部の消毒、換気、運転手のマスク着用。利用者へのマスク着用お願い。
- 豊田：医療機関等へ時刻表掲示。自治会回覧による制度周知。
豊田管内の月別行事予定表に制度周知の情報掲載。
自治会アプリへ時刻表等を掲載。
- 菊川：自治会を通じてのチラシ等の配布。利用状況・ヒアリングを踏まえたダイヤ改正の実施。

地域住民の意見の反映

- 豊田：委託事業者よりヒアリングを行い、利用状況等を確認。
- 菊川：委託事業者よりヒアリングを行い、利用状況等を確認。

事業実施の適切性

○豊田 杣路子線：計画通り事業は適切に実施された。
一の俣線：計画通り事業は適切に実施された。
今出線：計画通り事業は適切に実施された。
一の瀬線：計画通り事業は適切に実施された。

○菊川 樅ノ木・保木線：計画どおり事業は適切に実施された。
内日・田部循環線：計画どおり事業は適切に実施された。

目標・効果達成状況

○豊田（杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線）

：R5年度 目標利用者数 2,424人/年 実績利用者数 2,484人/年 目標達成率 102.5%

新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等が続き、利用率が低迷していたが、徐々に利用者が増加し、目標は達成された。

○菊川（樅ノ木・保木線、内日・田部循環線）

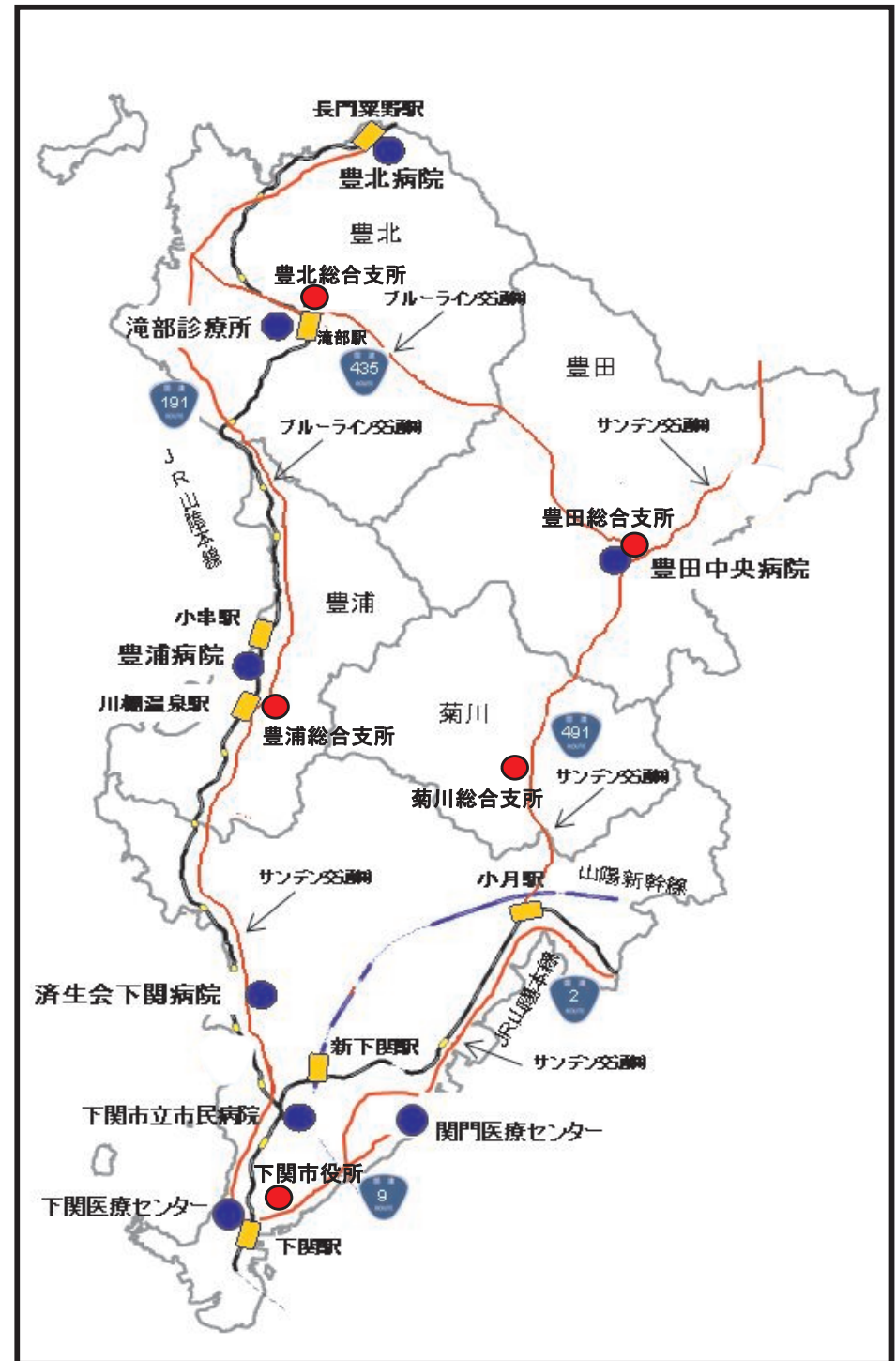
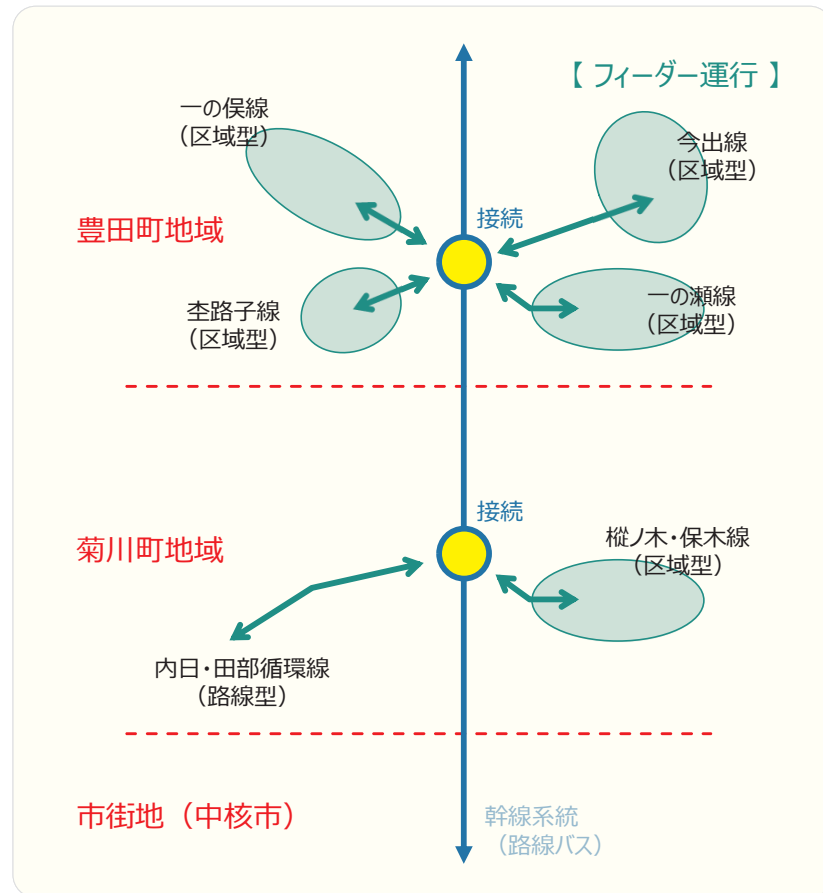
：R5年度 目標利用者数 2,629人/年 実績利用者数 1,514人/年 目標達成率 57.6%

ダイヤ改正による路線の統合や、児童クラブ移転等による利用学生の減少により、当該路線の利用者が減少し、目標は達成できなかった。

事業の今後の改善点

- ・生活バス全路線1乗車ワンコイン(100円)化を継続。
- ・安心して利用できる環境の整備や、自治会へのチラシ配布、イベント時の意識啓発活動を行い、更なる利用促進を図る。
- ・地域のニーズを踏まえた運行ダイヤや便数、経路、運行形態等、生活バス路線のさらなる具体的な見直しに取り組む。

交通体系図 別紙



運行系統図 別紙

● 市町村運営有償運送（下関市生活バス） ●

○系 統 名○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線
（菊川地域） 樫ノ木・保木線、内日田部循環線

○運 行 日○ 月曜日から土曜日

○便 数○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線 ……3回/日
（菊川地域） 樫ノ木・保木線 ……4回/日、内日田部循環線……2回/日

○運 賃○ 一乗車使用料 100円

● 市町村運営有償運送（下関市生活バス） ●

○系 統 名○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線
（菊川地域） 樫ノ木・保木線、内日田部循環線

○運 行 日○ 月曜日から土曜日

○便 数○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線 ……3回/日
（菊川地域） 樫ノ木・保木線 ……4回/日、内日田部循環線……2回/日

○運 賃○ 一乗車使用料 100円

● 市町村運営有償運送（下関市生活バス） ●

○系 統 名○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線
（菊川地域） 樫ノ木・保木線、内日田部循環線

○運 行 日○ 月曜日から土曜日

○便 数○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線 ……3回/日
（菊川地域） 樫ノ木・保木線 ……4回/日、内日田部循環線……2回/日

○運 賃○ 一乗車使用料 100円

● 市町村運営有償運送（下関市生活バス） ●

○系 統 名○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線
（菊川地域） 樫ノ木・保木線、内日田部循環線

○運 行 日○ 月曜日から土曜日

○便 数○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線 ……3回/日
（菊川地域） 樫ノ木・保木線 ……4回/日、内日田部循環線……2回/日

○運 賃○ 一乗車使用料 100円

● 市町村運営有償運送（下関市生活バス） ●

○系 統 名○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線
（菊川地域） 樫ノ木・保木線、内日田部循環線

○運 行 日○ 月曜日から土曜日

○便 数○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線 ……3回/日
（菊川地域） 樫ノ木・保木線 ……4回/日、内日田部循環線……2回/日

○運 賃○ 一乗車使用料 100円

● 市町村運営有償運送（下関市生活バス） ●

○系 統 名○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線
（菊川地域） 樫ノ木・保木線、内日田部循環線

○運 行 日○ 月曜日から土曜日

○便 数○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線 ……3回/日
（菊川地域） 樫ノ木・保木線 ……4回/日、内日田部循環線……2回/日

○運 賃○ 一乗車使用料 100円

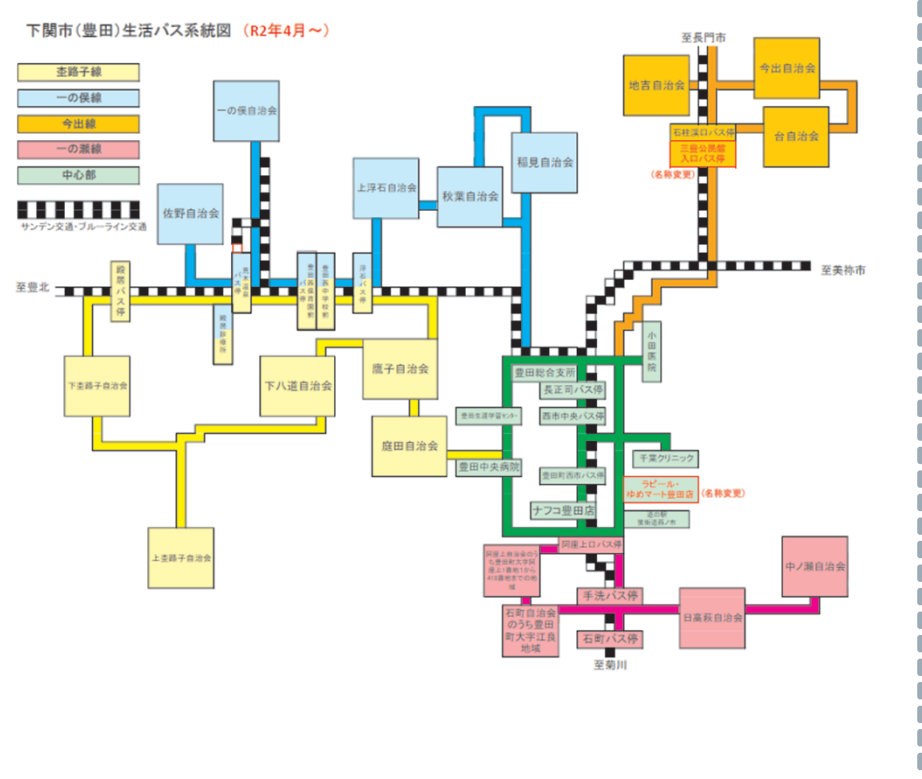
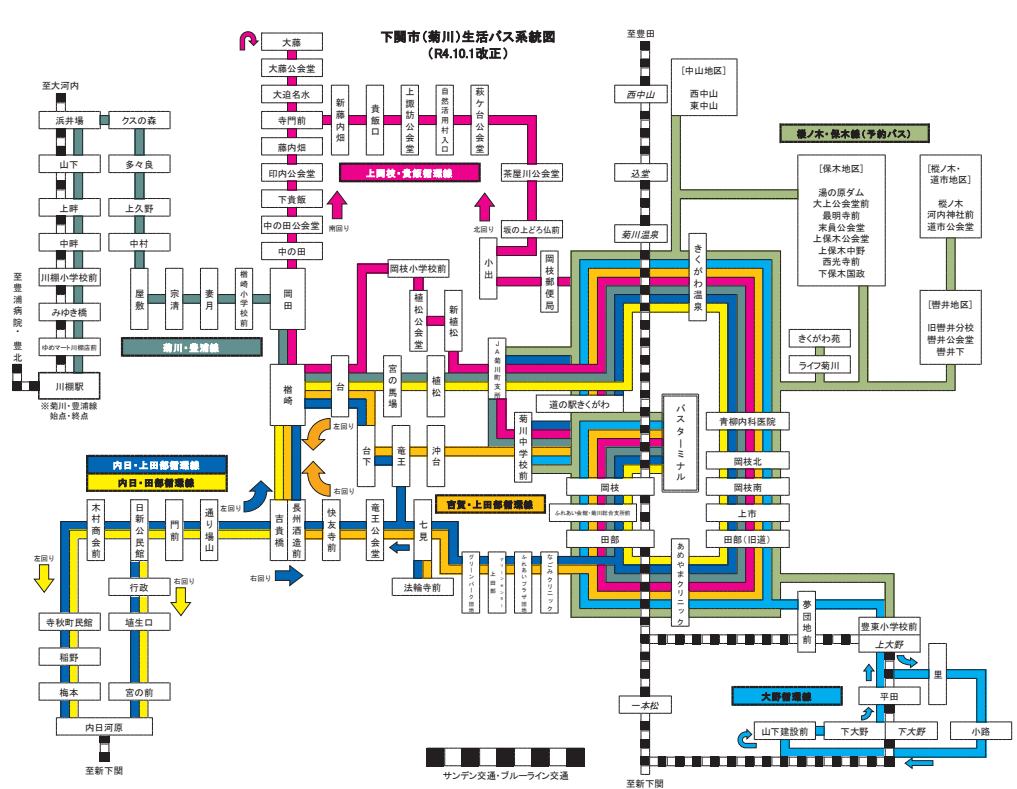
● 市町村運営有償運送（下関市生活バス） ●

○系 統 名○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線
（菊川地域） 樫ノ木・保木線、内日田部循環線

○運 行 日○ 月曜日から土曜日

○便 数○ （豊田地域） 杣路子線、一の俣線、今出線、一の瀬線 ……3回/日
（菊川地域） 樫ノ木・保木線 ……4回/日、内日田部循環線……2回/日

○運 賃○ 一乗車使用料 100円

[illegible][illegible]

生活バスを ご利用ください!!

下関市では、交通の不便な地域を対象に、地域の皆さんの生活の交通を確保するため、生活バスを運行しています。

地域内の移動手段である生活バスを守っていくためには、住民みんなで利用し、支えていくことが重要です。生活バスを維持し存続させていく為、積極的なご利用を今一度よろしくお願いします。

※生活バスでは、車内の換気や消毒液の設置等の新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しています。ご利用の際には、感染症対策へのご理解・ご協力をお願いします。

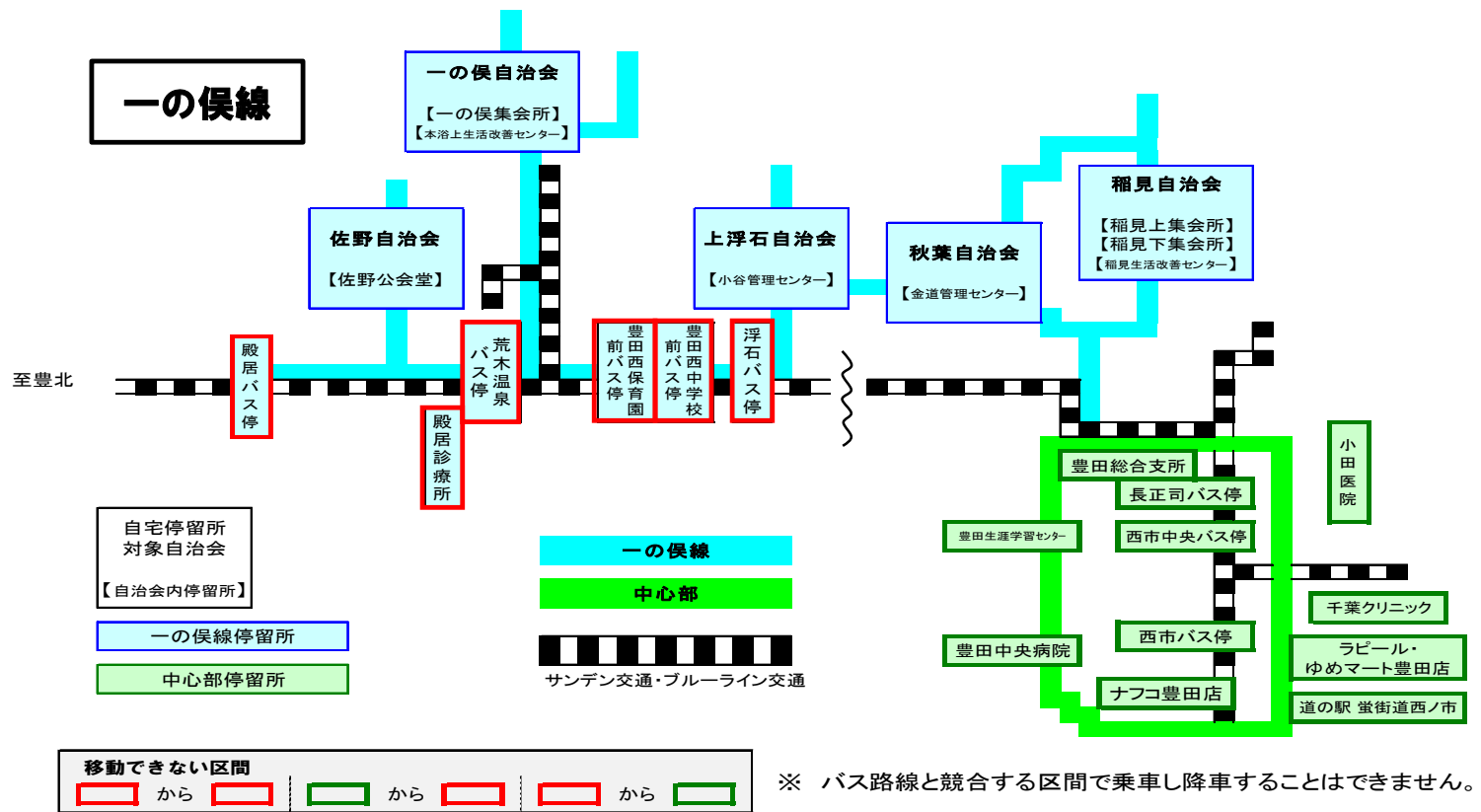
利用料金は、距離に関係なく

1乗車 100円 (小学生以下 50円)

【障害者等割引】手帳等提示により料金が半額になります。

※ 詳しい利用方法は裏面をご覧ください。





- ・利用料は回数券または現金でお願いします。
- ・回数券は生活バス車内及び地域政策課で購入できます。

◆生活バス回数券販売の種類と料金

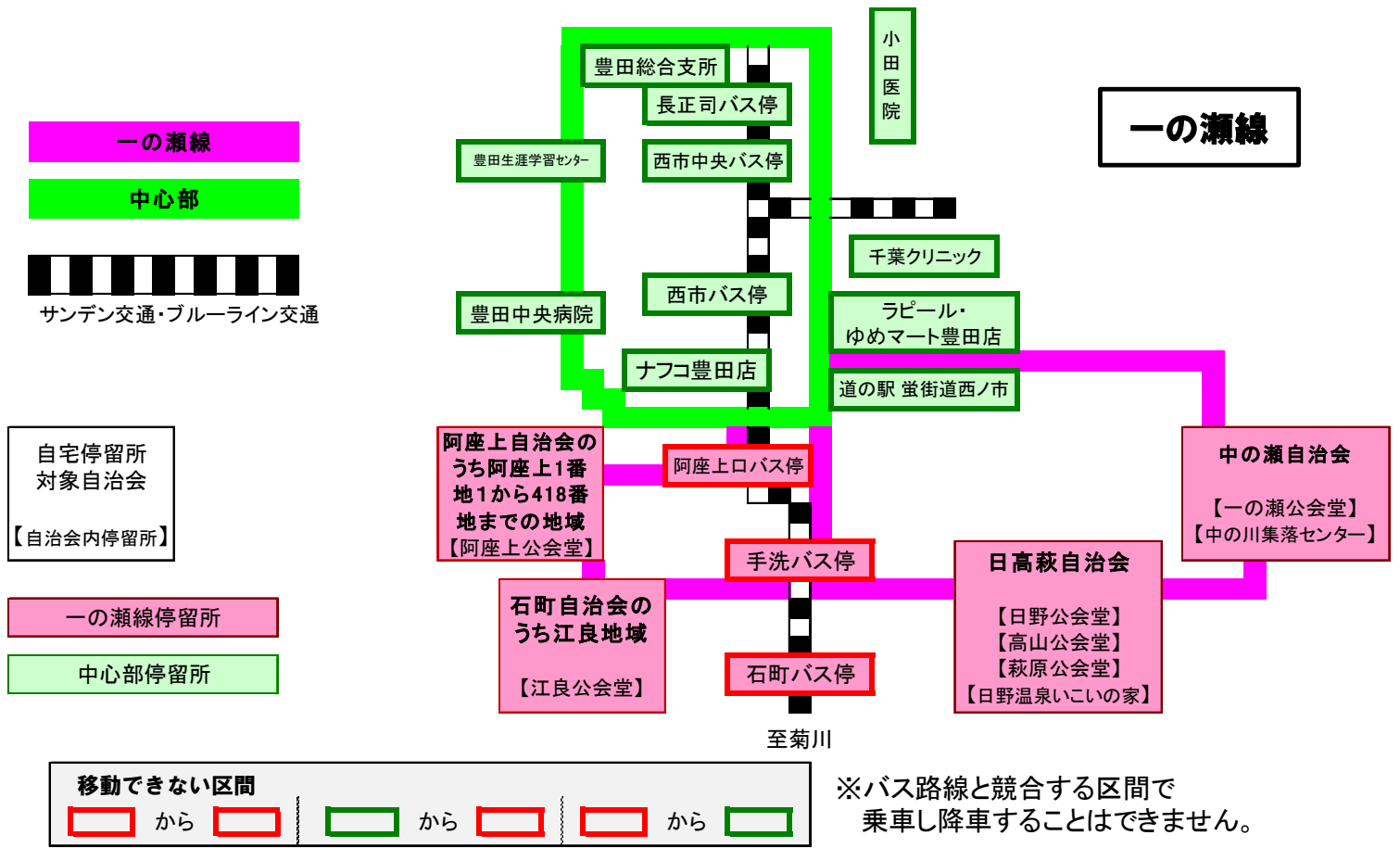
- ☆ 50円券11枚綴りで、500円
- ☆ 100円券11枚綴りで、1,000円

・運行時刻及び予約方法

予約電話番号	0800-200-8220 (通話料無料)		
西市車庫発時刻	1便	2便	3便
	8:30	12:00	14:30
予約締切時間等	3日前から出発時刻の30分前まで (ただし、1便は、前日の19時まで) 受付時間 9時から19時まで		
運休日	日曜・祝日・12月29日から1月3日		

- ・まず、ご予約を！ およその到着時間をお知らせします。(バスの中でも予約できます。)
- ・予約によって運行する制度です。予約がない場合は運行しません。
- ・自宅停留所対象自治会の方は、登録すればご自宅近くで乗降できますので、事前に豊田総合支所地域政策課で申請してください。
- ・予約状況(定員)によっては、ご希望の便に乗りいただけない場合があります。

お問合せ先: 豊田総合支所地域政策課 Tel 766-1056



- ・利用料は回数券または現金でお願いします。
- ・回数券は生活バス車内及び地域政策課で購入できます。

◆生活バス回数券販売の種類と料金

- ☆ 50円券11枚綴りで、500円
- ☆ 100円券11枚綴りで、1,000円

・運行時刻及び予約方法

予約電話番号	0800-200-8220 (通話料無料)		
西市車庫発時刻	1便	2便	3便
	8:00	11:30	15:30
予約締切時間等	3日前から出発時刻の30分前まで (ただし、1便は、前日の19時まで) 受付時間 9時から19時まで		
運休日	日曜・祝日・12月29日から1月3日		

- ・まず、ご予約を！ およその到着時間をお知らせします。(バスの中でも予約できます。)
- ・予約によって運行する制度です。予約がない場合は運行しません。
- ・自宅停留所対象自治会の方は、登録すればご自宅近くで乗降できますので、事前に豊田総合支所地域政策課で申請してください。
- ・予約状況(定員)によっては、ご希望の便に乗車いただけない場合があります。

お問合せ先: 豊田総合支所地域政策課 TEL 766-1056



生活バスに乗ってみませんか？



下関市では、各地域と菊川町中心街を結ぶ「下関市（菊川）生活バス」を運行しています。各地域への移動手段や買い物、通院、通学など、誰でもどこまで乗っても1乗車100円（小学生以下50円）でご利用いただけます。

また、サンデン交通バスへの乗り継ぎなどに、ぜひご利用ください。

【運休日：日曜日、祝日、12/29～1/3（※天候等により臨時運休する場合があります）】

各路線のご案内（各路線図は裏面に記載しています）



【菊川・豊浦線】

菊川バスターミナルと川棚駅を結ぶ「菊川・豊浦線」を運行しております。豊浦町川棚方面へのご移動、ブルーライン交通バス、サンデン交通バス、JR山陰本線への乗り継ぎが可能です。



【内日・田部循環線】

菊川バスターミナルを発着とし、日新地域を内日河原経由で循環します。内日河原でのサンデン交通バスへの乗り継ぎも可能です。

【内日・上田部循環線】

菊川バスターミナルを発着とし、上田部・七見・日新地域を内日河原経由で循環します。内日河原でのサンデン交通バスへの乗り継ぎも可能です。

【吉賀・上田部循環線】

菊川バスターミナルを発着とし、吉賀・七見・上田部地域を循環します。

【上岡枝・貴飯循環線】

菊川バスターミナルを発着とし、上岡枝・貴飯地域を櫛崎経由で循環します。

【大野循環線】

菊川バスターミナルを発着とし、大野地域を循環します。



【縦ノ木・保木線】（予約バス）

「縦ノ木・保木線」は、予約制の運行となっており、事前にご予約が必要となります（ご予約のお電話は菊川バスターミナルへ）。菊川バスターミナルを発着とし、縦ノ木・道市、轡井、保木、中山地域（予約のあった区間のみ）を運行します。

生活バスの路線図・時刻表は
こちら（下関市ホームページ）
からご確認ください



お得な回数券を、バスターミナル、生活バス車内、
菊川総合支所地域政策課で販売しています

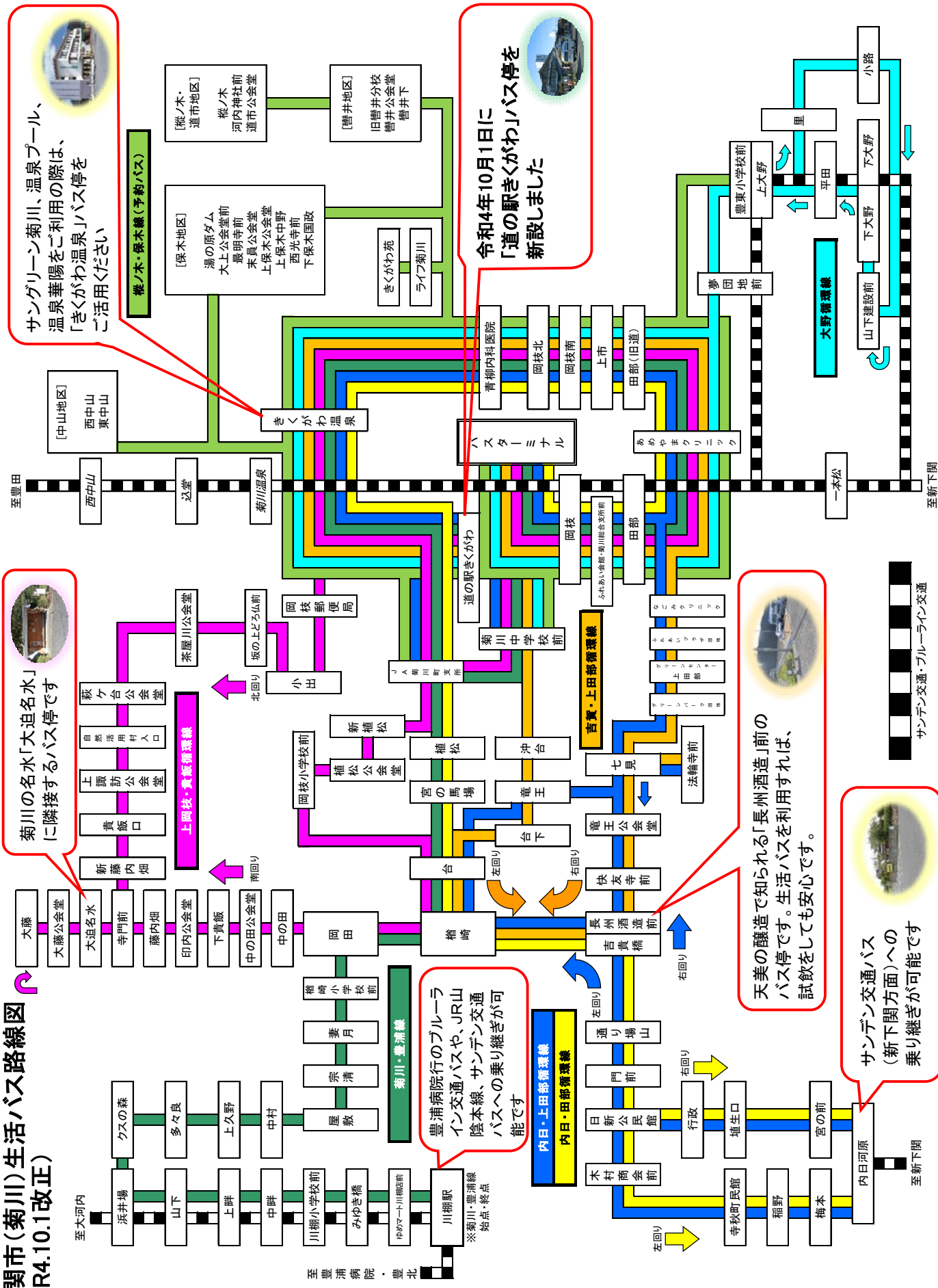
50円券×11枚入 500円
100円券×11枚入 1,000円

公共交通を守るためには、地域の皆様に利用し、支えることが重要です
近年は利用者数が減少傾向にあり、利用率が低い状態が続く路線については
地域全体の効率的運送の観点から、廃止や減便等の検討も行わなくてはなりません。

生活バスについて、ご不明な点はお気軽に下記へお問い合わせ下さい。

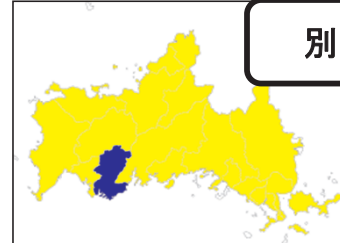
- 菊川バスターミナル（ブルーライン交通菊川営業所） TEL（083）287-4312
- 菊川総合支所地域政策課 TEL（083）287-1115

下関市(菊川)生活バス路線図
(R4.10.1改正)



令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 宇部市公共交通協議会 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要

別添2



宇部市の概要

- ・平成16年11月に1市1町が合併
- ・人口 162,570人(令和2年国勢調査)
- ・面積 286.65km²

協議会の構成員

学識経験者、バス事業者、タクシー協会、コミタク運行事業者、鉄道事業者、山口運輸支局、道路管理者、宇部警察署、交通労働組合、山口県、利用者代表、自治会推薦者、宇部市

概 要

宇部市は、平成16年に楠町と合併。これにより、北部の中山間地域は拡大した。
本市では、地域公共交通を取り巻く社会経済状況の変化や、令和3年度で計画期間が終了した「宇部市地域公共交通網形成計画」の評価・検証を踏まえ、公共交通が果たすべき役割を明確にするとともに、持続可能な地域公共交通を実現するため、その基本方針や取り組むべき施策を示すマスタープランとして、令和4年3月に、「宇部市地域公共交通計画」を策定。
同計画では、居住地と地域拠点、地域コミュニティ核、乗継拠点を接続する地域公共交通サービスとして、地域内交通(地域内フィーダー系統)を位置付けている。

協議会の主な取り組み

- ・利用者ニーズに合わせた路線バス等のダイヤの見直し
- ・交通空白地域における地域内交通の導入支援
- ・利用促進に向けた、わかりやすい情報提供
- ・公共交通の運転士確保に向けた、運転士体験会 & 就業説明フェアの開催

協議会における検討

協議会の開催状況

令和3年度

- ・令和3年6月22日～28日
令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画の文書協議・合意

令和4年1月5日

令和3年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価

令和4年度

令和4年6月23日

令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画の協議・合意

令和4年12月23日

令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価

令和5年度

令和5年6月20日

令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の協議・合意

令和6年1月9日

令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価

定量的な目標・効果

○二俣瀬線 宇部市交通局

【目標】・収支率3.5%、年間利用者数240人、稼働率30.0%のいずれかの達成
(令和3年度実績 収支率2.8%、年間利用者数205人、稼働率15.8%)

【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。
・小学生の通学手段が確保されることにより、保護者等における送迎の負担軽減が図れる。

○吉部・万倉線 船木鉄道(株)

【目標】・収支率3.5%、年間利用者数770人、稼働率47.5%のいずれかの達成
(令和3年度実績 収支率2.2%、年間利用者数754人、稼働率47.4%)

【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○西宇部線 宇部山電タクシー(株)

【目標】・収支率18.0%、年間利用者数1,240人のいずれかの達成(令和3年度実績 収支率17.7%、年間利用者数1,217人)

【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、電車や路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○厚南線 宇部山電タクシー(株)

【目標】・収支率18.8%、年間利用者数2,510人のいずれかの達成(令和3年度実績 収支率17.2%、年間利用者数2,292人)

【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、電車や路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○原線 宇部第一交通(株)

【目標】・収支率25.1%、年間利用者数1,290人のいずれかの達成(令和3年度実績 収支率25.0%、年間利用者数1,222人)

【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、電車や路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○東部市内循環線(めぐりーな) 宇部市交通局

【目標】・収支率36.6%、年間利用者数33,600人のいずれかの達成(令和3年度実績 収支率36.5%、年間利用者数33,589人)

【効果】・交通空白地域からの移動手段の確保、市街地の公共施設への移動手段の確保ができ、さらなる利用者の安全性・利便性が向上する。

定量的な目標・効果

○市街地循環線 宇部市交通局

- 【目標】・収支率30.0%、年間利用者数13,900人のいずれかの達成(令和3年度実績 収支率26.9%、年間利用者数13,831人)
【効果】・まちなかの円滑な移動手段の確保ができ、結節点で電車やバスと連携することで、広域的な移動利便性が向上する。

○桃山線 宇部第一交通(株)

- 【目標】・収支率14.0%、年間利用者数2,270人(令和3年度実績 収支率13.0%、年間利用者数2,115人)
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、電車や路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○東岐波線 宇部第一交通(株)

- 【目標】・収支率24.8%、年間利用者数1,670人(令和3年度実績 収支率24.7%、年間利用者数1,663人)
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

○藤山線 宇部山電タクシー(株)

- 【目標】・収支率20.0%、年間利用者数480人(令和3年度実績 収支率18.7%、年間利用者数428人)
【効果】・当該路線を維持することにより、公共交通空白地域の高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、路線バスと連携することにより、広域的な移動利便性が向上する。

実施した利用促進策

○西宇部線 宇部山電タクシー(株)、厚南線 宇部山電タクシー(株)、原線 宇部第一交通(株)、東部市内循環線(めぐりーな) 宇部市交通局、市街地循環線 宇部市交通局、桃山線 宇部第一交通(株)、東岐波線 宇部第一交通(株)、藤山線 宇部山電タクシー(株)
チラシなどの印刷物の配布・回覧、ホームページでの情報提供等を行った。

○二俣瀬線 宇部市交通局、吉部・万倉線 船木鉄道(株)

投票のための移動を支援するとともに、当該路線を利用するきっかけ作りのため、期日前投票を目的とした利用に限り、往復の運賃を無料とした。

昨年度の自己評価に 対するフォローアップ

○二侯瀬線 宇部市交通局

投票のための移動を支援するとともに、当該路線を利用するきっかけ作りのため、期日前投票を目的とした利用に限り、往復の運賃を無料とする等、利用促進に取り組んだ。

○吉部・万倉線 船木鉄道(株)

投票のための移動を支援するとともに、当該路線を利用するきっかけ作りのため、期日前投票を目的とした利用に限り、往復の運賃を無料とする等、利用促進に取り組んだ。

○西宇部線 宇部山電タクシー(株)

令和5年10月からのルート見直しとダイヤ変更、停留所新設に取り組んだ。停留所新設に際して、アンケートを実施し意向把握を行った。また、利用促進やダイヤ変更等の周知のため、チラシを作成し住民に配布し、ポスターを地域内の医療機関等に掲示したほか、クリスマスキャンペーンを継続して実施した。

○厚南線 宇部山電タクシー(株)

運行内容を周知し、利用促進を図るため、ルートやダイヤなどを掲載したチラシを新たに作成し、ルート上の全世帯に配布した。また、市民センターの利用者に、コミタクの利用を呼び掛け、ロコミでの利用促進を図る取り組みを実施した。

○原線 宇部第一交通(株)

地域住民の意向を反映し、利便性を向上させるため、令和5年10月からのジャンボタクシー導入に取り組んだ。また、チラシのルート上の地域への回覧やウェブサイトへの掲載を行ったほか、民生委員会議の場での利用を呼び掛け等、ロコミでの利用促進を行った。

○東部市内循環線 宇部市交通局

「周知活動を継続する。」とした点について、市広報紙、時刻表、ホームページなどで情報提供を行った。

昨年度の自己評価に 対するフォローアップ

○市街地循環線 宇部市交通局

「周知活動を継続する。」とした点について、市広報紙、時刻表、ホームページなどで情報提供を行った。

○桃山線 宇部第一交通(株)

地域住民の意向を反映し、利便性向上や利用促進を図るために、令和4年10月からルートの一部を変更した。また、運行対象地域内の祭りでの運行車両展示を継続して行うとともに、手のひらサイズの時刻表を参加者に配布し周知を行った。

○東岐波線 宇部第一交通(株)

運行内容を周知するため、運行地域の広報誌に情報を掲載し全戸配布した。また、コースや時刻表をウェブサイト上で確認ができるように広報誌に二次元コードを表示したほか、民生委員や福祉委員を通して、交通手段を持っていない高齢者に対して、口頭での周知を行った。

○藤山線 宇部山電タクシー(株)

対象地域内のスーパーの啓発掲示板を刷新したほか、ふれあいセンターにチラシを設置した。また、ふれあいセンターの利用者にコミタクの利用を呼び掛けたほか、民生・児童委員協議会の会議でチラシを配布し、特に停留所近辺の担当民生委員には、独居の高齢者を中心に配布を依頼する等の周知を行った。

昨年度の運輸局二次評価に 対するフォローアップ

「目標が達成出来なかった系統については、要因を分析の上、引き続き住民組織と議論を重ね、住民に利用してもらえる持続可能な公共交通となるよう期待する。なお、要因分析に当たってはキャッシュレス決済機の導入等を事業として進め、デジタルデータを活用することで最適化を図る取組を将来的に検討されたい。」とされた点については、月次で利用実績を把握するとともに、住民組織の会議への出席を通じて、利用状況や目標未達となった課題を踏まえ、周知活動の手法や、運行内容の見直し等について議論を行っている。また、一部系統については、キャッシュレス決済が導入されているところではあるが、利用者の大半が高齢者であり、キャッシュレスでの支払いが無いことから、今後、キャッシュレス決済の利用促進についても検討して行く。

地域住民の意見の反映

- 原線 宇部第一交通(株)
地域住民の意向を反映し、利便性を向上させるため、令和5年10月からのジャンボタクシーの導入に取り組んだ。
- 西宇部線 宇部山電タクシー(株)
地域住民の意向を反映し、利便性を向上させるため、令和5年10月からのルートの見直しに取り組んだ。

事業実施の適切性

- 二俣瀬線 宇部市交通局
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- 吉部線、万倉線 船木鉄道(株)
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- 西宇部線 宇部山電タクシー(株)
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- 厚南線 宇部山電タクシー(株)
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- 原線 宇部第一交通(株)
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- 東部市内循環線 宇部市交通局
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- 市街地循環線 宇部市交通局
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- 桃山線 宇部第一交通(株)
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- 東岐波線 宇部第一交通(株)
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。
- 藤山線 宇部山電タクシー(株)
事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。

目標・効果達成状況

○二俣瀬線 宇部市交通局

目標は収支率3.5%、年間利用者数240人、稼働率30.0%のいずれかの達成であったが、実績は収支率2.3%、年間利用者数219人、稼働率16.0%でいずれの目標も達成できなかった。(R4収支率3.4%、年間利用者数261人、稼働率16.2%)

○吉部線、万倉線 船木鉄道株

目標は収支率3.5%、年間利用者数770人、稼働率47.5%のいずれかの達成であったが、実績は収支率3.4%、年間利用者数1,164人、稼働率51.7%で、年間利用者数、稼働率の目標を達成した。

○西宇部線 宇部山電タクシー株

目標は収支率18.0%、年間利用者数1,240人のいずれかの達成であったが、実績は収支率17.9%、年間利用者数1,148人で、いずれの目標も達成できなかった。

○厚南線 宇部山電タクシー株

目標は収支率18.8%、年間利用者数2,510人のいずれかの達成であったが、実績は、収支率16.5%、年間利用者数2,390人で、いずれの目標も達成できなかった。

○原線 宇部第一交通株

目標は収支率25.1%、年間利用者数1,290人のいずれかの達成であったが、実績は収支率31.6%、年間利用者数1,781人で、いずれの目標も達成できた。

○東部市内循環線 宇部市交通局

目標は収支率36.6%、年間利用者数33,600人のいずれかの達成であったが、実績は収支率53.0%、年間利用者数44,688人で、いずれの目標も達成できた。

目標・効果達成状況

○市街地循環線 宇部市交通局

目標は収支率30.0%、年間利用者数13,900人のいずれかの達成であったが、実績は収支率24.0%、年間利用者数15,684人で、年間利用者数の目標を達成できた。

○桃山線 宇部第一交通(株)

目標は収支率14.0%、年間利用者数2,270人のいずれかの達成であったが、実績は収支率11.7%、年間利用者数2,350人で、年間利用者数の目標を達成できた。

○東岐波線 宇部第一交通(株)

目標は収支率24.8%、年間利用者数1,670人のいずれかの達成であったが、実績は、収支率17.8%、年間利用者数1,064人で、いずれの目標も達成できなかった。

○藤山線 宇部山電タクシー(株)

目標は収支率20.0%、年間利用者数480人のいずれかの達成であったが、実績は収支率16.0%、年間利用者数384人で、いずれの目標も達成できなかった。

事業の今後の改善点

○二俣瀬線 宇部市交通局

利用実態と利用者ニーズの把握に努めながら、周知啓発による利用促進や運行内容の見直しを検討する。

○吉部・万倉線 船木鉄道(株)

利用実態と利用者ニーズの把握に努めながら、周知啓発による利用促進や運行内容の見直しを検討する。

○西宇部線 宇部山電タクシー(株)

利用実態と利用者ニーズの把握に努めながら、周知啓発による利用促進や運行内容の見直しを検討する。

○厚南線 宇部山電タクシー(株)

利用実態と利用者ニーズの把握に努めながら、周知啓発による利用促進や運行内容の見直しを検討する。

○原線 宇部第一交通(株)

利用実態と利用者ニーズの把握に努めながら、周知啓発による利用促進を図る。

○東部市内循環線 宇部市交通局

運行内容が定着し、利用者が増加しているので、周知活動を継続する。

○市街地循環線 宇部市交通局

収支率が30%を下回っているが、前年度より改善されていることから、令和5年4月に実施した運行の見直しが効果を発揮していると思われる。今後も、利用者増加のため、周知活動を継続する。

○桃山線 宇部第一交通(株)

利用実態と利用者ニーズの把握に努めながら、周知啓発による利用促進や運行内容の見直しを検討する。

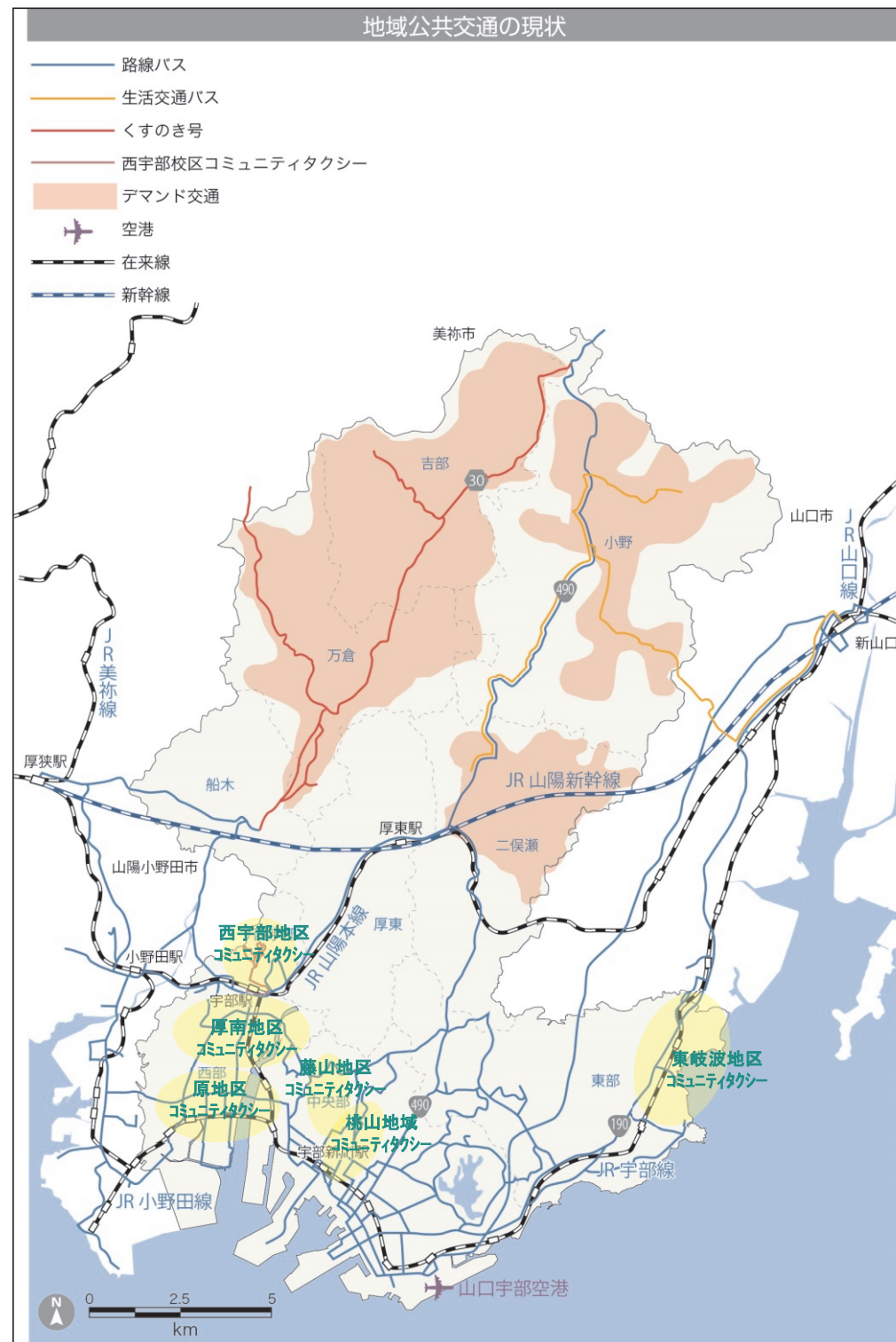
○東岐波線 宇部第一交通(株)

利用実態と利用者ニーズの把握に努めながら、周知啓発による利用促進や運行内容の見直しを検討する。

○藤山線 宇部山電タクシー(株)

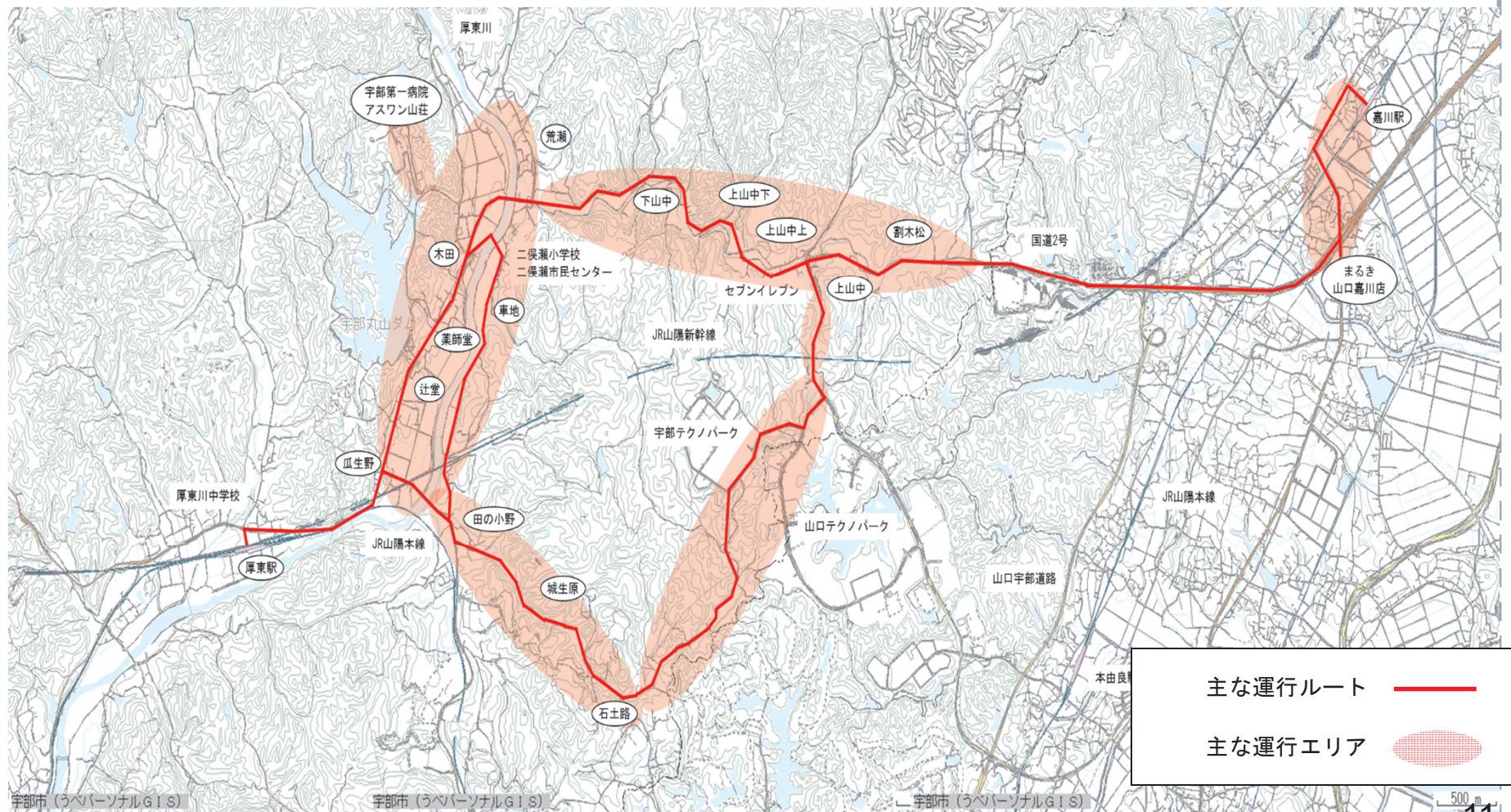
利用実態と利用者ニーズの把握に努めながら、周知啓発による利用促進や運行内容の見直しを検討する。

交通体系図 別紙



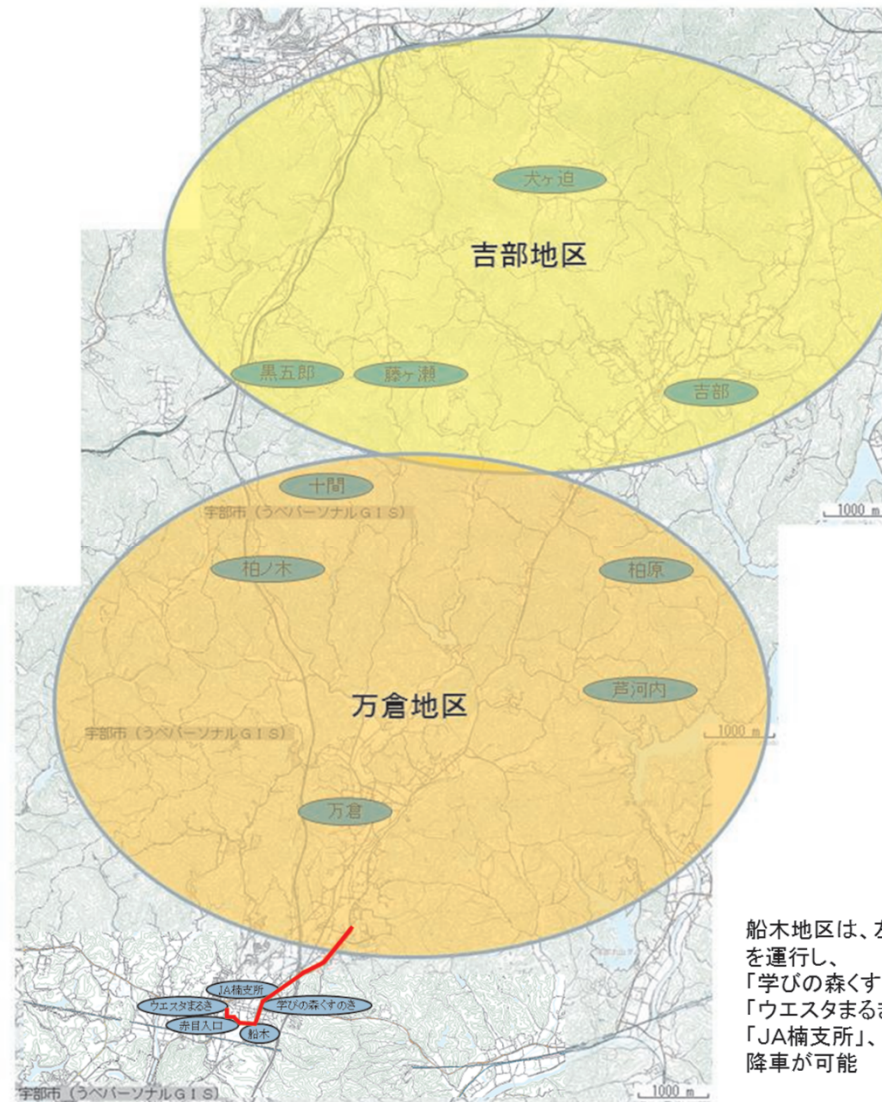
運行系統図 別紙

【系 統 名】 二俣瀬線 宇部市交通局
【運 行 形 態】 4条路線 区域デマンド型
【運行日・便数】 月～金（祝日、8／15・16、12／29～1／3運休） 1日4便
【運 賃】 200円



運行系統図 別紙

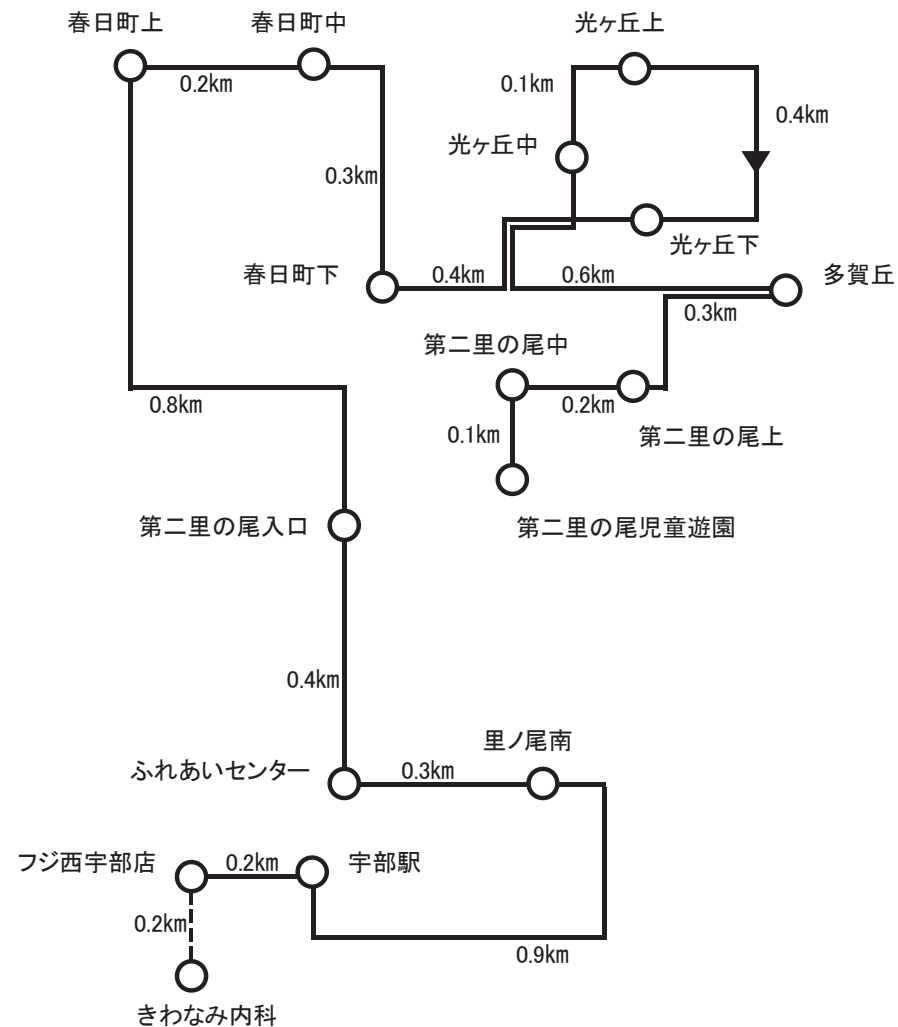
【系 統 名】 吉部線、万倉線 船木鉄道㈱
 【運 行 形 態】 4条路線 区域デマンド型
 【運行日・便数】 月～金（祝日、8／14～16、12／31～1／3運休） 1日4便
 【運 賃】 200円



船木地区は、左の赤線のルート
 を運行し、
 「学びの森くすのき」、「船木」、
 「ウエスタまるき」で乗降が、
 「JA楠支所」、「赤目入口」で
 降車が可能

運行系統図 別紙

【系 統 名】 西宇部線 宇部山電タクシー(株)
 【運 行 形 態】 4条路線 乗り合いバス型(定期)
 【運行日・便数】 月～金及び日祝(土曜、12/29～1/3運休)
 月火木金:往路2便 復路1便、循環1便、 水日祝:往路1便 復路1便
 【運 賃】 300円、200円、100円



運行系統図 別紙

【系 統 名】 厚南線 宇部山電タクシー(株)

【運 行 形 態】 4条路線 乗り合いバス型(定期)

【運行日・便数】 ①上開作(宇部駅) 火・金 往復1便

③際波台(宇部駅) 平日 往復1便

⑤大森(宇部駅) 水 往復1便

※祝日、12/29～1/3除く

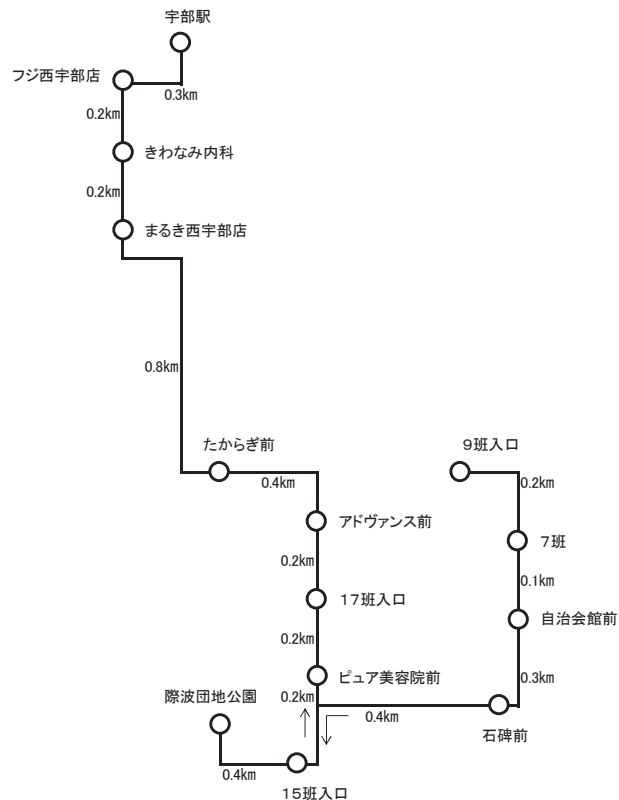
【運 賃】 200円

②上開作(ゆめタウン) 月、木 往復1便

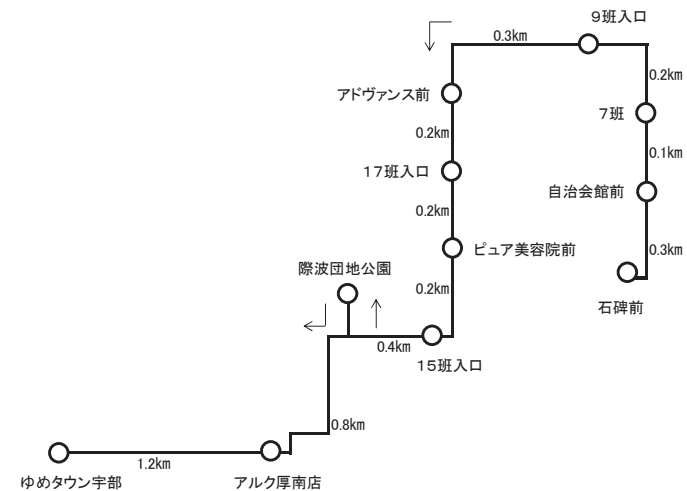
④際波台(ゆめタウン) 平日 往復1便

⑥大森・旭が丘(ゆめタウン) 火・土 往復1便

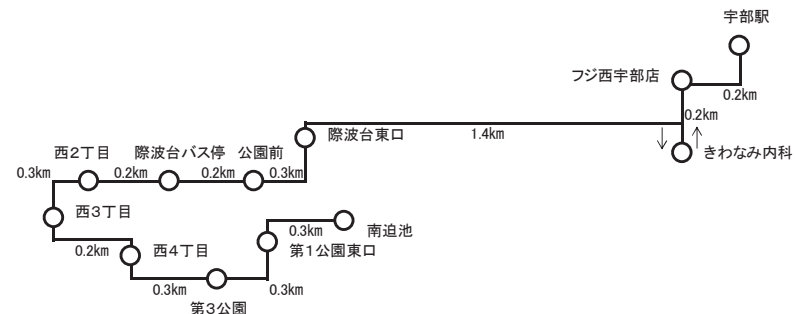
厚南線 上開作(宇部駅) (4.3km)



厚南線 上開作(ゆめタウン) (3.9km)



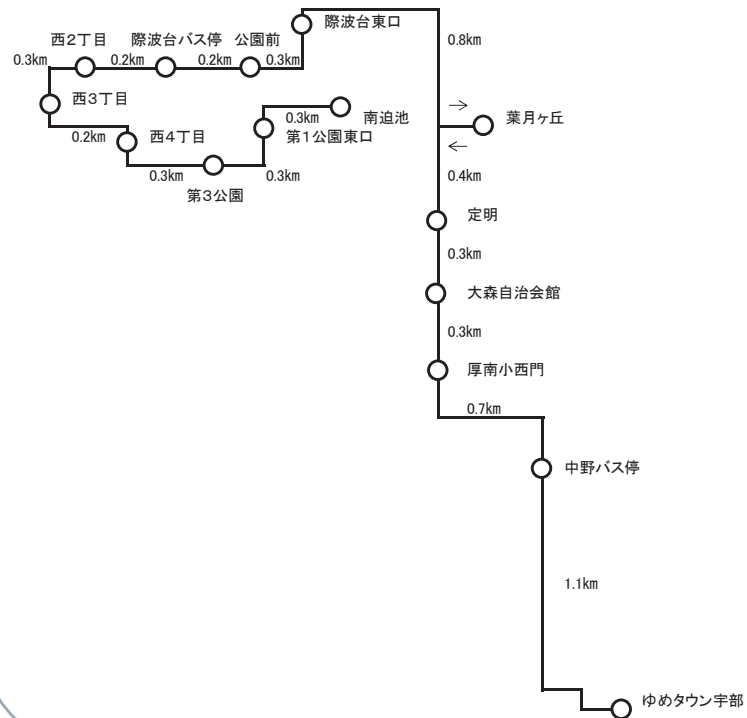
厚南線 際波台(宇部駅) (3.9km)



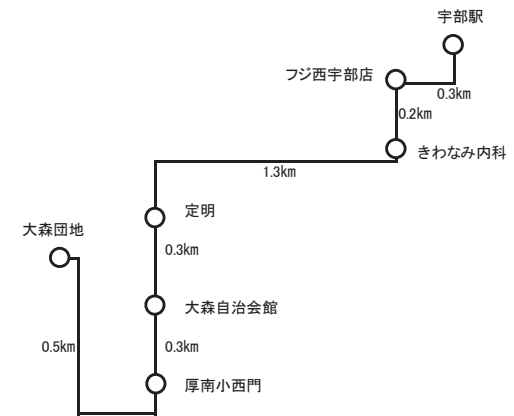
運行系統図 別紙

【系 統 名】 厚南線 宇部山電タクシー(株)

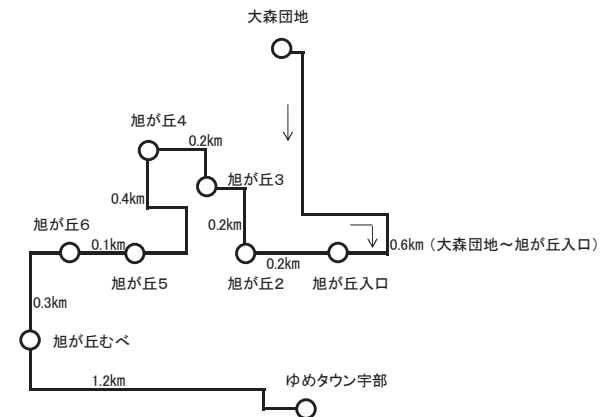
厚南線 際波台(ゆめタウン) (5.7km)



厚南線 大森(宇部駅) (2.9km)



厚南線 大森・旭が丘(ゆめタウン) (3.2km)



運行系統図 別紙

【系 統 名】 原線 宇部第一交通(株)

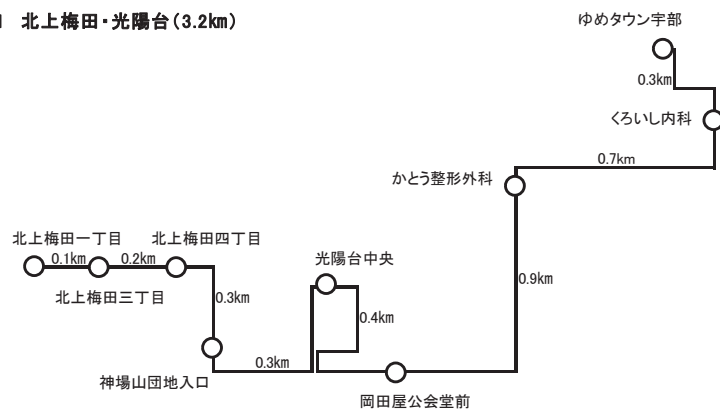
【運 行 形 態】 4条路線 乗り合いバス型(定期)

【運行日・便数】 月・金(祝日、12/29~1/3除く) 往復1便 ①北上梅田・光陽台、③第一原

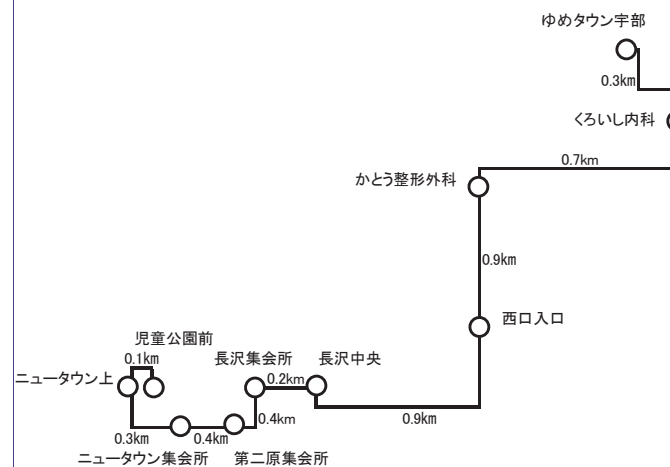
火・木(祝日、12/29~1/3除く) 往復1便 ②第二原、④新開作

【運 賃】 300円

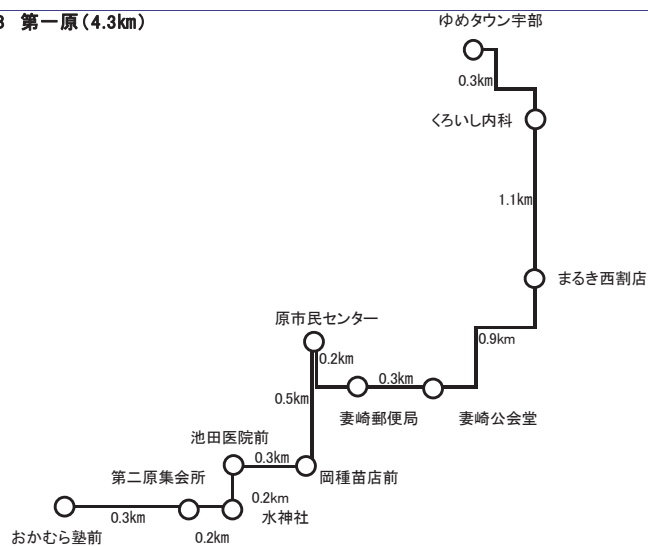
1 北上梅田・光陽台(3.2km)



2 第二原(4.2km)



3 第一原(4.3km)



4 新開作(5.4km)



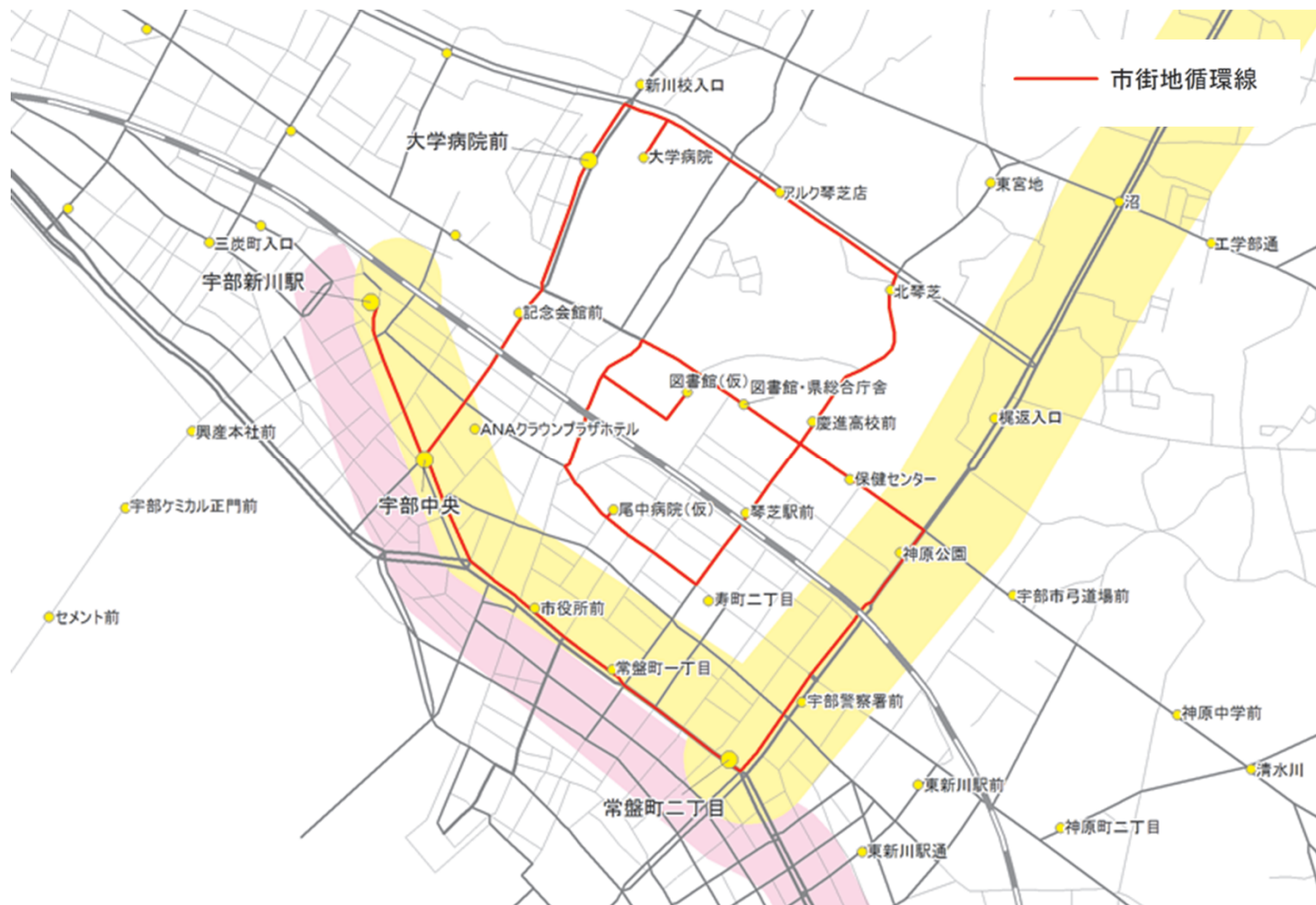
運行系統図 別紙

【系 統 名】 東部市内循環線 宇部市交通局
【運 行 形 態】 4条路線 乗り合いバス型(定期)
【運行日・便数】 毎日 工学部・空港回り1日4便 恩田・空港回り1日4便
【運 賃】 区間運賃制 140円～310円



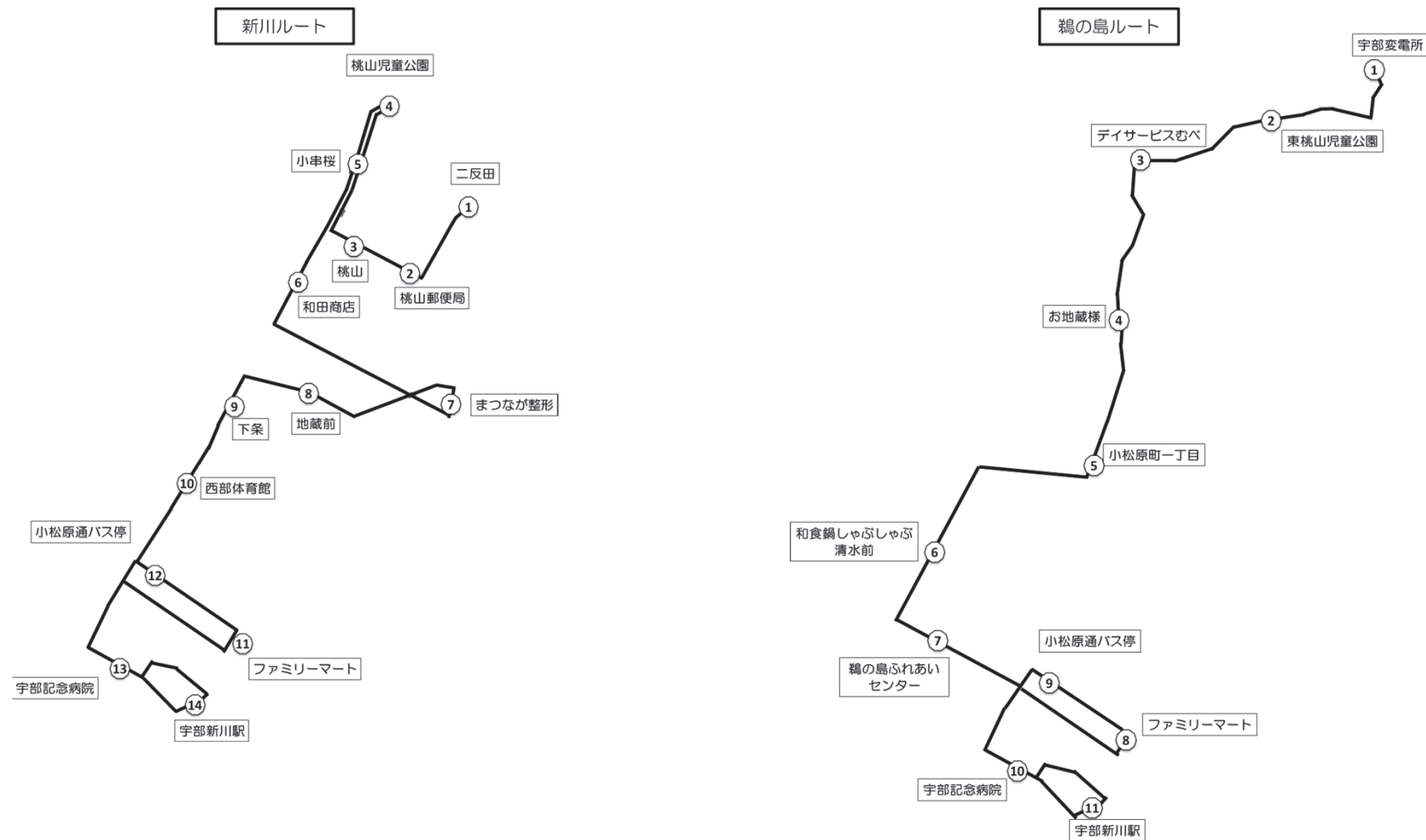
運行系統図 別紙

【系 統 名】 市街地循環線 宇部市交通局
【運 行 形 態】 4条路線 乗り合いバス型(定期)
【運行日・便数】 毎日 平日:琴芝駅・大学病院回り1日6便 大学病院・空港回り1日5便
 土日祝(1/2・3、8/15・16、12/30・31含む):琴芝駅・大学病院回り1日5便 大学病院・空港回り1日5便
【運 賃】 150円



運行系統図 別紙

【系 統 名】 桃山線 宇部第一交通(株)
【運 行 形 態】 4条路線 乗り合いバス型(定期)
【運行日・便数】 月、水、木、金(祝日、12/29~1/3除く)
 ①新川 往路4便 復路3便
 ②鵜の島 往路3便 復路2便
【運 賃】 250円



運行系統図 別紙

【系 統 名】 東岐波線 宇部第一交通(株)

【運 行 形 態】 4条路線 乗り合いバス型(定期)

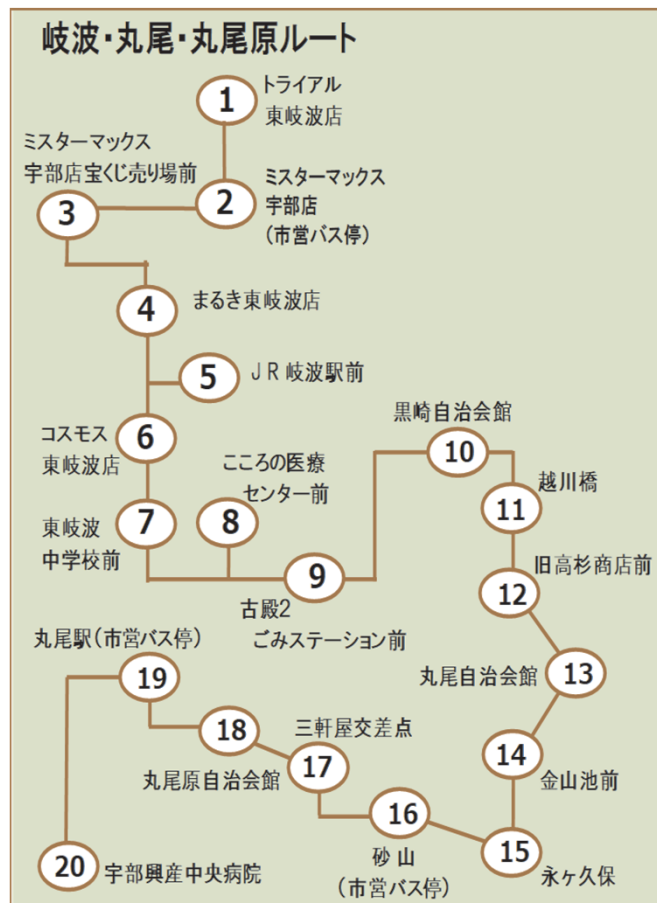
【運行日・便数】 火、金(祝日、12/29~1/3除く)

①岐波・丸尾・丸尾原(黒崎自治会館) 往路1便 ②岐波・丸尾・丸尾原(トライアル) 往路1便 復路2便

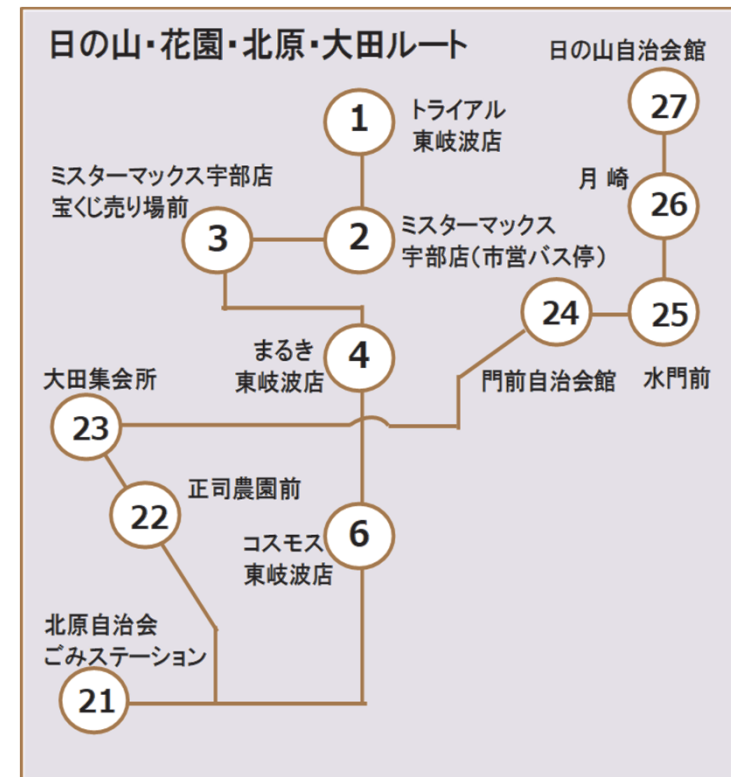
②日の山・花北大 往復1便

【運 賃】 250円

①

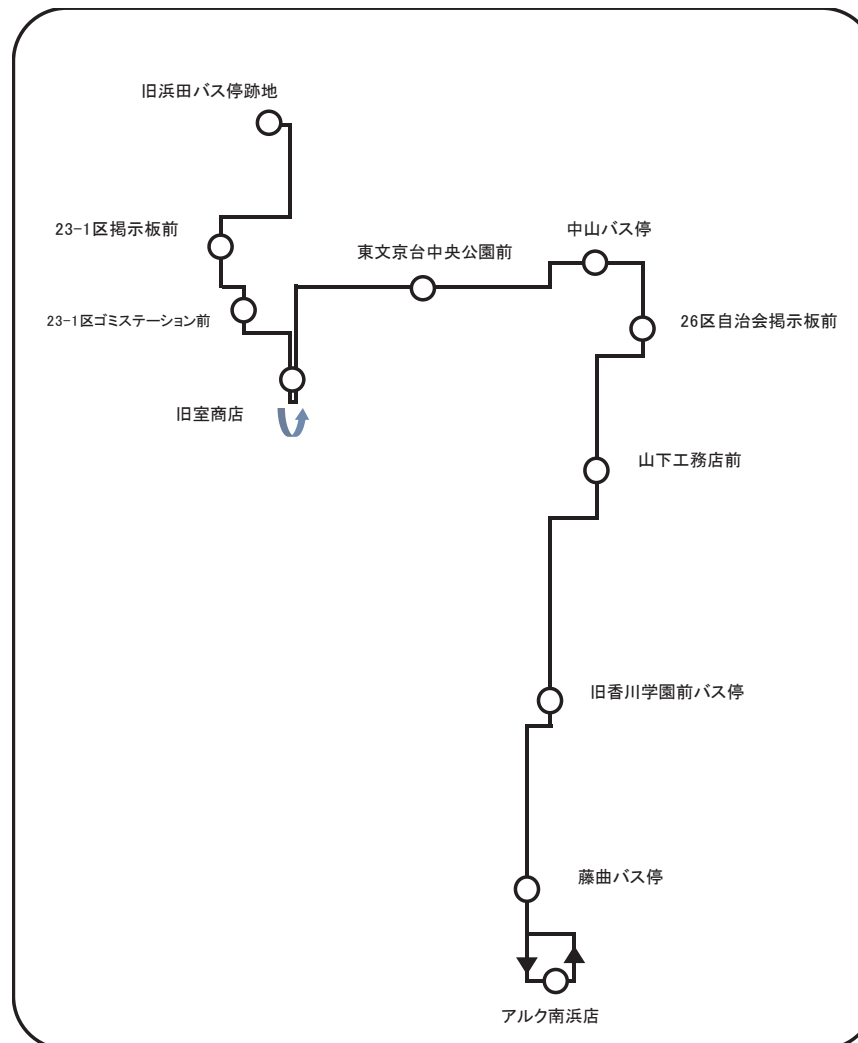


②



運行系統図 別紙

【系 統 名】 藤山線 宇部山電タクシー(株)
【運 行 形 態】 4条路線 乗り合いバス型(定期)
【運行日・便数】 火、木(祝日、12/29~1/3除く) 往復2便
【運 賃】 250円



令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

阿武町地域公共交通会議

生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



阿武町の概要

- ・昭和30年1月に1町2村が合併
- ・人口 3,055人(令和2年国勢調査)
- ・面積 115.95km²

阿武町地域公共交通会議の構成員

山口運輸支局 山口県 阿武町 防長交通(株)
 萩近鉄タクシー(株) 山口県バス協会 阿武町議会議員
 利用者代表 私鉄中国地方労働組合防長支部 萩警察署

概 要

阿武町における公共交通機関であるバス交通は、身近な交通手段として重要な役割を果たし、特に車の免許を持たない高齢者や高校生にとって唯一の移動手段となっており、通院・通学・買い物等の生活に必要不可欠となっている。

沿岸部はJR山陰本線に奈古・木与・宇田郷の3駅があり1日8回運行。またバス交通では、国道191号で萩市との間に防長交通が10.5回、道の駅阿武町と惣郷間を5回運行。さらに、道の駅阿武町と山間部の福賀地区宇生賀間を5回運行し、奈古駅をハブとして、町内3地区を結ぶバス路線ネットワークを構築している。

一方、各地区内では、福賀地区で令和3年10月から、奈古地区と宇田郷地区で令和5年4月から、地域住民が運行するデマンド型交通を自家用有償旅客運送により実施することで、JRやバスと接続して総合病院や高校のある萩市へ向かう移動ニーズの対応を図っている。

協議会の主な取り組み

- ・利用者ニーズに合わせた路線バス等の再編を検討
- ・交通空白地域における自家用有償旅客運送の活用
- ・住民自らの交通支援体制の導入
 町内3地区それぞれで運行している自家用有償旅客運送を、地域住民自ら運行するデマンド型交通を導入

協議会における検討

協議会の開催状況 5回開催

- ・第1回(4月13日～4月20日)交通空白輸送の変更協議(書面協議)
- ・第2回(6月22日～6月28日)確保維持改善計画を協議(書面決議)
- ・第3回(9月19日～9月25日)福祉輸送の変更協議(書面決議)
- ・第4回(11月22日)阿武町交通計画素案の審議

定量的な目標・効果

- (目標)・道の駅阿武町～宇生賀系統 : 1月当たり利用者数を150人以上とする
- ・道の駅阿武町～福賀小前系統 : 1月当たり利用者数を150人以上とする

(効果)・当該路線を維持することにより、福賀地区の高齢者及び奈古や萩方面の高校へ通う生徒等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
また、幹線バスやJR線との接続により、萩市への移動手段の確保、高齢者の外出促進、地域住民の活動機会の増加、地域活性化に繋がる。
さらに、町が進めている道の駅を核とした町内周遊観光ともタイアップすることで、関係人口の増加や地域内循環にも寄与する。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

- ・「利用者のニーズ把握するとともに、ダイヤの見直しを検討していく。」とした点については、ニーズ把握を町と事業者共同で行い、検討している。
- ・「令和5年4月から全町で共助の交通支援体制が構築する。」とした点については、奈古地区、宇田郷地区でも住民自らが行う共助のデマンド型交通の運行が開始された。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

・「目標が達成出来なかった系統については、コロナの影響以外の要因分析を行い、安全安心に利用できるよう持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待する。」とされた点については、令和5年4月から全町で住民共助のデマンド運行が開始され、安全安心に利用できる持続可能な交通ネットワークを構築した。また、令和5年度交通系ICカードが整備されるため、今後デジタルデータの活用を検討する。

実施した利用促進策

- ・各公共交通を一覧とした時刻表を作成し配布やウェブサイトでの情報発信を行い、利用促進に取り組んだ。
- ・学生ボランティアなどの町内行事の際に、町内バス料金の運賃補助を実施し、利用促進を図った。

地域住民の意見の反映

- ・バス運転手や運行事業所、デマンド型交通運行団体、阿武町役場にて利用者からの意見を受け付け、関係者間での情報共有を行っている。
- ・JRダイヤ改正後の接続について、保護者意見を聴取しながら、幹線バスの運行ダイヤやデマンド型交通によるJR線への接続等の調整を実施した。

事業実施の適切性

- ・福賀地区と町の中心地である奈古地区を結ぶ唯一の幹線として機能しており、通学のほか、地区間の交流事業や奈古地区への買い物や通院等の利用も図られ、適切に実施されている。

目標・効果達成状況

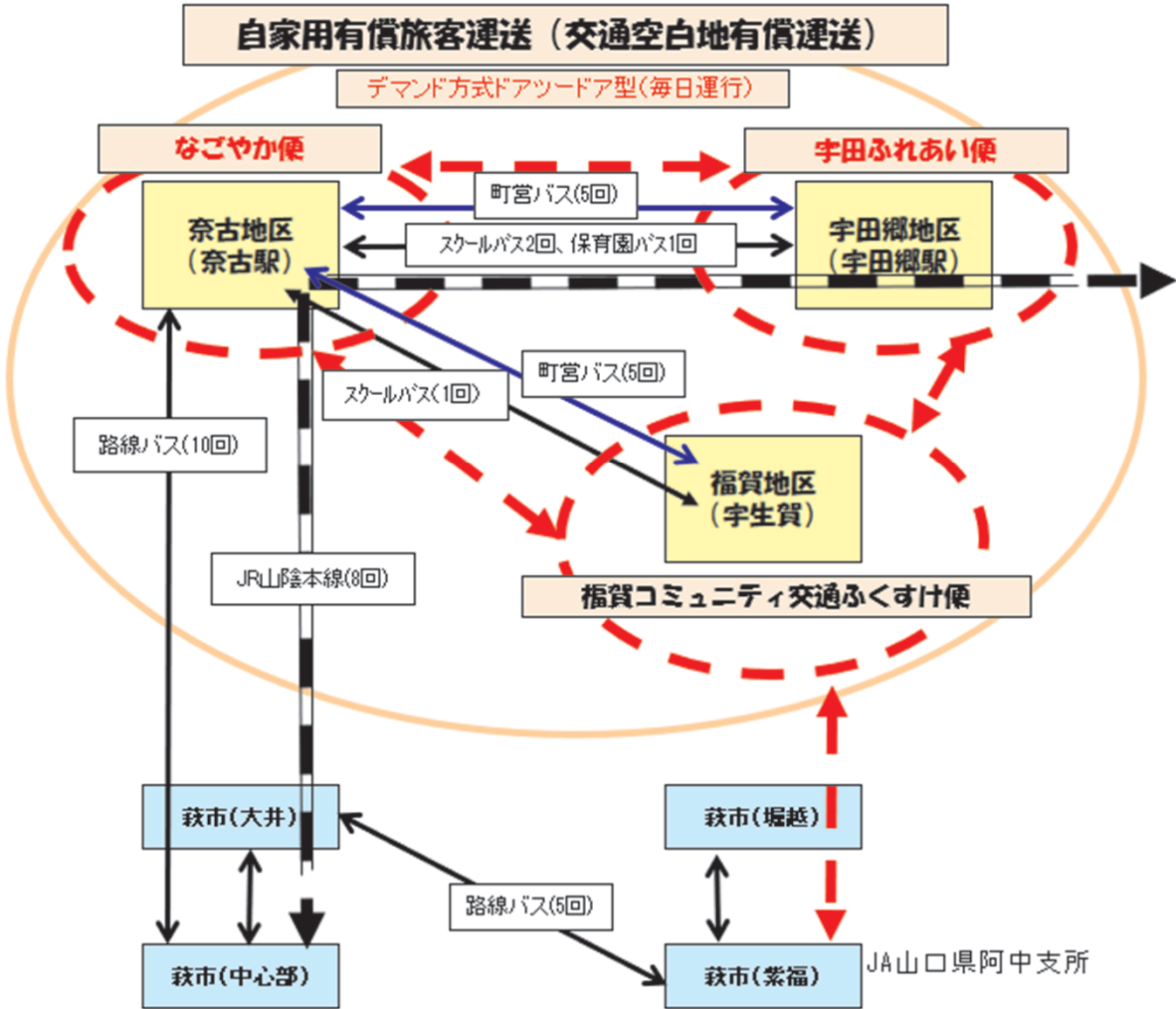
- (目標)
- ・道の駅阿武町～宇生賀系統:1月当たりの利用者数は118人で、目標150人以上を達成しなかった。
JRダイヤ改正で接続調整ができない便が発生したため利用を想定していた学生の通学利用が減少したことによる。
 - ・道の駅阿武町～福賀小前系統:1月当たりの利用者数は143人で、目標150人以上を達成しなかった。
JRダイヤ改正で接続調整ができない便が発生したため利用を想定していた学生の通学利用が減少したことによる。
- (効果)
- ・想定していた利用は少なかったが、朝夕の宇生賀系統の利用はあり、高齢者や学生、子ども達を中心とした日頃の移動手段を確保維持することができた。また、幹線バスに接続しているため広域的な移動も可能となっている。

事業の今後の改善点

- ・通勤、通学、通院などの朝夕の利用者ニーズを把握するとともに、ダイヤの見直しや公共交通の情報発信などの事業PRも行う。
- ・令和5年4月から全町で住民自らが行う共助の交通支援体制を構築したことから、地区間バスとの円滑な接続を図る。
- ・道の駅阿武町及び隣接するABUキャンプフィールドの町内外での利用を促進し、交通機関利用の目的地として利用増を目指す。

阿武町

阿武町における生活交通等概略図

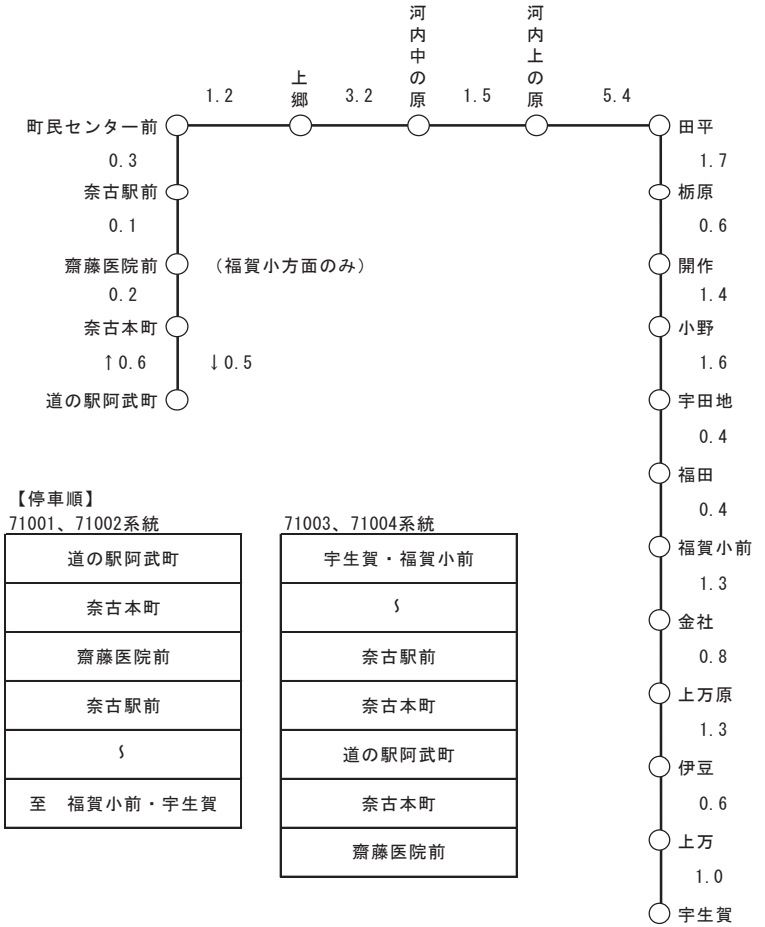


運行系統図 別紙

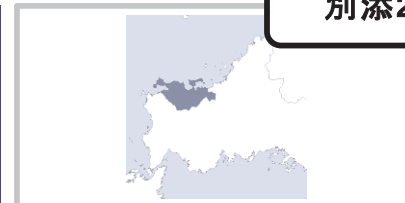
系統名 道の駅阿武町～宇生賀 及び 道の駅阿武町～福賀小前
運行形態 4条路線(乗合バス型(定期))
運行日・回数 毎日・5回
運賃 片道一律300円(同一地区内100円)、小学生以下及び障害者手帳所持者はこの半額、乳幼児は無料。

運行系統略図

系 統 番 号	運 行 系 統 名			系 統 キ 口	備 考
	起 点	経 由 地	終 点		
71001	道の駅阿武町	河内	宇生賀	23.6	
71003	宇生賀	河内・道の駅阿武町	齋藤医院前	24.3	
71002	道の駅阿武町	河内	福賀小前	18.6	
71004	福賀小前	河内・道の駅阿武町	齋藤医院前	19.3	



令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 長門市公共交通協議会 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



長門市の概要

- ・平成17年3月に1市3町が合併
- ・人口 32,519人(令和2年度国勢調査)
- ・面積 357.31km²

協議会の構成員

山口県 長門市 地域住民・利用者代表 学識経験者 サンデン交通(株) 防長交通(株) ブルーライン交通(株) JR西日本長門鉄道部 (一社)山口県タクシー協会 (公社)山口県バス協会 (一社)長門市観光コンベンション協会 山口運輸支局 長門警察署 山口河川国道事務所 全国交通運輸労働組合総連合 NPO法人むかつく NPO法人ゆうゆうグリーン俵山

概 要

- ・**地域の概要** 長門市の人口は32,519人(2020年度国勢調査)。高齢化率(65歳以上人口率)は約44.1%(2020年度国勢調査)であるが、2025年には45%に達し、生産年齢人口と拮抗する見込みであり、令和5年3月末現在で、油谷後畑、油谷角山、俵山、洪水・真木、青海島では既に50%を超えており、年々進行している状況である。
- ・**公共交通の現況(系統数)** ア. 鉄道(JR山陰本線、JR美祢線)、イ. 路線バス(32系統)、ウ. 新たな公共交通(地域内フィーダー) 9系統(NPO法人による公共交通空白地有償運送2系統と一般乗合旅客運送事業者による区域内運行5系統)
- ・**公共交通の問題点や課題** ア. 公共交通利用者層の減少、イ. 乗務員不足への対応、ウ. 交通資源の適正配分と運行経費の標準化、エ. 次世代モビリティサービスへの対応、オ. 公共交通の利用促進、
- ・**地域の目標** ア. 暮らしを支える公共交通、イ. 利用者にやさしい公共交通
- ・**その目標実現のための施策、方向性** ア. デマンド交通の推進(オンデマンド運行の推進)、イ. デマンド交通の二次交通・三次交通としての機能強化、ウ. デマンド交通運行管理者・乗務員研修体制の整備、エ. 路線バスの再編、オ. 鉄道の利用促進、カ. 貨客混載の推進、キ. わかりやすい公共交通情報の提供、ク. 待合環境整備

協議会の主な取り組み

- ・交通空白地域におけるフィーダー交通導入
- ・総合時刻表作成等、分かりやすい情報提供の検討。
- ・公共交通結節点における待合所などの環境整備・ 情報案内板整備の検討。

協議会における検討

協議会の開催状況

- ・令和5年度 第1回(6月27日)
- 第2回(12月19日)事業評価承認・R5事業計画進捗確認
- 第3回(2月予定)R5事業計画に基づく各事業実績報告

定量的な目標・効果

【目標】

- 俵山系統・・・1日当たり利用者数を9.7人以上、年間利用者数2,500人以上。
- 向津具系統・・・1日当たり利用者数7.0人以上、年間利用者数1,800人以上。
- 日置系統・・・1日当たり利用者数14.0人以上、年間利用者数3,600人以上。
- 渋木・真木系統・・・1日当たり利用者数を4.7人以上、年間利用者数1,200人以上。
- 油谷系統・・・1日当たり利用者数を3.9人以上、年間利用者数1,000人以上とする。
- 湯本系統・・・1日当たり利用者数を2.0人以上、年間利用者数500人以上。
- 青海島系統・・・1日当たり利用者数を5.8人以上、年間利用者数1,500人以上とする。
- 黄波戸西深川系統・・・1日当たり利用者数を4.1人以上、年間利用者数1,000人以上。
- 三隅系統・・・1日当たり利用者数を5.5人以上、年間利用者数1,400人以上とする。

【効果】

・交通不便地域の解消となり、医療・商業施設等への住民の移動手段を確保するとともに、住民の外出機会を増やし、福祉の向上に資することができる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

- ・事業者と利用促進について協議を行い、引き続き地区住民に利用の呼びかけを行った。また、検討案がまとまっていない事項については、継続協議をしているところである。
- ・周知活動を実施し、俵山・向津具・日置系統においては利用者の増加に繋げることができた。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

- ・「利用者の増加・目標の達成・持続可能な交通ネットワークの構築について」事業者による利用者ヒアリングの継続的に実施し、協議会においても持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、引き続き検討を行っていく。

実施した利用促進策

- ・JR、路線バス、乗合タクシーを網羅した時刻表を作成し市内全戸に配布を行った。
- ・市広報、ほっちゃTVでの周知、デマンド交通利用方法の動画を長門市HPへ掲載、デマンド交通運行事業者から各地区へチラシ・登録用紙の配布などを継続的に実施し、利用者の更なる増加を図った。

地域住民の意見の反映

- ・各系統利用者の意見等を事業者においてヒアリング。併せて地区住民に利用を呼びかけた。
- ・市内全域でデマンド出前講座を実施。
とりまとめた意見、地元の要望を踏まえ、長門市全域においてデマンド交通導入を基本とした持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、検討を行っていく。

事業実施の適切性

- 俵山系統、向津具系統、日置系統、渋木・真木系統、油谷系統、湯本系統、青海島系統
計画どおり実施されている。事業者による住民周知や住民説明会を施しており、概ね目標どおりの利用者数となった。
- 黄波戸西深川系統、三隅系統(新規導入)
新規デマンド運行開始した系統だが計画どおり実施されている。行政・事業者によるチラシ配布等地域内への周知を行い、三隅系統については、目標を上回る利用者数であったが、黄波戸・西深川系統については、目標を達成することができなかった。

目標・効果達成状況

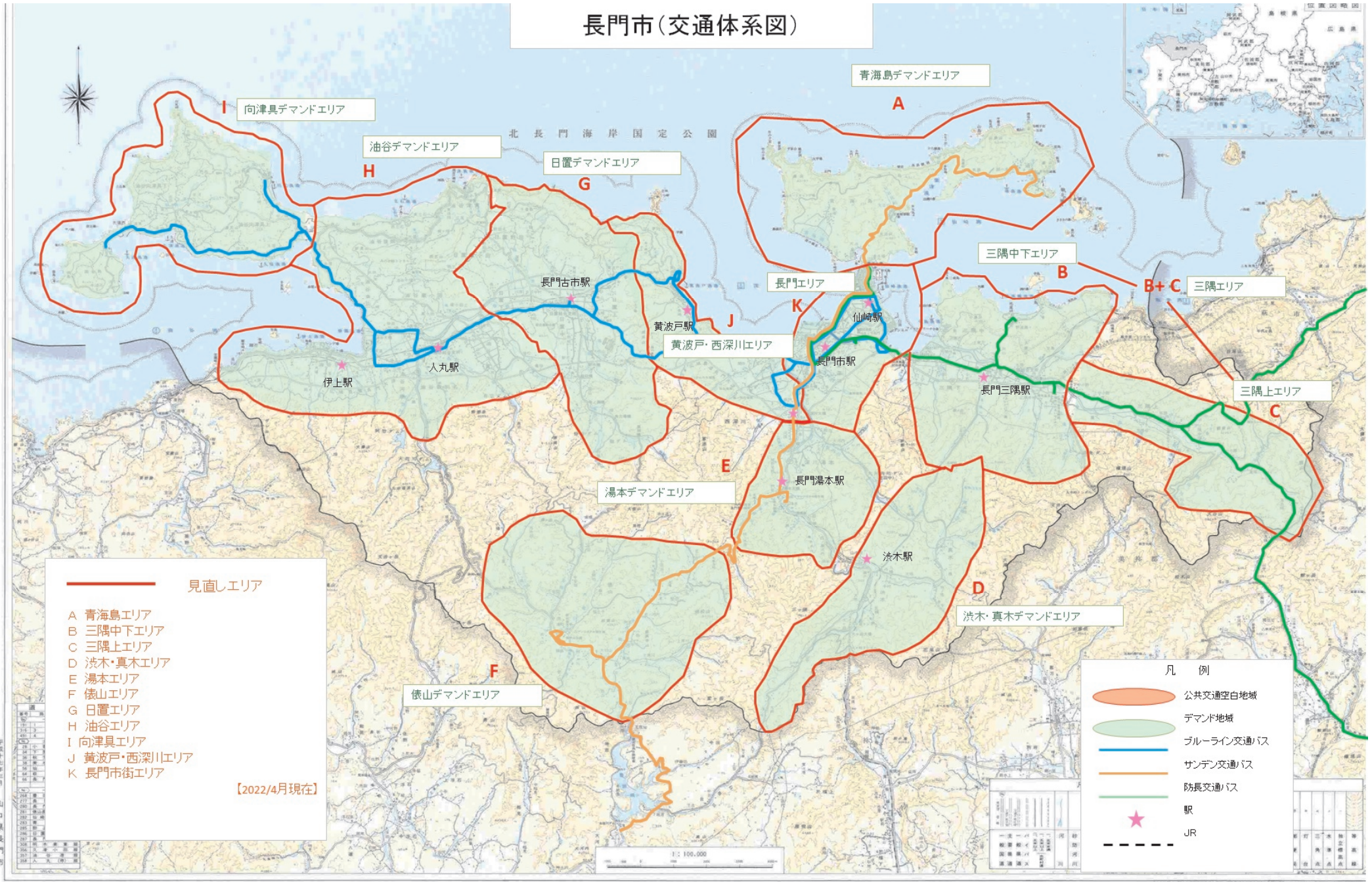
- 俵山系統: 運行日1日当たりの利用者数12.7人。年間利用者数3,261人(昨年度2,513人)。達成率:130.4%。
・事業者による住民周知の効果が徐々に現れ、通学生の利用を開始したことから大幅に増加している。
 - 向津具系統: 運行日1日当たりの利用者数7.0人。年間利用者数1,790人(昨年度1,899人)。達成率:99.4%。
・地域内完結型の利用が主となっている。(JA購買部への買い物、地域内医療施設への通院等)
 - 日置系統: 運行日1日当たりの利用者数16.1人。年間利用者数4,135人(昨年度3,616人)。達成率:114.8%。
・小学生の通学利用が主。その他の利用も便数を増加したことにより、利用者が増加している。
 - 渋木・真木系統: 運行日1日当たりの利用者数は4.2人で、年間利用者は1,082人。(昨年度1,228人)達成率は90.1%。
 - 油谷系統: 運行日1日当たりの利用者数は3.3人で、年間利用者は854人。(昨年度1,038人)達成率は85.4%。
 - 湯本系統: 運行日1日当たりの利用者数は3.2人で、年間利用者は818人。(昨年度494人)達成率は163.6%。
 - 青海島系統: 運行日1日当たりの利用者数は9.2人で、年間利用者は2,375人。(昨年度717人)達成率は158.3%。
・事業者による住民周知の効果が徐々に現れ、デマンド交通が浸透していったことから大幅に増加している。
 - 黄波戸西深川系統: 運行日1日当たりの利用者数は2.4人で、年間利用者は626人。達成率は62.6%。
 - 三隅系統: 運行日1日当たりの利用者数は6.2人で、年間利用者は1,608人。達成率は114.8%。
- (効果)地域の公共交通空白が削減され高齢者等の日常の移動手段を確保維持することができた。
また、幹線バス等に接続しているため広域的な移動も可能であるほか、通院、買物等外出機会が確保され、住民生活の利便性向上が図られている。

事業の今後の改善点

- 新たにデマンド交通を導入した系統において、目標を達成することができなかった。徐々に地域に浸透し、利用者は増加傾向にあるが、引き続き、運行事業者と連携をし、利用者が増加していくよう、周知徹底に努めていきたい。
- 公共交通の利用実態及び利用者ニーズを的確に捉え、利用者ニーズを常に反映させ、JR・バス・デマンド交通等も含めた地域の輸送資源を効率的に利用し、将来にわたり持続可能な地域公共交通ネットワークを構築していきたい。

交通体系図 別紙

長門市(交通体系図)



運行系統図 別紙

○系統名 俵山系統

○運行形態 公共交通空白地有償運送
(区域デマンド型)

○運行日・便数 月～金・6便／日(年末年始は運休)

○運賃

■俵山地区内(営業区域内)
300円、小学生以下100円

■俵山地区内(営業区域内)⇄ 長門市駅
700円、小学生以下200円

※バスの通学定期券を利用している学生は無料

※保護者同伴の未就学児は無料

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉
手帳の交付を受けている者及びこれらの者を介助する者
は半額とする。



■ 基本運行ルート、● 主な乗降場所

運行系統図 別紙

○系統名 向津具系統

○運行形態 公共交通空白地有償運送(区域デマンド型)

○運行日・便数 月～金・4便／日(年末年始は運休)

○運賃:大人300円、小学生以下100円

※保護者同伴の未就学児は無料

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者を介助する者は150円



運行系統図 別紙

○系統名 日置系統

○運行形態 一般乗合旅客自動車運送事業
(区域デマンド型)

○運行日・便数 月～金・7便／日(年末年始は運休)

○運賃
大人300円、小学生以下100円

※保護者同伴の未就学児は無料

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者を介助する者は150円



運行系統図 別紙

○系統名 油谷系統

○運行形態 一般乗合旅客自動車運送事業
(区域デマンド型)

○運行日・便数 月～金・6便／日(年末年始は運休)

○運賃
大人300円、小学生以下100円

※保護者同伴の未就学児は無料
※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉
手帳の交付を受けている者及びこれらの者を介助する者は
150円



運行系統図 別紙

○系統名 渋木・真木系統

○運行形態 一般乗合旅客自動車運送事業
(区域デマンド型)

○運行日・便数 月～金・5便／日(年末年始は運休)

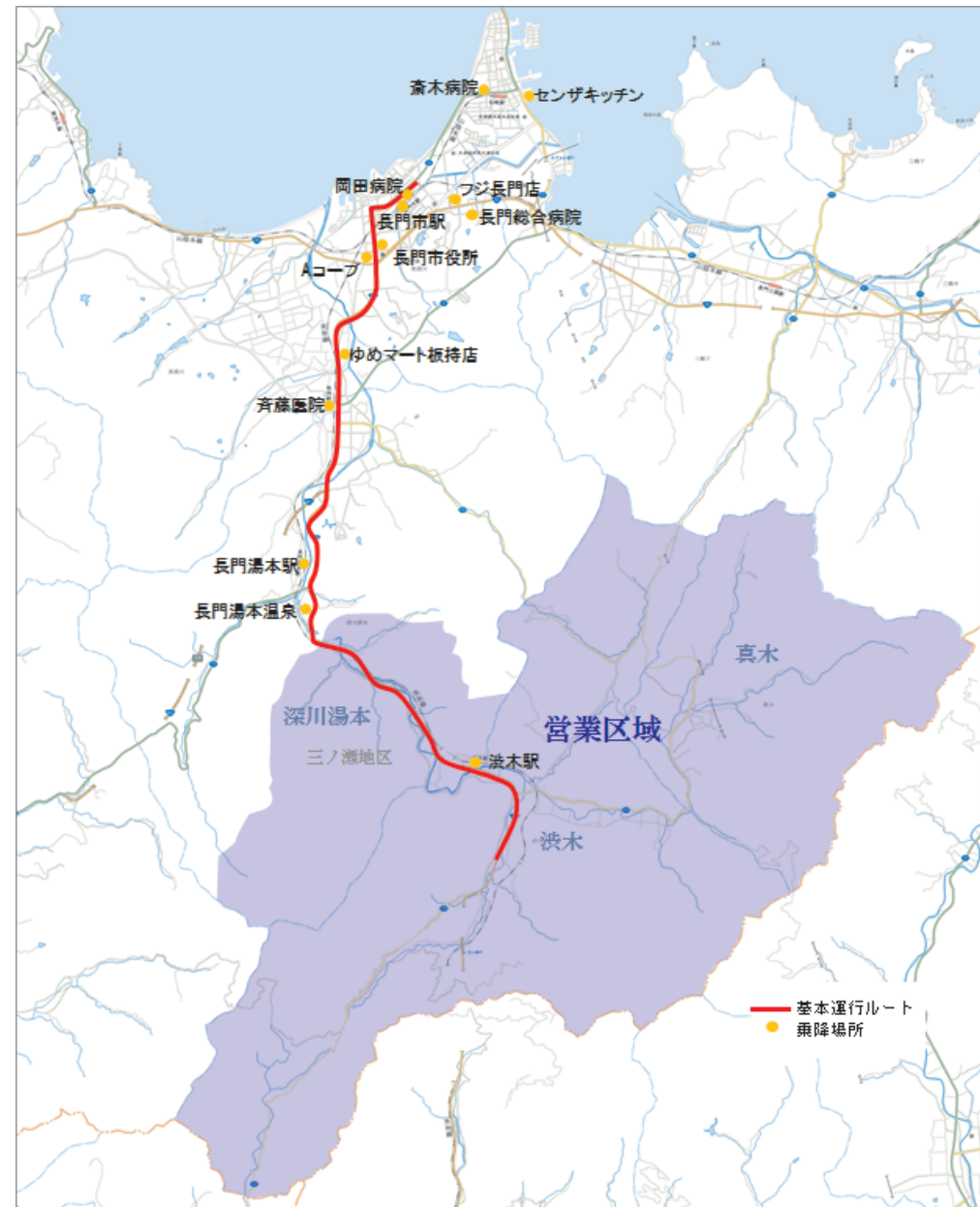
○運賃

■渋木・真木地区内(営業区域内)
300円、小学生以下100円

■渋木・真木地区内(営業区域内)⇄長門市中心市街地
500円、小学生以下150円

※保護者同伴の未就学児は無料

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉
手帳の交付を受けている者及びこれらの者を介助する者は
半額



運行系統図 別紙

○系統名 青海島系統

○運行形態 一般乗合旅客自動車運送事業
(区域デマンド型)

○運行日・便数 月～金・6便／日(年末年始は運休)

○運賃

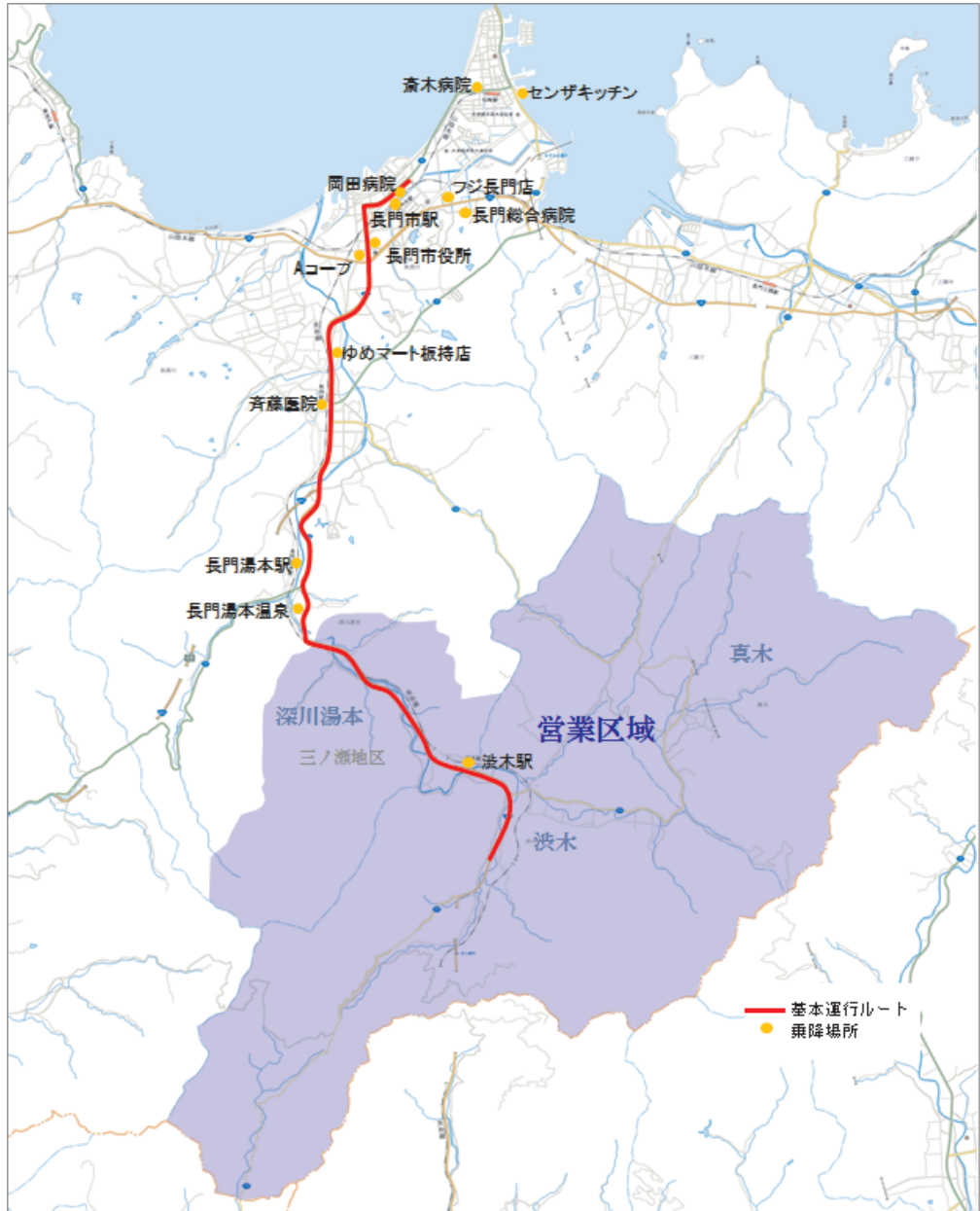
■青海島地区内(営業区域内)
300円、小学生以下100円

■青海島地区内(営業区域内)⇔長門市中心市街地
600円、小学生以下200円

※バスの通学定期券を利用している学生は無料

※保護者同伴の未就学児は無料

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者を介助する者は半額



運行系統図 別紙

○系統名 湯本系統

○運行形態 一般乗合旅客自動車運送事業
(区域デマンド型)

○運行日・便数 月～金・7便／日(年末年始は運休)

○運賃

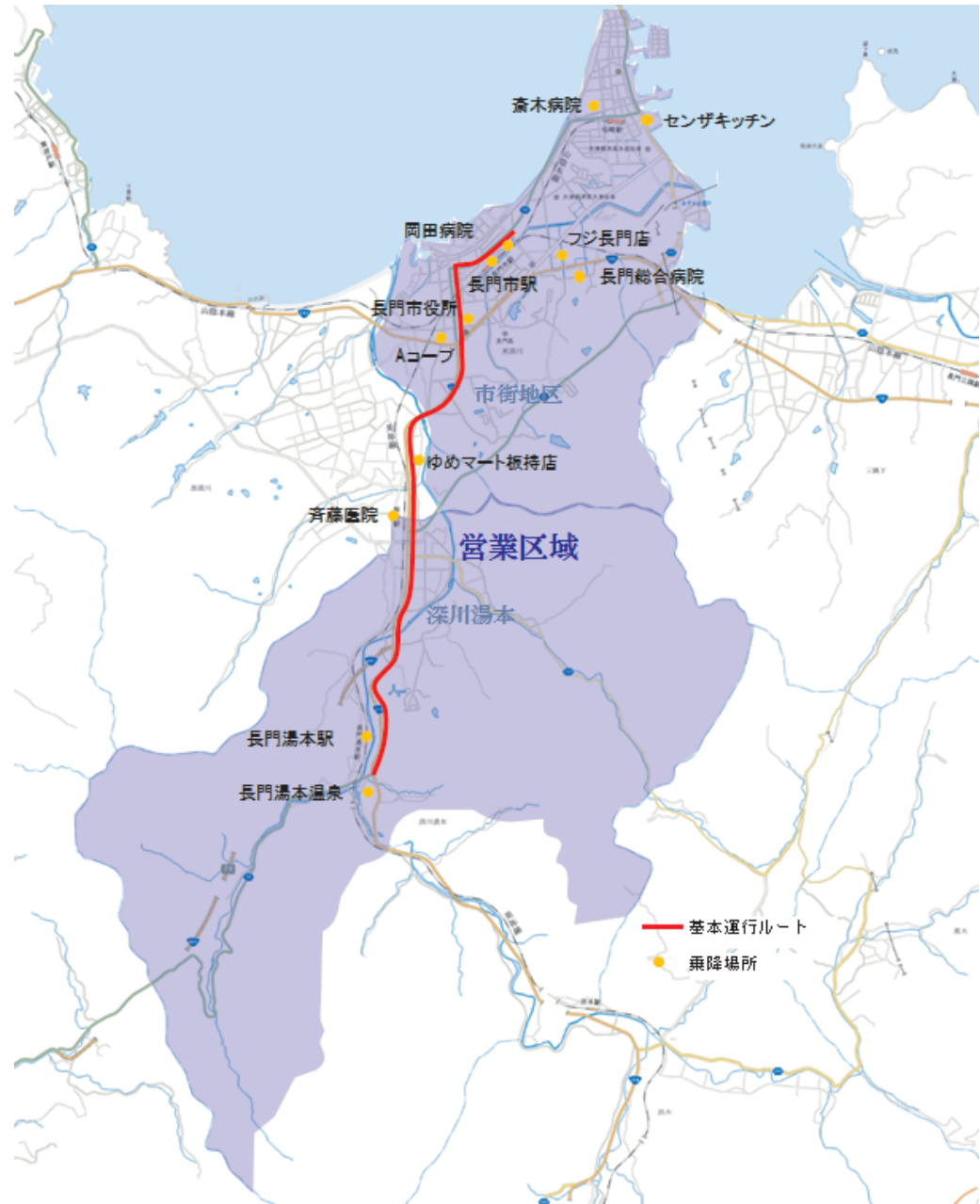
■湯本地区内(営業区域内)
300円、小学生以下100円

■湯本地区内(営業区域内)⇔長門市中心市街地
500円、小学生以下150円

※バスの通学定期券を利用している学生は無料

※保護者同伴の未就学児は無料

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者を介助する者は半額



運行系統図 別紙

○系統名 黄波戸西深川系統

○運行形態 一般乗合旅客自動車運送事業
(区域デマンド型)

○運行日・便数 月～金・5便／日(年末年始は運休)

○運賃

■黄波戸・西深川地区内(営業区域内)
300円、小学生以下100円

■黄波戸・西深川地区内(営業区域内)⇄長門市中心市街地
500円、小学生以下150円

※バスの通学定期券を利用している学生は無料

※保護者同伴の未就学児は無料

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉
手帳の交付を受けている者及びこれらの者を介助する者は
半額



運行系統図 別紙

○系統名 三隅系統 ○運行形態 一般乗合旅客自動車運送事業（区域デマンド型）

○運行日・便数 月～金・6便／日(年末年始は運休)

○運賃

■三隅地区内(営業区域内) 300円、小学生以下100円

■三隅地区内(営業区域内)⇔長門市中心市街地 600円、小学生以下150円

※バスの通学定期券を利用している学生は無料

※保護者同伴の未就学児は無料

※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者を介助する者は半額



令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

柳井市地域公共交通会議

生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



柳井市の概要

- ・平成17年2月に1市1町が合併
- ・人口 30,799人(令和2年国勢調査)
- ・世帯数 13,932世帯
- ・面積 140.05km²

交通会議の構成員

山口県 柳井市 防長交通(株) 防長交通(株)労働組合
柳井地区タクシー協会 JR西日本(株) 平郡航路(有)
学識経験者 地区社会福祉協議会 市民代表
山口運輸支局 山口河川国道事務所 柳井警察署

概 要

柳井市は山口県南東部に位置し、瀬戸内海に面した、面積140.05km²、人口30,799人(令和2年国勢調査)の地方都市である。中山間地域の人口減少・高齢化が顕著であり、民間路線バスが運行している地域があるものの、バス停から距離がある集落が点在しており、バス利用が不便な交通弱者が多く居住している。

民間バス路線は運転手の不足、高齢化の問題が生じており、バス路線の維持が厳しい状況にある。また、柳井市の通勤・通学・通院及び商業施設等は、市内中心部や、近隣市町に集中しているため、中山間地域の住民は日常生活の用を済ますために市内中心部まで行く必要がある。

このような背景において、誰もが安心して移動できる交通手段を確保するためには、フィーダー系統と地域間幹線系統の結節点であるJR柳井駅を中心とした交通網の形成を進めていく必要がある。

その一環として、日積地区、大畠地区、伊陸地区、阿月地区において予約制乗合タクシーが運行している。

交通会議の主な取り組み

- ・利用実態に合わせ路線バスのダイヤの改正
- ・予約制乗合タクシー事業を導入
- ・フィーダー系統の乗り入れ施設との調整

交通会議における検討

- | | |
|------------------------|------------|
| ・第1回地域公共交通会議(確保維持計画審議) | (R1.6.6) |
| ・運行事業評価審議 | (R1.12.20) |
| ・第1回地域公共交通会議(確保維持計画審議) | (R2.6.23) |
| ・運行事業評価審議 | (R3.1.8) |
| ・第1回地域公共交通会議(確保維持計画審議) | (R3.6.14) |
| ・運行事業評価審議 | (R4.1.7) |
| ・第1回地域公共交通会議(確保維持計画審議) | (R4.5.25) |
| ・運行事業評価審議 | (R5.1.10) |
| ・第1回地域公共交通会議(確保維持計画審議) | (R5.6.1) |
| ・運行事業評価審議 | (R5.12.27) |

定量的な目標・効果

・Ⅰ系統：日積・石井南部地区～柳井駅（月～土）

【目標】地域住民の利便性を向上させるため、ダイヤの設定などのサービス内容を確立する。また利用実績値の向上として、月150人以上の利用者となるよう、チラシの配布や口コミなどにより、利用促進を促す。

・Ⅱ系統：大畠地区～柳井駅（月～土）

【目標】地域住民の利便性を向上させるため、ダイヤの設定などのサービス内容を確立する。また利用実績値の向上として、月150人以上の利用者となるよう、チラシの配布や口コミなどにより、利用促進を促す。

・Ⅲ系統：伊陸・石井北部地区～柳井駅（月～土）

【目標】地域住民の利便性を向上させるため、ダイヤの設定などのサービス内容を確立する。また利用実績値の向上として、月120人以上の利用者となるよう、チラシの配布や口コミなどにより、利用促進を促す。

・Ⅳ系統：阿月地区～柳井駅（月～土）

【目標】地域住民の利便性を向上させるため、ダイヤの設定などのサービス内容を確立する。また利用実績値の向上として、月75人以上の利用者となるよう、チラシの配布や口コミなどにより、利用促進を促す。

【効果】乗合タクシーを維持し、高齢者を含む交通弱者の外出を促進することで、健康の管理面に寄与すると考えられることや住民の交流促進に伴い地域再生や活性化に繋がる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

4系統とも目標を達成し、引き続き利用促進に取り組んだ。

実施した利用促進策

・柳井市のホームページや窓口、公民館だより等で利用促進の案内を実施し、地域住民に事業の周知を図った。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

「目標を達成することが出来た要因についても分析の上、引き続き住民組織と議論を重ねてニーズを把握し持続可能な公共交通となるよう期待する。」とされた二次評価について、各地区とも利用状況の分析と議論を重ねニーズの把握に努めた。

今後も持続可能な公共交通網の構築に向け、利用促進に取り組むこととする。

地域住民の意見の反映

利用に関するアンケートを行い運行内容の検討を行った結果、令和6年度の事業について計画の修正を行い、乗降場所の追加及び運行ダイヤの見直しをする予定。今後もニーズの把握に努め、利用促進に努める。

事業実施の適切性

- 【Ⅰ系統：日積地区】 計画どおり実施された。利用者数は目標に達した。
- 【Ⅱ系統：大畠地区】 計画どおり実施された。利用者数は目標に達した。
- 【Ⅲ系統：伊陸地区】 計画どおり実施された。利用者数は目標に達した。
- 【Ⅳ系統：阿月地区】 計画どおり実施された。利用者数は目標に達した。

目標・効果達成状況

- ・Ⅰ系統 日積地区：：【目標】月平均利用者数150人以上
【実績】月平均利用者数231人
- ・Ⅱ系統 大畠地区：：【目標】月平均利用者数150人以上
【実績】月平均利用者数165人
- ・Ⅲ系統 伊陸地区：：【目標】月平均利用者数120人以上
【実績】月平均利用者数159人
- ・Ⅳ系統 阿月地区：：【目標】月平均利用者数75人以上
【実績】月平均利用者数154人

【効果】常連の利用者もいて、高齢者の日常の移動手段としての役割を一定程度果たしている。

事業の今後の改善点

- ・利用者数、運行数が少ないダイヤについては、ニーズの把握に努め目標達成を目指す。
- ・利用方法について、HPやチラシの配布等を行い周知に努める。

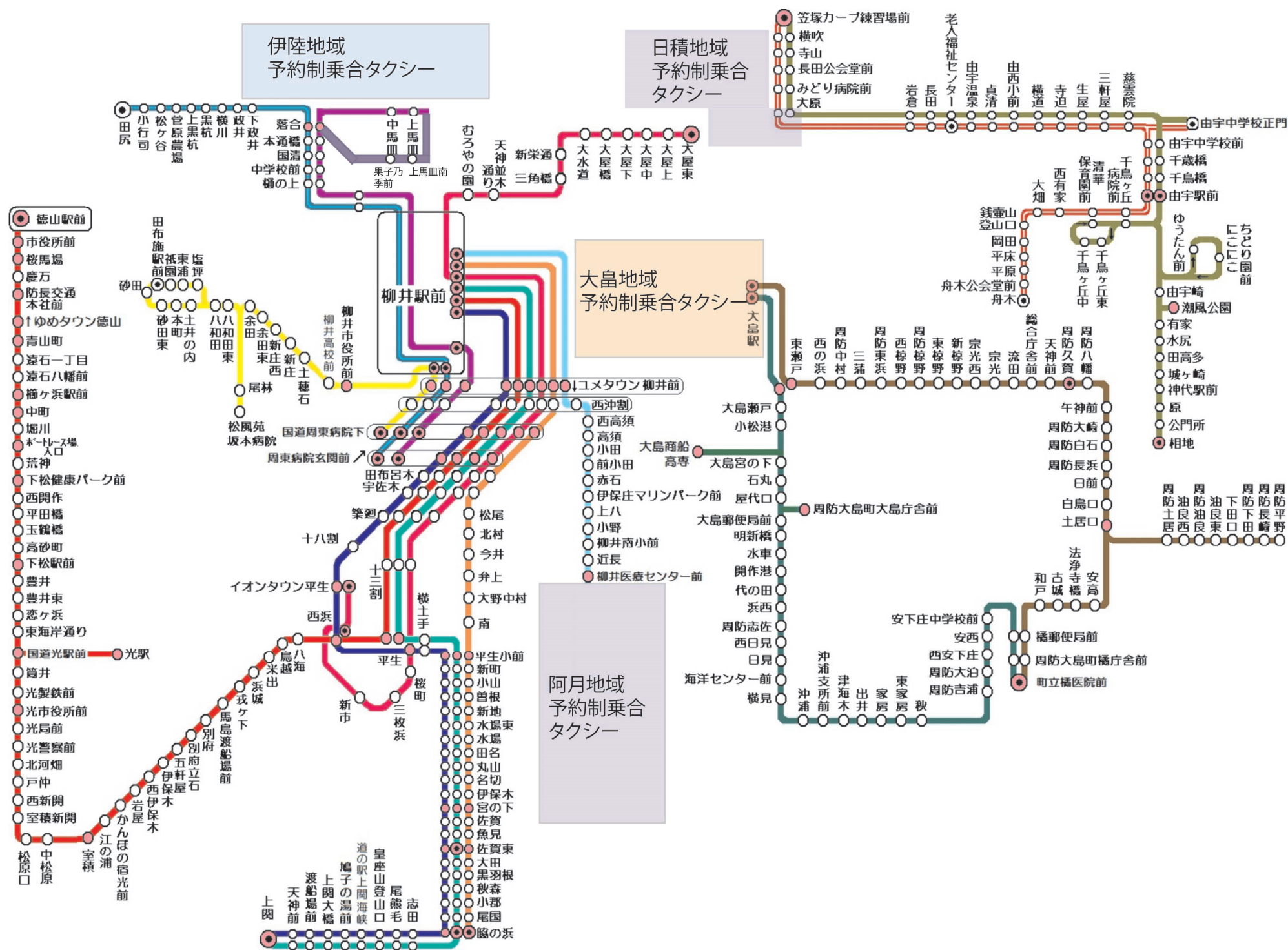
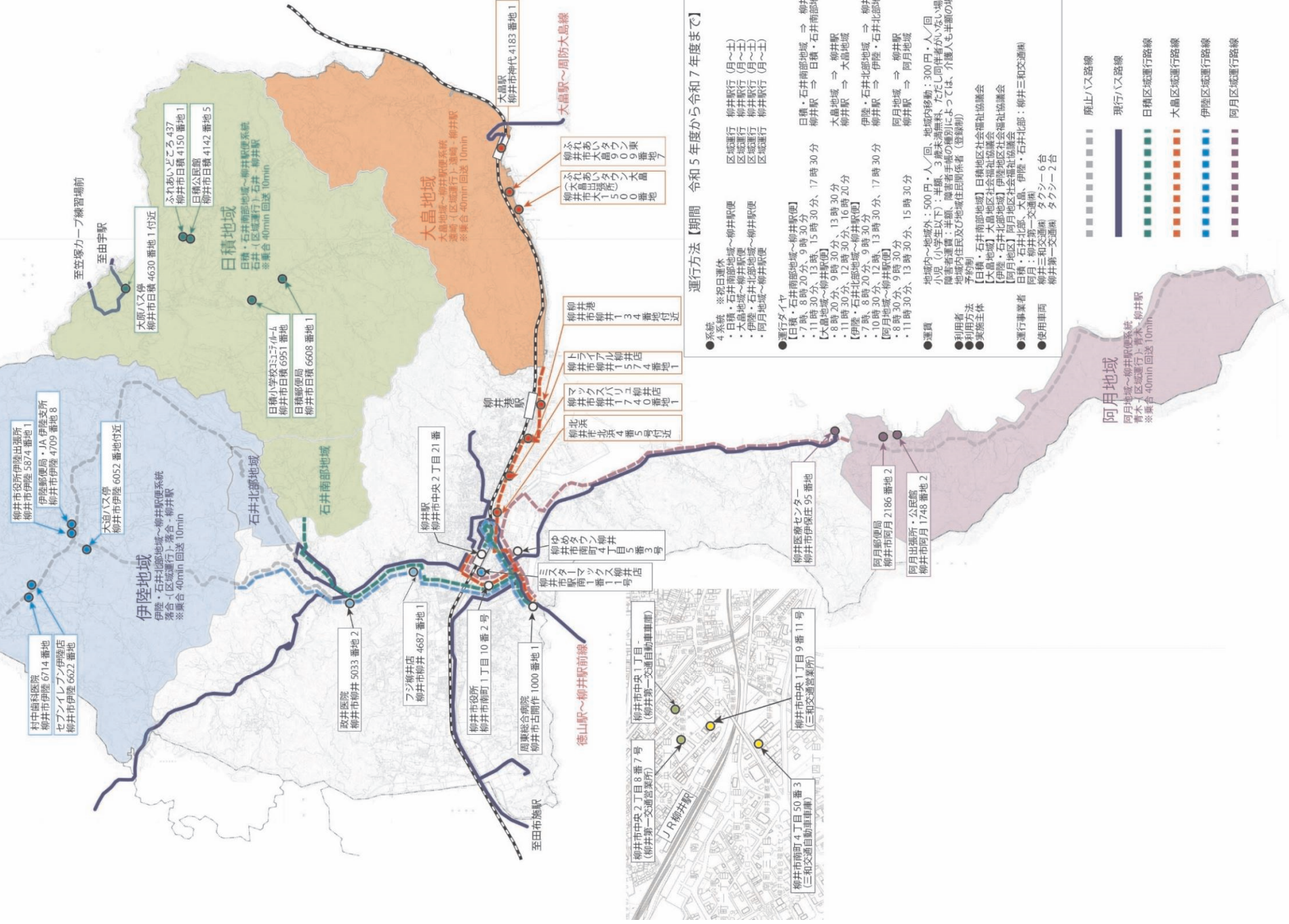
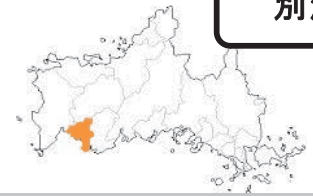


圖
統
系

運行系統図 別紙



令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 山陽小野田市地域公共交通会議 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



山陽小野田市の概要

- ・平成17年3月に1市1町が合併
- ・人口 60,326人(令和2年国勢調査)
- ・面積 133.09km²

地域公共交通会議の構成員

山陽小野田市 山口県 船木鉄道(株) サンデン交通(株) 宇部市交通局 西日本旅客鉄道(株) 小野田第一交通(株) 山陽小野田タクシー協会 山口運輸支局 宇部国道維持出張所 宇部土木建築事務所 山陽小野田警察署 市民 学識経験者

概 要

本市では、鉄道や路線バス、コミュニティバス等が運行され、地域住民の日常生活における移動手段の確保を行っているが、高齢化の進展や合併に伴う生活圏域の広域化等により市民の移動ニーズは多様化しており、こうしたニーズに対応した効率的、効果的な公共交通サービスの構築が必要となっている。

厚狭北部地域においては、マイカーの普及や人口減等に伴う利用者の減少を受けて民間事業者による路線バスが運行廃止となり、現在、市が計画主体となって「厚狭北部便」を運行しているが、利用者は減少傾向にある。一方で、高齢化等によりマイカーを利用できず、日常生活における移動に支障をきたす高齢者は増加しており、地域に適した効果的・効率的な移動サービスの提供が課題となっている。こうした中、平成27年1月から、当該地域においてデマンド型交通の運行を開始し、市民の移動手段確保に努めている。

協議会の主な取り組み

地域の需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送を確保し、その他旅客の利便の向上を図るため、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。

- ・利用者ニーズに合わせた路線バス等の再編
- ・路線バス再編後のフィーダー交通などの導入
- ・公共交通利用促進に向けた取組 など

協議会における検討

○協議会の開催状況

- ・第30回会議(令和5年3月27日)
山陽小野田市地域公共交通計画について
山陽小野田市地域公共交通計画の具体化について 等
- ・第31回会議(令和5年6月2日)
地域内フィーダー系統確保維持計画について
地域公共交通計画関係事業の進捗について 等
- ・第32回会議(令和5年8月29日)
厚狭北部地域におけるデマンド型交通の運行について 等
- ・第33回(令和6年1月12日)
地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)に係る事業評価について 等

山陽小野田市地域公共交通会議 事業の評価

定量的な目標・効果

運行系統 ①厚狭北部1(松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線)、②厚狭北部2(湯の峠・陽光台・山川線)

(目標) ・1日当たり利用者数 20人以上

※コロナ禍での外出自粛など、現状の利用実態を踏まえて設定した。

- (効果) ・高齢者や児童など、マイカーを自由に利用できない住民の日常生活(通院や買物等)における移動手段が確保できる。
- ・結節点をJR厚狭駅とすることで、鉄道や広域路線バス、地域間幹線系統バスとの接続により、市街地などへの広域的な移動手段が確保できる。
 - ・地域住民(特に高齢者)の外出機会の増加につながり、住民の健康福祉の増進、地域の活性化に寄与することができる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

- ・コロナ以外の原因も分析し、住民の意識啓発を図る観点から、利用登録者を対象としたアンケート調査を実施した。
- ・自治会からの要望を踏まえ、新たに東下津地区を追加した。
- ・令和5年の契約見直しに向けて、サービス内容のどういった見直しが可能か事業所と協議を行った。

実施した利用促進策

- ・利用登録者に対するアンケート調査により運用サービスの改善を検討した。
- ・事業者と連携して利用者に対して事業周知を行ったほか、広報紙による普及啓発を行った。
- ・運行上の課題や利用者ニーズの把握を目的として、月1回程度運行事業者と意見交換を実施した。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

【二次評価への対応】

- ・目標とする利用者数は達成できていないため、コロナの影響以外の要因を分析の上、引き続き住民組織と議論を重ね、住民に利用してもらえる持続可能な公共交通となるよう期待する。
 - ・事業の改善は系統毎で取組内容を考える必要があると思われるため、利用者数などの目標は系統毎に設定することを検討して頂きたい。
- (二次評価)
- コロナ以外の原因も分析するとともに、住民の意識啓発を図る観点から、利用登録者を対象としたアンケート調査を実施した。今後、広報等を充実させ、住民の認知度を高め、一層の利用促進につなげることにしている。また自治会からの要望を踏まえ、新たに東下津地区を追加した。令和6年度事業から、これまで2系統でまとめて設定していた目標値を改め、両系統個別に設定することとした。

地域住民の意見の反映

- ・平成28年12月～平成29年1月 運行事業者を通じて利用者からの聞き取り調査を実施し、翌年度からの運行内容に反映させた。
- ・平成30年7月 デマンド運行エリア付近の公共交通不便地域自治会を対象に、アンケート及び聞き取り調査を実施し、運行エリアの拡大を図った。
- ・令和元年11月～令和2年1月に 運行事業者を通じて利用者からの聞き取り調査を実施し、翌年度からの運行便数増便を図った。
- ・令和3年2月～3月 利用者へのアンケート調査を実施し、満足度やダイヤ改正に関する要望調査を実施した。
- ・令和3年10月 山口大学において、現行のデマンド交通の利用状況や、災害時避難への活用可能性に係るアンケート調査を実施した。
- ・令和5年2月 利用登録者を対象に運用改善に向けたアンケート調査を実施した。
- ・令和5年10月 地元自治会の要望を踏まえ、新たに東下津自治会を追加した。

事業実施の適切性

- ・計画どおり実施されている。平成27年1月の運行開始から、利用者数、稼働率ともに順調に推移しており、地域内の日常生活を支える交通手段としての役割を十分に果たしている。また、平成31年1月から運行エリアを拡大、令和元年10月にはダイヤ改正及び増便、令和5年10月には、自治会からの要望を踏まえ新たに東下津自治会を追加するなど、更なる利用促進に努めている。
- ・令和5年6月の大雨災害によりJR美祢線が被災し、以来運休が続いており、高齢化が進展し、免許返納者が累増していく中で、当該地域におけるデマンド型交通の必要性はますます高まっている。

目標・効果達成状況

(目標)

- ・厚狭北部地域の2つの系統を合わせ、1日当たり20人の利用数を目標値として設定した。

(達成状況)

- ・令和4年10月から令和5年9月末までの1日当たりの利用者数は16.9人であった。コロナ禍による外出自粛の影響が長期化し、利用頻度の高い高齢者が死亡や施設入所したこと等により、目標値を下回ったが、事業者と連携した周知により、昨年度(17.1人/日)とほぼ横ばいの結果となった。

(効果)

- ・高齢者等、マイカーを自由に利用できない住民の日常生活(通院、買い物等)における移動手段として活用されている。

事業の今後の改善点

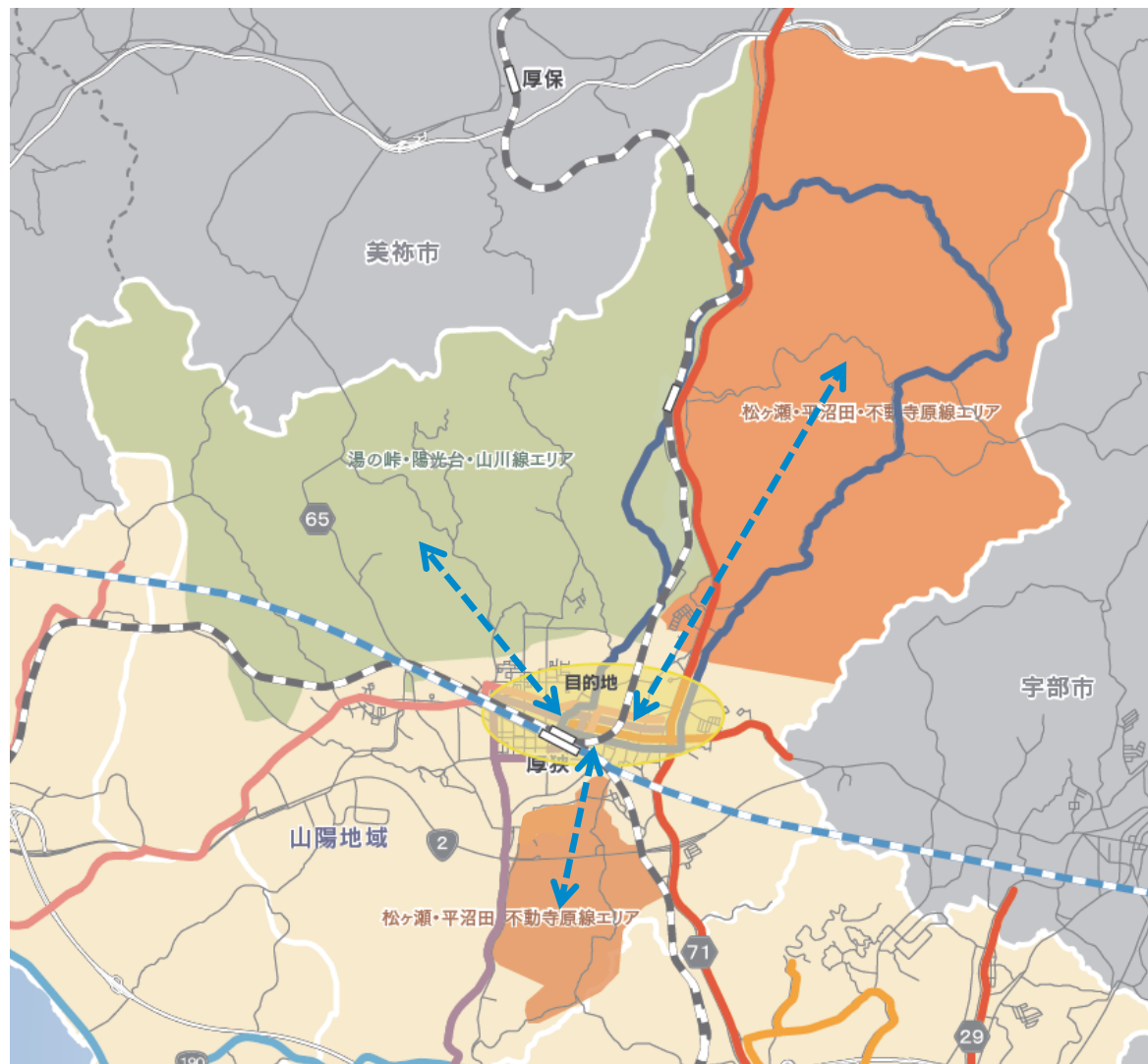
- ・稼働率は54.4%となっており、地域住民の交通手段として機能していると考え。高齢化の進展や免許返納者の累増、JR美祢線の被災による運休を考慮すると、当該地域における公共交通に対するニーズは根強いが、デマンド型交通の認知度の低さから利用向上に至っていないものと推測される、そこで、これまでに引き続き、自治会を活用したきめ細かい広報や事業者と連携したPR、アンケート調査による利便性の向上等を通じ、利用者の拡大を図る。

交通体系図 別紙

別添のとおり

運行系統図 別紙

系統名	①松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線 ②湯の峠・陽光台・山川線
運行形態	市町村運営有償運送
運行日・便数	月・水・金曜日(祝日・年末年始を除く)
運賃	1乗車 300円(小学生以下は150円 1歳未満の乳児:無料)



殿様号 山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー 松ヶ瀬・平沼田・不動寺原線

運行日

月・水・金

祝日と年末年始(12/29~1/3)
は運休します。

運賃

一乗車 **300円**

- 1歳～小学生は150円、乳児は無料。
 - 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者福祉手帳の交付を受けている者、及びこれらの者を介助する者は150円。
- ※ご本人様のみでの乗り降りが困難な方は、必ず付添の方と同乗してください。

お得な回数券もどうぞ！

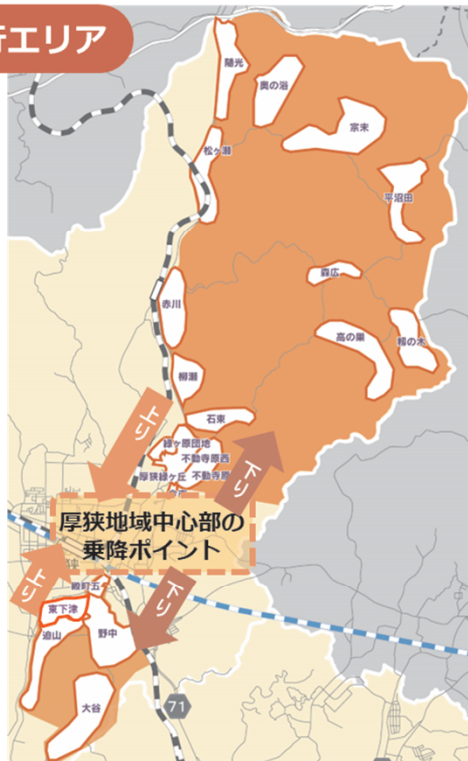


300円券
11枚つづり
3,000円

150円券
11枚つづり
1,500円

車内で販売します。

運行エリア



対象地域内のご自宅と厚狭中心部の乗降ポイント(右図の24ヶ所)の間を運行します。これ以外の場所では乗降できません。

厚狭地域中心部の乗降ポイント

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 厚狭駅 在来線口 | 15 河野内科 |
| 2 厚狭駅 新幹線口 | 16 河村医院 |
| 3 厚狭地区複合施設 | 17 久保整形外科医院 |
| 4 不二輸送機ホール(※) | 18 紫苑リハビリ内科クリニック |
| 6 JA山口県厚狭支所 | 19 しもかど歯科 |
| 7 ウエスタまるき厚狭店 | 20 田中としろう眼科 |
| 8 マックスバリュ厚狭店 | 21 たみたに内科・循環器科 |
| 9 マルキュー厚狭店 | 22 てらい内科クリニック |
| 10 厚狭郵便局 | 23 耳鼻咽喉科伯野医院 |
| 11 あさ歯科クリニック | 24 はせがわ耳鼻科クリニック |
| 12 厚狭セントヒル泌尿器科 | 25 吉武医院 |
| 13 あさひクリニック | 26 吉武内科クリニック |

乗降場所標識



このマークが目印です！

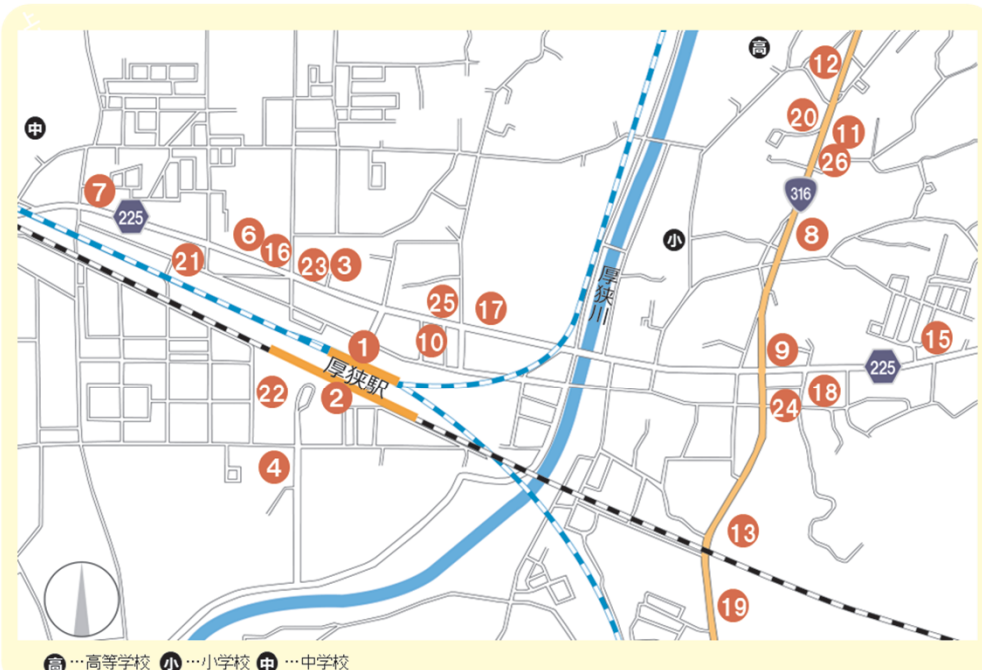
各施設の出入口周辺を乗降場所としています。

※ = 山陽小野田市文化会館

時刻表

時刻は目安です。予約状況などにより変わることがあります。
お一人も予約がない場合は、運行しません。

上り					下り			
1便	2便	3便	4便	便名	1便	2便	3便	4便
8:00 締切7:30	9:00 締切8:30	11:30 締切11:00	13:30 締切13:00	柳瀬	↑	↑	↑	↑
↓	↓	↓	↓	随光				
				靱の木				
				今市				
				厚狭地域 中心部	10:30 締切10:00	12:30 締切12:00	14:30 締切14:00	15:30 締切15:00



高…高等学校 小…小学校 中…中学校

姫様号 山陽小野田市デマンド(予約)型乗合タクシー 湯の峠・陽光台・山川線

運行日

月・水・金
祝日と年末年始(12/29~1/3)
は運休します。

運賃

一乗車 300円

- 1歳~小学生は150円、乳児は無料。
 - 身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者福祉手帳の交付を受けている者、及びこれらの者を介助する者は150円。
- ※ご本人様のみでの乗り降りが困難な方は、必ず付添の方と同乗してください。

お得な回数券もどうぞ!



300円券
11枚つづり
3,000円

150円券
11枚つづり
1,500円

車内で販売します。

時刻表

時刻は目安です。予約状況などにより変わることがあります。
お一人も予約がない場合は、運行しません。

上り				便名	下り			
1便	2便	3便	4便		1便	2便	3便	4便
8:00 締切7:30	9:00 締切8:30	11:30 締切11:00	13:30 締切13:00	湯の峠	↑	↑	↑	↑
				鴨庄上				
				鋳物師屋				
				山川				
				厚狭地域 中心部	10:30 締切10:00	12:30 締切12:00	14:30 締切14:00	15:30 締切15:00

運行エリア



対象地域内のご自宅と厚狭中心部の乗降ポイント(右図の26ヶ所)の間を運行します。これ以外の場所では乗降できません。

厚狭地域中心部の乗降ポイント

- 1 厚狭駅 在来線口
- 2 厚狭駅 新幹線口
- 3 厚狭地区複合施設
- 4 不二輸送機ホール(※)
- 5 山陽勤労青少年ホーム
- 6 JA山口宇部厚狭支店
- 7 ウエスタまるき厚狭店
- 8 マックスバリュ厚狭店
- 9 丸久厚狭店
- 10 厚狭郵便局
- 11 あさ歯科クリニック
- 12 厚狭セントヒル泌尿器科
- 13 あさひクリニック
- 14 いたうクリニック
- 15 河野内科
- 16 河村医院
- 17 久保整形外科医院
- 18 紫苑リハビリ内科クリニック
- 19 しもかど歯科
- 20 田中としろう眼科
- 21 たみたに内科・循環器科
- 22 てらい内科クリニック
- 23 耳鼻咽喉科伯野医院
- 24 はせがわ耳鼻科クリニック
- 25 吉武医院
- 26 吉武内科クリニック

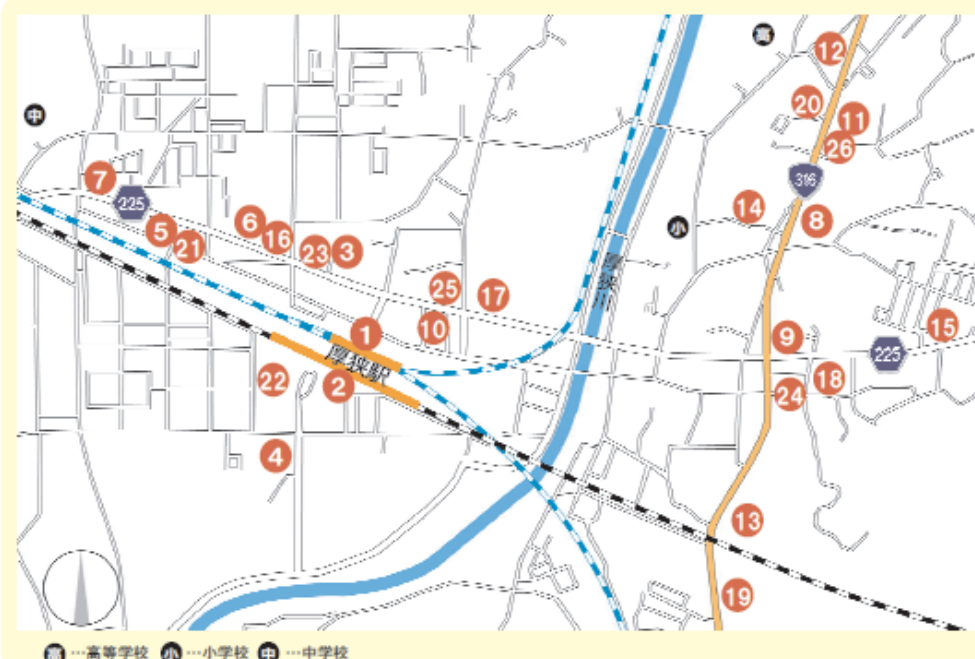
乗降場所標識



このマークが目印です!

各施設の出入口周辺を乗降場所としています。

※ = 山陽小野田市文化会館



高...高等学校 小...小学校 中...中学校

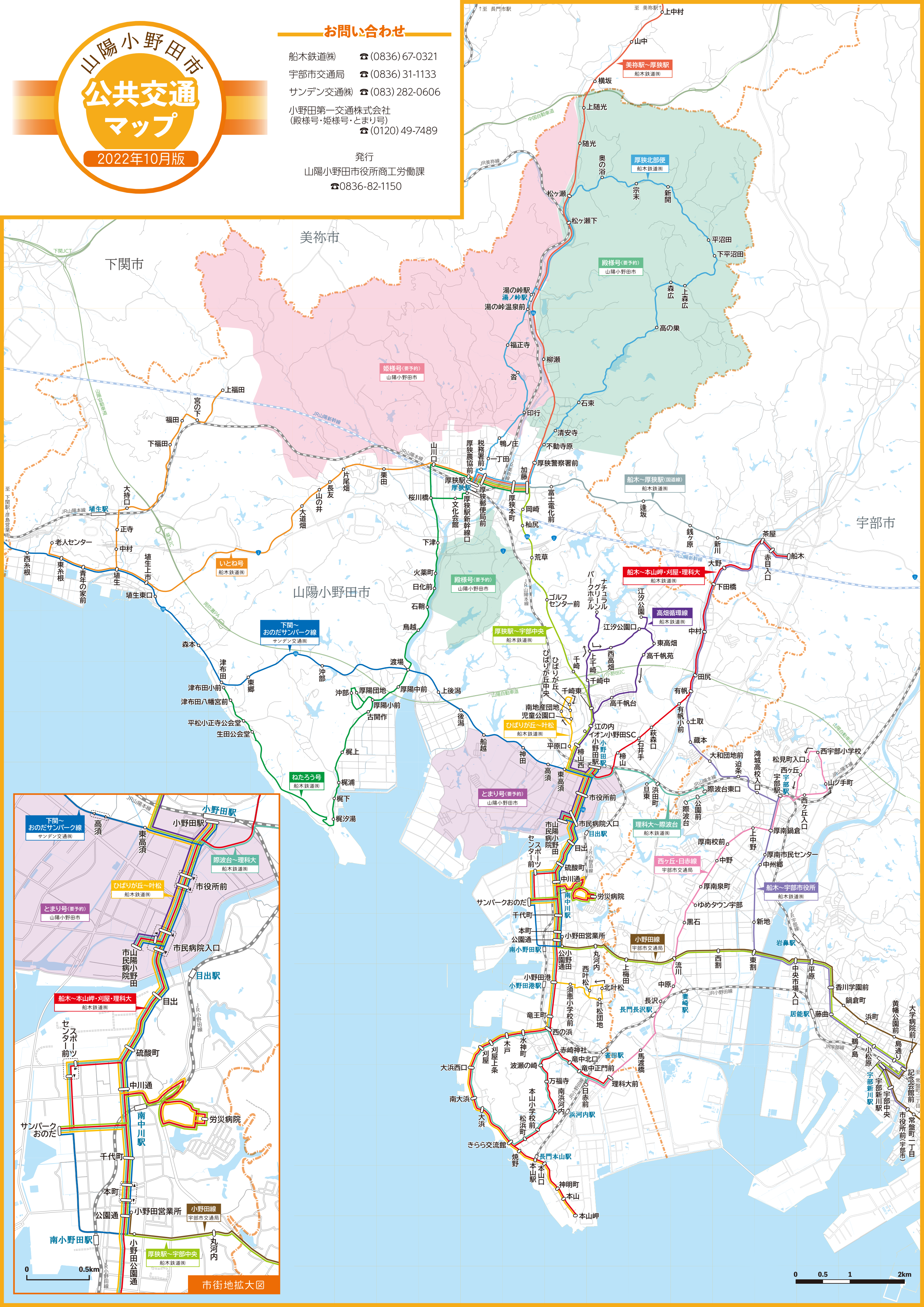
山陽小野田市 公共交通 マップ

2022年10月版

お問い合わせ

船木鉄道㈱ ☎(0836) 67-0321
宇部市交通局 ☎(0836) 31-1133
サンデン交通㈱ ☎(083) 282-0606
小野田第一交通株式会社
(殿様号・姫様号・とまり号)
☎(0120) 49-7489

発行
山陽小野田市役所商工労働課
☎0836-82-1150



令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 田布施町地域公共交通協議会 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



田布施町の概要

- ・昭和30年1月に1町3村が合併
- ・人口 14,452人(令和5年4月1日時点の住民基本台帳に基づく人口)
- ・面積 50.42km²

協議会の構成員

田布施町 防長交通(株) 柳井地区タクシー協会 原田タクシー(有) 町社会福祉協議会 町民生児童委員協議会 各地区公民館 山口運輸支局 防長交通(株)労働組合 山口河川国道事務所 柳井土木建築事務所 柳井警察署 徳山工業高等専門学校 JR西日本(株) 山口県 町関係課 熊南総合事務組合

概 要

路線バスは、町内の一部地域しか走っておらず、便数が少ない路線もある。また、町中心部に向けた路線や町内を南北に縦断する路線はない。路線バスの利用者は、通学者以外は高齢者が中心と思われるが、家からバス停までの距離が遠く高低差のある地域では利用が難しく、町内外の医療機関への通院や買い物などに利用しにくい。こうしたことから、田布施町地域内フィーダー系統確保維持計画に基づく地域公共交通確保維持改善事業を実施する。この事業は、交通弱者である高齢者に対して、買い物等による日常生活の維持だけでなく、閉じこもりがちな高齢者への健康増進など、総合的な福祉サービスの向上にもつながる可能性を備えている。また、田布施駅や路線バスへの乗り継ぎが可能で、町外への広域的な移動手段となるため、総合病院や商業施設への利便性が向上すると考えられる。

協議会の主な取り組み

- ・交通空白地域におけるフィーダー交通の導入
- ・フィーダー交通の乗り入れ施設との調整
- ・地域公共交通計画に関すること など

協議会における検討

(※最新の実施から順に記載)

- ・運行事業評価審議(R05.12.22)
- ・田布施町地域公共交通協議会(R05.6.22)
- ・運行事業評価審議(R05.1.10)
有償運送運営協議会から地域公共交通協議会へ変更(R05.1.10)
- ・田布施町有償運送運営協議会(文書審議R04.6.28)
- ・運行事業評価審議(R04.1.6)
- ・田布施町有償運送運営協議会(文書協議R03.6.25)
- ・運行事業評価審議(R03.1.6)
- ・田布施町有償運送運営協議会(文書協議、R02.7.3)
- ・運行事業評価審議(R02.1.8)
- ・田布施町有償運送運営協議会(文書協議、R01.6.12)
- ・運行事業評価審議(H31.1.9)

以下省略

定量的な目標・効果

城南・西・東田布施系統 麻郷・麻里府系統

(目標)

月15日以上稼働し、月55人以上の利用者を確保する。また、町と社会福祉協議会で周知活動に取り組むとともに、関係団体にも利用促進を促す。

(効果)

- ・当該路線を維持することにより公共交通空白地域を解消し、高齢者等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。
- ・自宅に閉じこもりがちな高齢者の外出機会の増加により、健康増進に寄与するとともに、住民同士の交流による地域の活性化が図られる。
- ・路線バスと連携することにより、町内外の移動や沿線市町との広域的な移動利便性が向上する。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

登録者・利用者の増加を目的に周知活動等を行うため、公民館等関係各所に説明にまわった。

実施した利用促進策

- ・民生委員協議会での周知
- ・民協だより「ふれあい」への情報掲載
- ・各公民館等などの関係各所への周知

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

上記の「実施した利用促進策」に記載のとおり、福祉関係会議での周知、広報の活用等有償運送をPRした。

地域住民の意見の反映

一部の利用者に対し聞き取り調査を実施した。内容について精査し、今後検討していく予定。

事業実施の適切性

・城南・西・東田布施系統、麻郷・麻里府系統
計画どおり実施された。

目標・効果達成状況

・城南・西・東田布施系統、麻郷・麻里府系統

(目標)稼働日数 月15日以上、利用者 月55人以上

(実績)稼働日数 16日(両系統合計) 前年度13日

月平均実績利用者数 60人(両系統合計) 前年度45人

JR田布施駅やバス停への乗継ぎ者数 月平均6人(両系統合計) 前年度月平均4人

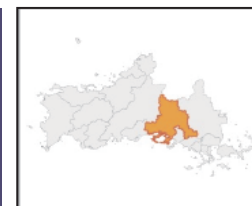
(効果)買い物送迎バスサービスの実施により、地域の公共交通空白は解消していると同時に、高齢者の日常の移動手段も確保維持できている。

事業の今後の改善点

・城南・西・東田布施系統、麻郷・麻里府系統

現行の周知活動と併せて、ポスターやチラシを活用した経由地等での周知、回覧での周知をおこなっていく。また、交通事業者と連携し、利用率が向上するよう努める。

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価
周南市地域公共交通協議会
生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



周南市の概要

- ・平成15年4月に2市2町が合併
- ・人口 137,540人(令和2年度国勢調査)
- ・面積 656.29km²

周南市地域公共交通会議の構成員

周南市、山口運輸支局、防長交通(株)、西日本旅客鉄道(株)、大津島巡航(株)、徳山地区タクシー協会、市民・利用者代表、私鉄中国地方労働組合防長交通支部、周南警察署、光警察署、中国地方整備局、山口県、福祉関係事業者、学識経験者

概 要

本市は山口県の東南部に市街地位置し、北の中国山地を背に、南に瀬戸内海を望む面積656.29km²の広大な市域を有する、人口約13万7千人の都市である。JR徳山駅を中心に広がっており、鉄道・路線バス・航路・コミュニティ交通によって、市街地とその周辺部、中山間部、島しょ部を結ぶ公共交通網が形成されている。

その中でも特に、過疎化・高齢化が進行する中山間部において、スーパーや病院などの生活利便施設が多く立地している地域への移動手段を確保することは、地域の活力を維持していくために必要不可欠であり、既存バス路線の見直しと合わせた効率的で、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通確保維持事業に取り組んでいる。

協議会の主な取り組み

- ・周南市地域公共交通会議の実施(4回開催)
- ・周南市地域公共交通計画に係る事業の実施
(公共交通の利用促進に資する情報誌「notta!」発行事業、公共交通マップの更新作成)
- ・利用者ニーズに合わせた停留所の増設
- ・交通不便地区におけるコミュニティ交通の導入検討
- ・公共交通時刻表の見直しによる市民への周知等

協議会における検討

〈地域公共交通会議の開催状況:4回開催〉

- ・第1回(令和4年12月26日)【文書協議】
令和4年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
- ・第2回(令和5年2月16日)
バス路線の見直しについて 等
- ・第3回(令和5年5月16日)
令和4年度事業報告及び決算報告について 等
- ・第4回(令和5年8月31日)【文書協議】
自家用有償旅客運送の更新登録申請について

周南市地域公共交通協議会 事業の評価

定量的な目標・効果

大道理・須々万線

（目標）

1か月あたりの利用者数を102人以上とする。

（効果）

主に高齢者や障がい者の病院や商業施設などへの移動手段を確保するとともに、外出機会を増やし心身の健康を維持することができる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

・令和5年1月31日と令和5年9月1日に運行受託事業者（地元協議会）と意見交換を行い、地域のニーズ等の把握に努めた。

実施した利用促進策

- ・利用促進や利便性向上を図るため、公共交通マップを更新し、市の施設等で配布した。
- ・市のホームページを更新し、周知を図った。
- ・必要に応じ、運行受託事業者（地元協議会）と意見交換を行った。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

・運行受託事業者（地元協議会）を通じて、地域のニーズの把握に努めた。

地域住民の意見の反映

- ・当該地区より新たな停留所増設の要望を受け、現在関係者と調整を行っている。
- ・来年度に現在使用中の車両がリース期間満了となるため、新規リース車両を検討するにあたり、定員数や装備品等、安全かつ効率的な運行が行える車両を導入するため、運行受託事業者（地元協議会）と協議を行った。

周南市地域公共交通協議会 事業の評価

事業実施の適切性

大道理・須々万線

- ・計画通り事業は適切に実施された。

目標・効果達成状況

大道理・須々万線

（目標達成状況）

設定目標1か月あたりの利用者数102人に対し、実績は111人であった。

（効果達成状況）

- ・病院や商業施設などが集積している地域への移動手段を確保・維持することができた。
- ・診療所開設時間の変更に伴い地域からの要望を受け、令和4年8月より追加した火曜日運行については、1便あたり2.5人の利用があり、利便性の向上に繋がった。
- ・幹線バスに接続しているため、広域的な移動も可能となった。

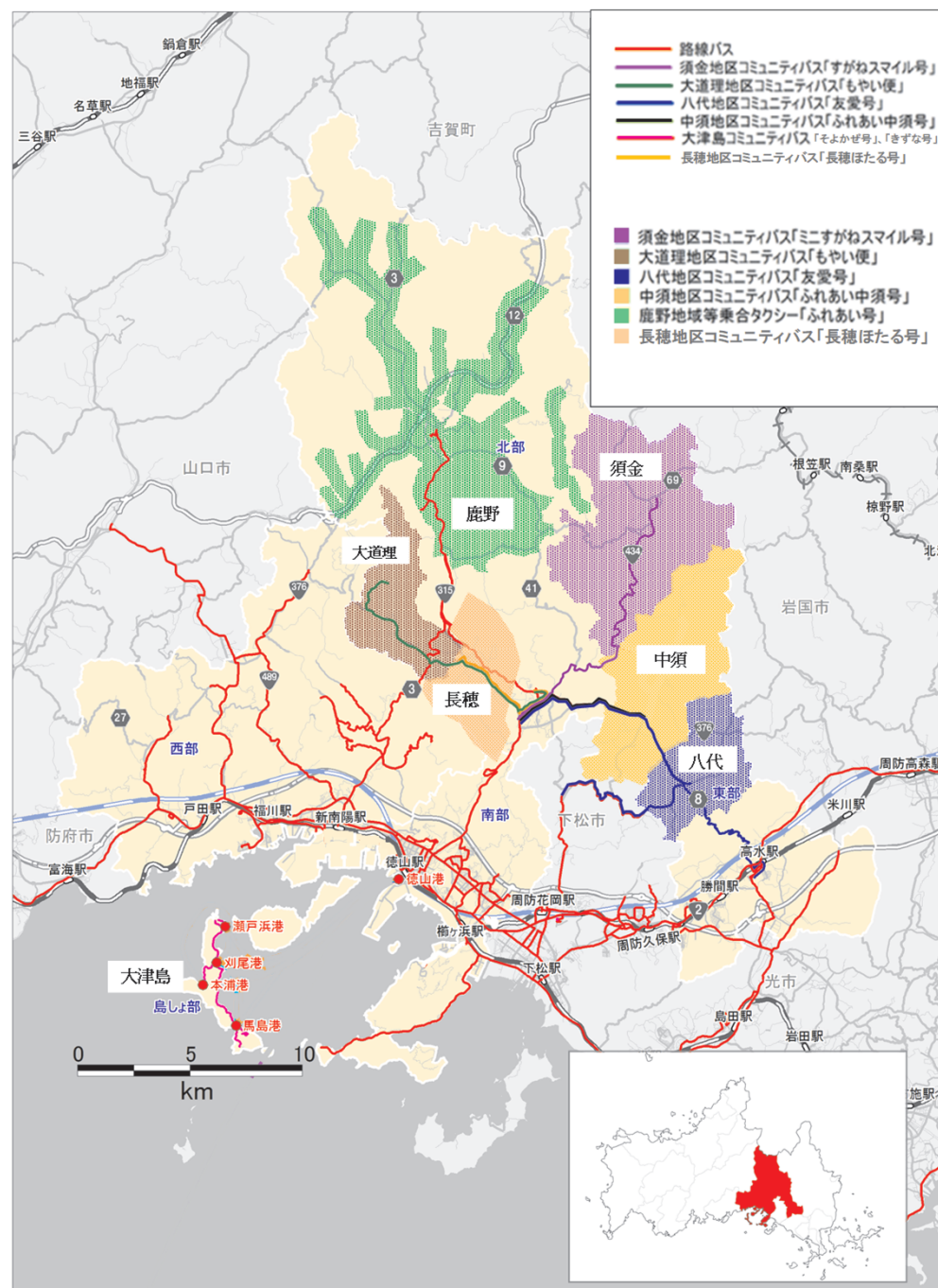
事業の今後の改善点

大道理・須々万線

- ・引き続き関係者と連携して地域のニーズ等の把握に努め、運行ダイヤや乗降場所など住民が利用しやすい運行内容となるよう実施する。

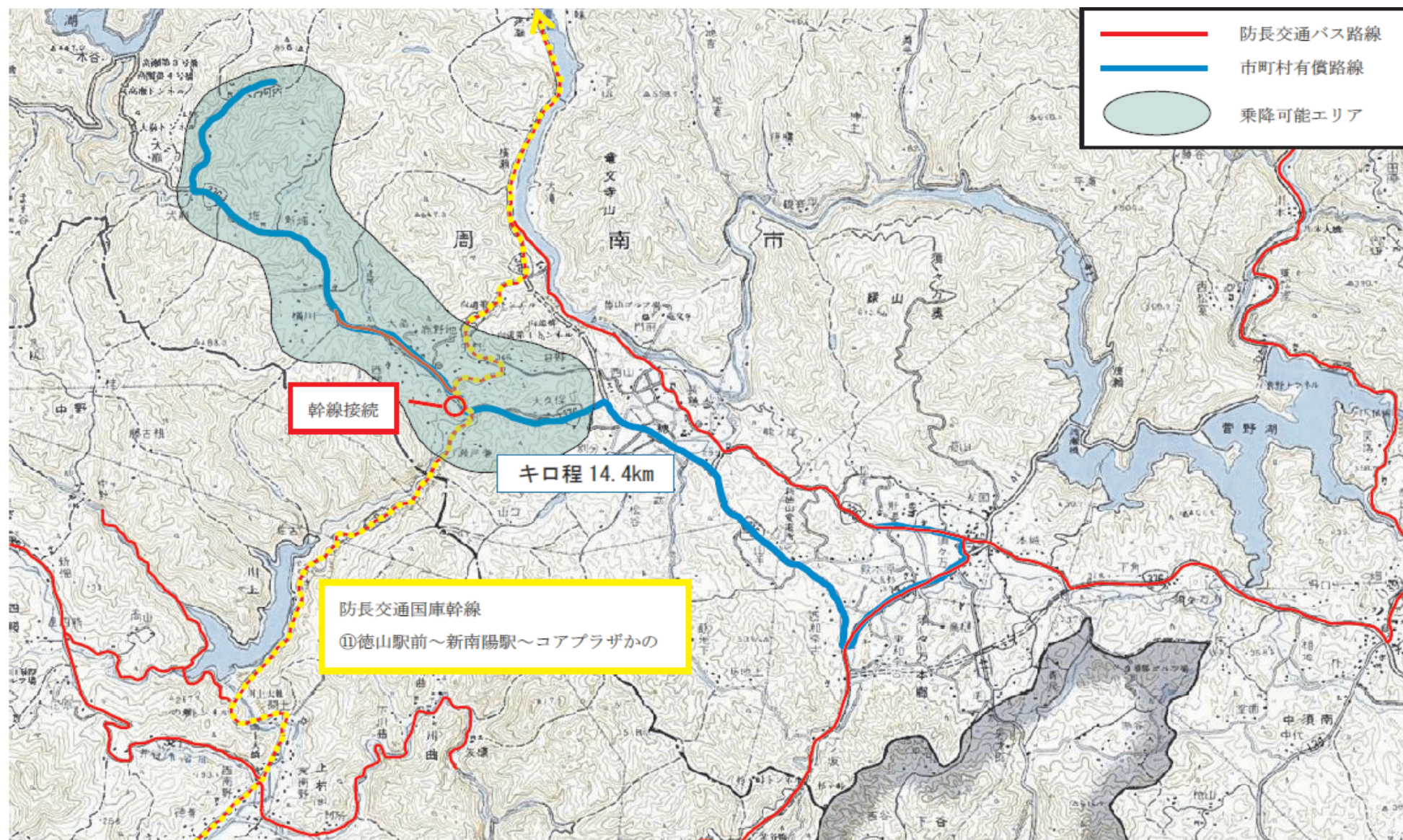
交通体系図 別紙

周南市のコミュニティ交通



運行系統図 別紙

系統名 大道理・須々万線「もやい便」
 運行形態 市町村運営有償運送「交通空白輸送」
 運行日・便数 月・水・金曜日:1日5便、火曜日:1日2便【祝日、8/13~8/16、12/30~1/5は運休】
 運賃 地区内片道 100円 地区外(大道理⇄須々万)片道 200円



令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

光市地域公共交通協議会

生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要

別添2



光市の概要

- ・平成16年10月に1市1町が合併
- ・人口 49,798人(令和2年国勢調査)
- ・面積 92.13km²

協議会の構成員

市民・利用者の代表者、交通事業者、山口運輸支局、道路管理者(国・県・市)、警察、労組代表者、学識経験者、地方自治体(県・市)

概 要

光市は、山口県の東南部に位置し、面積は、92.13km²で、市内を流れる島田川、田布施川の両河川を中心にまとまった平地が広がっている。人口は49,798人(令和2年国勢調査)、65歳以上の高齢者の占める割合は36.2%となっている。

光市の公共交通の現状は、市民の「バス交通網の整備」へのニーズが高まっているものの、バス利用者の減少に伴う、市営バスや民間交通事業者への財政負担の増加など様々な課題を抱えている。加えて、令和元年5月に光総合病院が移転新設され、移転先がバス路線の運行していない郊外地となり、当病院までの移動手段の確保が強く望まれていた経緯がある。

このため、地域公共交通確保維持事業により、ひかりぐるりんバス路線を運行し、市民の生活交通手段を確保・維持することが必要である。

協議会の主な取り組み

- ・光市地域公共交通網形成計画の策定
- ・市内バス路線の再編
(光総合病院までの交通アクセスの整備)
- ・交通結節点の環境整備
(光駅、島田駅への路線バスの乗入促進)
- ・わかりやすい乗継情報の提供
(バスロケーションシステムの導入整備支援)
- ・光市公共交通利用促進冊子の作成
- ・光市公共交通マップの作成、改訂
- ・市民へのモビリティ・マネジメントの実施
- ・牛島航路の観光客の利用促進
(船の乗り方教室の実施)
- ・光市地域公共交通計画の策定 など

協議会における検討

フィーダー系統に関する協議会の開催状況 … 2回開催

- ・令和4年度第1回(令和4年6月29日)令和5年度フィーダー系統確保維持計画協議
- ・令和4年度第2回(令和4年12月26日)令和4年度フィーダー系統確保維持計画に関する事業評価
- ・令和5年度第3回(令和5年12月25日)令和5年度フィーダー系統確保維持計画事業評価

定量的な目標・効果

2系統(右回り・左回り)

(目標)・1便当たり利用者数を10.4人以上とする(昨年度実績8.6人)

※目標は、光市地域公共交通計画に掲げる年間利用者数目標値より設定

540,205人(令和2年度) → 580,000人(令和8年度) +107.3%

ひかりぐるりんバス1便あたりの利用者数

9.7人/便(令和2年度) → 10.4人/便(令和5年度) +107.3%

(効果)・西部地域の高齢者等の日常生活に必要な不可欠な移動手段であるひかりぐるりんバス路線の運行を継続することにより、利用者の通院や買い物などの外出機会を確保するとともに心身の健康を維持する。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

【昨年度の自己評価】

新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止対策(手指消毒液の設置、車内消毒)の継続による安心な利用環境の提供及び公共交通マップや時刻表の沿線施設への設置、令和4年10月から新たに導入した高齢者バス・タクシー運賃助成パイロット事業により、目標値達成を目指します。

【フォローアップ】

- ・光市公共交通マップを公共施設などへ設置
- ・高齢者バス・タクシー運賃助成パイロット事業の実施

実施した利用促進策

- ・モニタリングによる状況把握
- ・光市公共交通マップの改訂
- ・沿線施設への光市公共交通マップの設置
- ・運転免許を持っていない高齢者への支援策として高齢者バス・タクシー運賃助成パイロット事業の導入

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

【地方運輸局等における二次評価結果】

モニタリングによる状況把握や、公共交通マップの改訂などの取組みにより利用促進している点は評価できる。目標となる利用者数は達成できていないため、引き続き議論を重ね、住民に利用してもらえる持続可能な公共交通となるよう期待する。

【フォローアップ】

主な利用者となる運転免許を持っていない高齢者への支援策として高齢者バス・タクシー運賃助成パイロット事業を導入する際、事前にコミュニティ連絡協議会、連合自治会、民生委員協議会へ制度説明を行い、助成対象者(利用者)への制度周知の依頼や利用促進を図った。

地域住民の意見の反映

- ・令和3年9月に市内2,000世帯を対象とした公共交通に関するアンケートの実施(郵送配布・回収)や乗降調査を適宜実施している。調査の結果、利用者の7割が高齢者であり、その多くが通院、買物目的での利用を行っている。この結果を元に、通院・買物に重点を置いた計画としている。

事業実施の適切性

令和5年1月25日に積雪により2便運休が発生したが、事業は適切に実施された。

目標・効果達成状況

【目標達成状況】

1便あたりの利用者10.4人の目標設定に対し、7.9人となり目標値を達成できなかった。

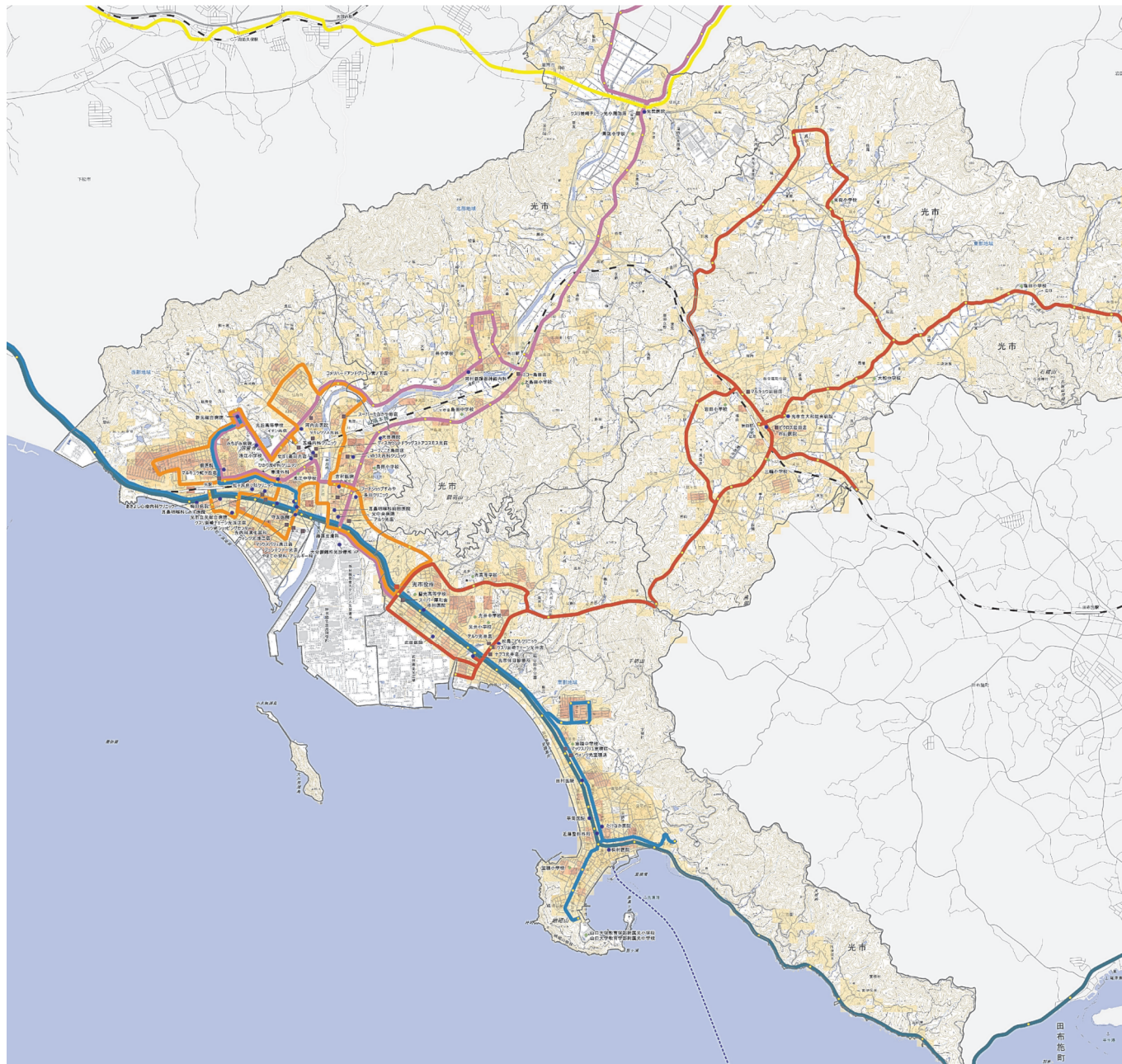
【効果達成状況】

光市公共交通マップの市内公共施設への設置や光市高齢者バス・タクシー運賃助成パイロット事業の実施により利用促進を図ったところ、目標は達成できなかったが、前年比では698人(0.3人/便)利用者が増加した。

事業の今後の改善点

公共交通マップの改訂や本路線から他の路線バスへの乗継案内を作成し、公共施設や駅などへ設置。また高齢者バス・タクシー運賃助成パイロット事業(第2期)を令和5年10月から半年間実施し、目標達成を目指す。

交通体系図 別紙



鉄道

山陽本線



路線バス

中国JRバス



防長バス

徳山駅前～柳井駅前



徳山駅前～兼清



光市役所前～兼清・筏場・高水駅



ひかりぐるりんバス



光市営バス

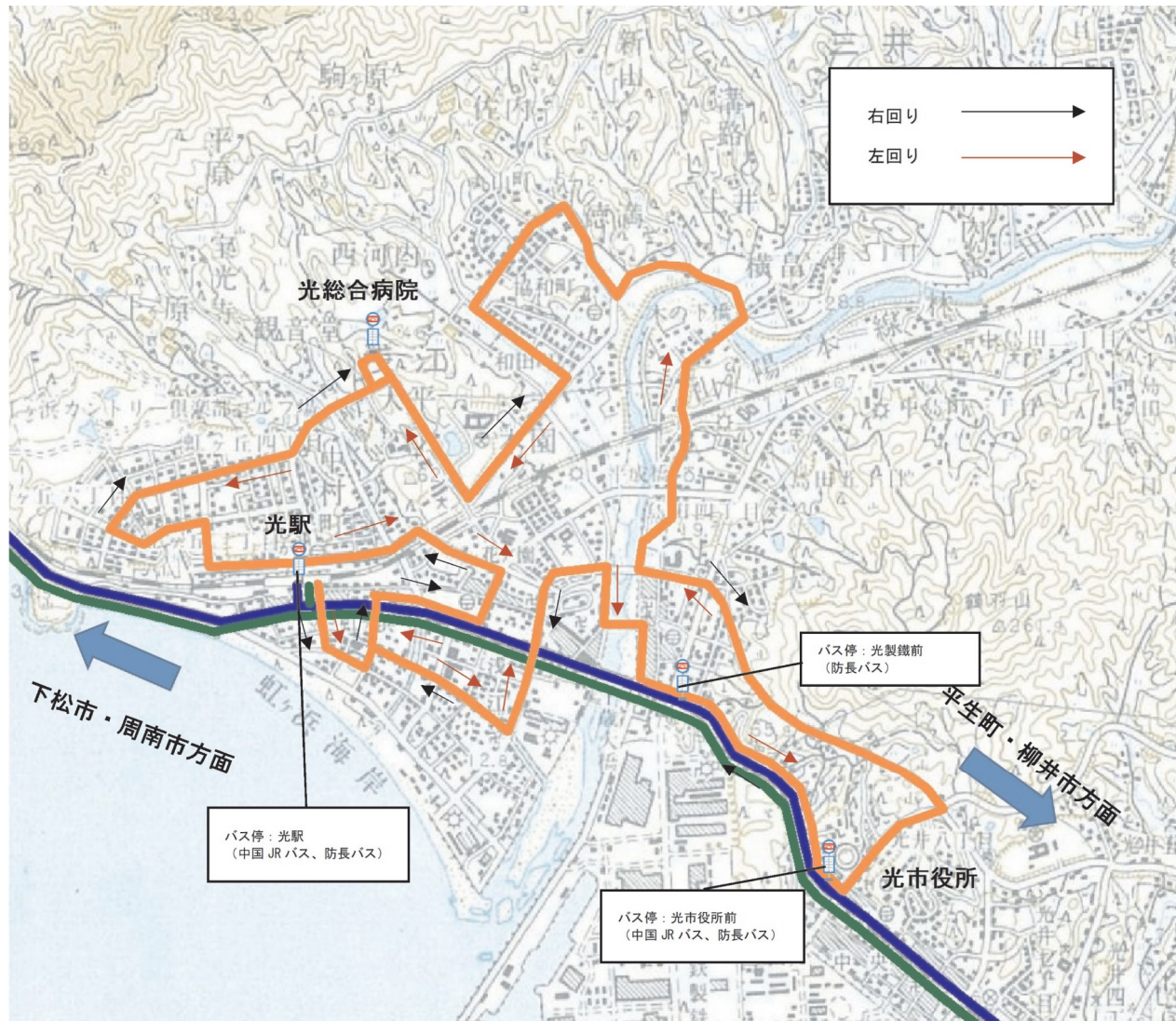


うしま丸(離島航路)



運行系統図 別紙

系統名	右回り・左回り
運行形態	定時定路線
運行日・便数	右回り(平日3便/日、土日祝2便/日、12月29日～1月3日1便/日)、左回り(日～土3便/日)
運賃	200円



路線バス

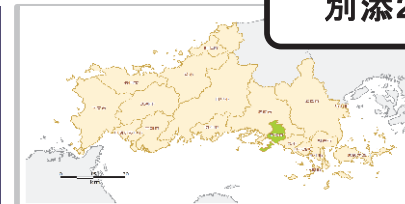
ひかりぐるりんバス

※中国JRバス

防長バス

と接続

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 下松市地域公共交通活性化協議会 生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統)の概要



下松市の概要

- ・昭和14年11月に1町3村が合併し、市制施行
- ・人口 55,887人(令和2年10月現在)
- ・面積 89.34km²

協議会の構成員

山口運輸支局、山口県、西日本旅客鉄道(株)、防長交通(株)、中国ジェイアールバス(株)、県タクシー協会、メトロ交通(株)、下松警察署、中国地方整備局、下松市、学識経験者

概 要

- ・地域の概況:山口県の南東部に位置し、南に瀬戸内海を望み、市街地から中山間地の中心部及び笠戸島の中心部までは車で各15分とコンパクトなまちである。
- ・公共交通の現況(系統数):鉄道は山陽本線1駅、岩徳線3駅を有し、路線バスは2社30系統が走る。営業区域登録するタクシー事業者は4社。
- ・公共交通の問題点や課題:中山間地や市街地周辺部では、鉄道駅もバス路線もない地域が多く、日常生活には自家用車が必須である。
- ・地域の目標:高齢者等の交通弱者の生活の足を確保するため、様々な手段を組み合わせた持続可能な交通体系の構築が喫緊の課題。
- ・その目標実現のための施策、方向性:現行交通体系を整理するとともに、市民とも生活に必要な移動手段の構築に向けて検討実施する。

協議会の主な取り組み

- ・下松市及び周南市域内の公共交通マップの更新
- ・バス交通系ICカードに係る整備費用助成
- ・コミュニティバスの利用促進
- ・笠戸島地区デマンド型乗合タクシー実証実験

協議会における検討

協議会の開催状況4回開催

- ・令和4年度第3回(12月) 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価、下松市地域公共交通計画について
- ・令和4年度第4回(3月) 下松市地域公共交通計画(案)について、今年度の実施事業について、来年度の事業予定について
- ・令和5年度第1回(6月) コミュニティバス(米泉号)に係る地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について、令和5年度の実施予定事業について
- ・令和5年度第2回(10月)(書面協議) 笠戸島デマンド型乗合タクシー実証実験について

定量的な目標・効果

【米川・花岡線】

(目標)・1ヶ月当たり利用者数を96人以上とする。(前年度実績63.4人/月)

(効果)・主に一人暮らしの高齢者や障害者の病院や商業施設などへの移動手段を確保するとともに、外出機会を増やし心身の健康を維持することができる。

昨年度の自己評価に対するフォローアップ

「新規利用者の開拓に向けた取組を行う」とした点については、米泉号の試乗会も検討を行ったが、令和4年11月に市内の大型商業施設の駐車場で行われるイベント時に米泉号を出展させ、米泉号のPRを行った。また、米泉号導入後初めてとなる「運賃無料」のイベントを実施した。

昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

「コロナの影響以外の要因を分析の上、引き続き住民組織と議論を重ね、住民に利用してもらえる持続可能な公共交通となるよう期待する」との点については、米泉号の「運賃無料」イベント時にアンケートを配布し、利用者の意見等を収集した。

実施した利用促進策

- ・令和4年11月に市内で行われたイベントに米泉号を出展させた。
- ・令和5年8月21日～8月26日にかけて、米泉号の運賃無料イベントを実施した。

地域住民の意見の反映

- ・令和4年7月に米川地区全戸を対象としたアンケート調査から、「乗ろうと思っても乗れていない」と言った潜在的に利用する意思がある方が多く見られた。そのため、米泉号の利用の心理的後押しとなるよう、米泉号の「運賃無料」イベントを実施した。
- ・上記イベントと並行して行ったアンケート結果から、市民ニーズを踏まえた運行形態の見直しの検討を行う。
- ・令和4年7月に米川地区全戸を対象としたアンケート調査から、「予約運行エリアの曜日指定の撤廃」を求める声があったことや、これまでのアンケート等でもその意見が継続して挙がっていたことから、予約運行エリアの曜日指定の廃止を行う。

事業実施の適切性

【米川・花岡線】

計画どおり実施されている。

地域住民は路線バスの減便を経験していたことや事前説明会でことあるごとに利用することの重要性を説いていたことから、本件コミュニティバスについても、利用しなければ、廃止となる可能性があるという意識を強く持っており、公民館行事の際に誘いあって利用するなど、利用に関して非常に協力的である。

目標・効果達成状況

【米川・花岡線】

（目標）新型コロナウイルス感染症による利用者数の減少の影響を排除した数値を推計して、1ヶ月当たり利用者数を96人以上としていたが、実績は58人であった。確保維持計画に記載した定量的目標には達しなかった。

- ・利用者からは、コロナ禍後、生活様式の変化により米泉号の利用頻度の低下や、コロナの感染回避のために米泉号を利用しなくなった人で利用が戻っていない人がいるという話を聞いている。
- ・定期的な利用者が多くを占めているため、定期的な利用者の更なる利用頻度の向上や、新規利用者の開拓及び利用習慣を根付けてもらうことが必要である。

（【参考】実績値：国庫補助対象便は年間284便あり、696人が利用。（前年度実績は、年間322便運行して761人利用。63.4人/月）

※米泉号の全運行数は2,051便、利用者総数は2,318人。（前年度実績は、年間2,051便/293日運行して2,435人が利用））

（効果）自動車運転免許を持たない方や高齢者などが、商業施設などへの往復移動するための手段を確保することができた。

事業の今後の改善点

【米川・花岡線】

- ・住民のニーズや意見等を反映し、定時定路線と区域運行を併用した運行形態として実施していることから、どちらの運行形態の地区においても地域への認知度を向上させることにより、更なる利用者の掘り起こしを行う。
- ・利用のない地域における需要の掘り起こしに繋がる取組を検討し、実施する。
- ・地域の公民館行事などと連携し、利用促進に繋がる施策を連携して行う。
- ・住民のニーズや意見等から、米泉号の利便性を向上する取組を検討する。（予約エリアの曜日指定の廃止、ダイヤ変更等）

交通体系図 別紙

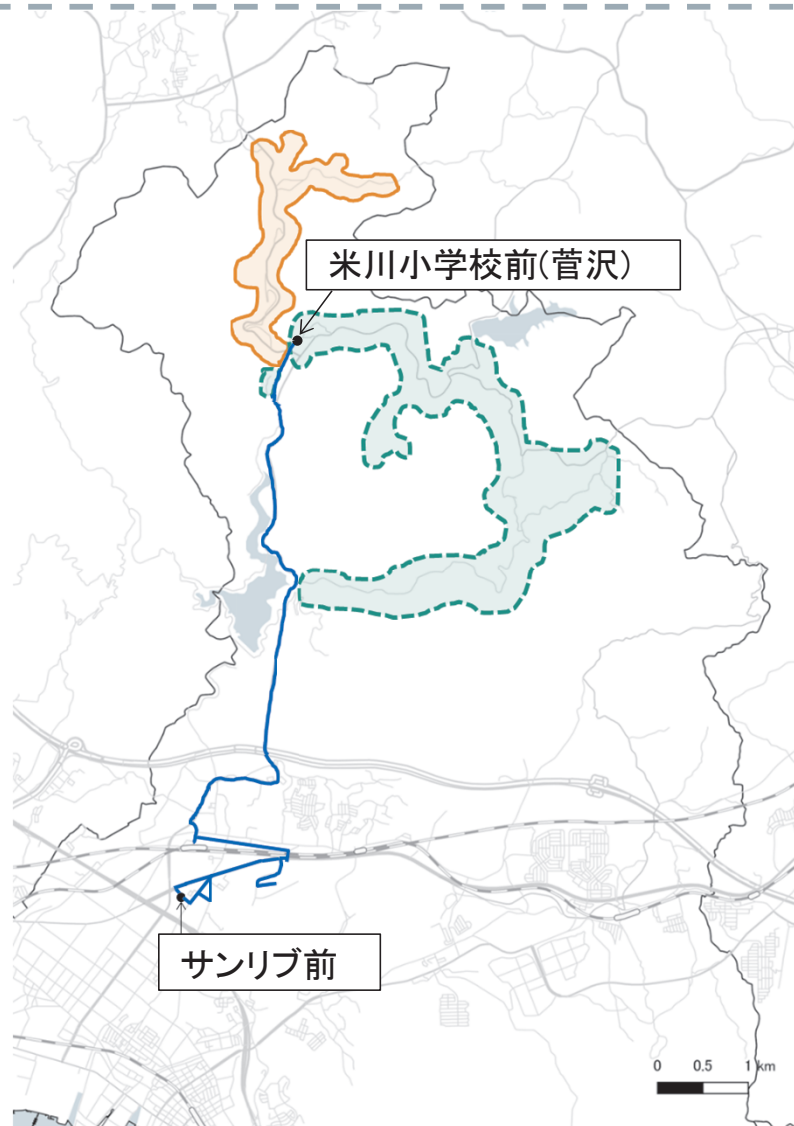


- 徳山～岩国
- 徳山～櫛ヶ浜～下松・光・柳井
- 下松駅北口～バイパス～戸田駅
- 下松駅北口～商工～戸田駅
- 下松駅北口～中央線～戸田駅
- 下松駅北口～高尾団地～徳山駅
- 下松駅前～熊毛
- 徳山駅～熊毛
- 花岡～バイパス～徳山駅
- 下松駅前～下松高校～久保団地
- 下松駅前～周南記念病院～久保団地
- 周南記念病院～深浦
- 周南記念病院～旗岡
- 下松市コミュニティバス米泉号
- 徳山駅～兼清
- 下松駅前～徳山高専
- JRバス光線

※路線は令和元年10月1日時点

運行系統図 別紙

系統名	米川・花岡線
運行形態	市町村運営有償運送、区域デマンド型運行
運行日・便数	月～土曜日(日曜・祝日及び12/29～1/3は運休)、5便/日(ただし、予約があったときのみ区域運行も実施)
運賃	100円～300円



- 凡 例
- 米川ー花岡線 定時定路線
 - 区域運行 (月・水・金運行)
 - 区域運行 (火・木・土運行)